人権教育及び人権啓発推進に関する さいたま市基本計画・実施計画の 令和6年度 推進状況

さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部

目 次

1	概観	1
2	推進状況の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	• 推進本部の取り組み	1
	(1) 計画の推進	1
	(2) 推進体制の充実	1
	(3) 関係各課の取り組み状況の調査	1
3	人権教育、人権啓発に関する施策実施状況	2
	[基本的課題]	
	① たくましく豊かに生きる力をはぐくむ教育の推進	4
	② あらゆる場における人権教育・啓発の推進	1
	③ 特に人権と関わりの深い者に対する人権教育・啓発の推進 1	9
	④ 地域に密着したきめ細かい啓発活動の推進	26
	⑤ 様々な人権問題に対する相談システムの充実	33

【参考資料】

- 1 さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部設置要綱・名簿
- 2 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

1 概観

本市の人権教育及び人権啓発推進本部は、人権教育・啓発に係る各種施策について関係部局相互の緊密な連携・協力を確保し、総合的かつ効果的な推進を図るため平成13年8月に設置され、同年12月に「人権教育及び人権啓発推進さいたま市基本計画(平成30年一部改正)」を策定しました。さらに、この基本計画を具体化し、各種の施策を計画的に推進するための「実施計画(令和4~7年度の4か年計画)」を策定しました。

人権問題の重要課題である同和問題をはじめとして、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、性的 少数者などに対する様々な差別や偏見の解消を目指すため、実施計画に沿って各種施策を積極的に推進 していますが、このたび、令和6年度における推進状況について取りまとめを行いました。

2 推進状況の概要

推進本部の取り組み

(1)計画の推進

本市の人権教育及び人権啓発に関する基本計画は、市民一人ひとりに人権尊重の意識が根付き、 人権文化を構築することを目的に策定されました。そして、この基本計画を積極的に展開するため に「さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部」のもと、関係部局相互の緊密な連携を図りなが ら、全庁体制で取り組みを進めました。

(2) 推進体制の充実

人権教育・啓発の取り組みに当たっては、全体の奉仕者である市職員は指導的役割を担っており、極めて重要な立場であることから、各種人権問題の正しい理解と認識を深めて人権感覚を身に付けるとともに、態度や行動として実践できるようにするため、職員研修の重要課題と位置づけて研修の充実に努めてきました。

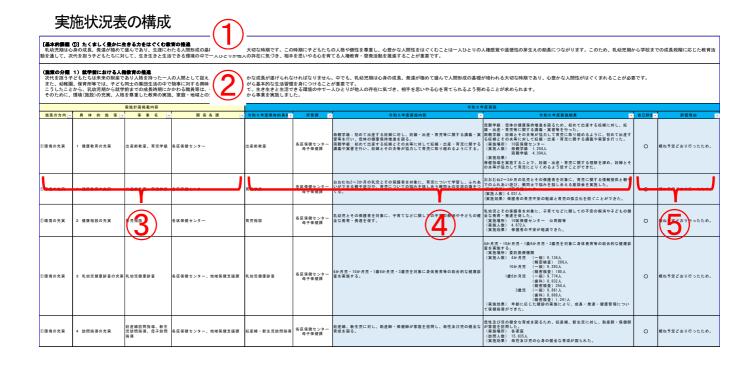
また、学校教育や社会教育活動に携わる関係者にあっては、人権教育の推進に当たっては大きな 役割を担っており、様々な教育実践の中で常に人権感覚を持って行動できるよう、人権尊重の視点 から総合的な研修を実施し、具体的な実践に結びつくよう努めました。

(3) 関係各課の取り組み状況の調査

人権教育・啓発の取り組みについては、各種の人権問題に対して関係各課で計画に基づいて具体的な取り組みを進めているところですが、様々な人権問題の解決に当たっては地方公共団体の果たす役割は極めて重要であることに鑑み、庁内関係各課において推進している様々な人権問題の解決に向けた取り組みの状況について調査を行い、一覧表としてまとめました。

3 人権教育、人権啓発に関する施策実施状況

「実施計画」掲載の各事業に関する具体的な実施内容を取りまとめました。令和6年度の推進状況の取りまとめにあたっては、「実施計画」事業ごとに、各事業にひも付いた具体的事業の関連を明確にすることに留意しています。



実施計画の構成と同様に、5つの「基本的課題」を大見出しとし、それに次ぐ「施策の分類」ごとに表 を作成しています。

以下の①~⑤は上図(実施状況表の例)の①~⑤に対応しています。

- ① 基本的課題の内容を示しています。なお、各基本的課題の内容は各課題における冒頭の「施策の分類」 の表にのみ掲載し、以降は基本的課題のタイトルのみ、施策の分類と併記しています。
- ② 施策の分類の内容を示しています。
- ③ 実施計画上の記載内容を示しています。
- ④ 各実施計画事業にひも付いた具体的事業の令和6年度実施内容を掲載しています。実施計画上の「事業名」「関係各課」と、令和6年度の「具体的事業」「所管課」は、以下のような理由で異なることがあります。
 - ・実施計画事業名は複数事業を集約したもので、具体的事業はそのうちの個別事業を掲載している。また、実施計画事業上は複数の所管が存在するが、具体的事業は実施担当所管のみ掲載している。
 - ・実施計画の期間(令和4~7年度)中に、事業名の変更や、事業の改廃、統合等が生じた。
- ⑤ 各実施計画事業にひも付いた具体的事業の令和6年度における実施結果及び事業所管課の自己評価・ 評価理由を掲載しています。なお、自己評価の基準は次ページに掲載しています。

<自己評価の基準>

評価	基準
◎ 予定を上回った	基本的課題及び施策の方向の観点で、当初想定以上の効果があった場合。なお、 数値目標のある事業については、実施実績が当初想定数値の100%以上の場 合に限る。
の 概ね予定どおり	基本的課題及び施策の方向の観点で、概ね想定どおりの一定の効果があった場合。なお、数値設定のある事業については、実施実績が当初想定数値の80%以上100%未満の場合に限る。
△ 予定を下回った	基本的課題及び施策の方向の観点で、あまり効果がなかった場合。なお、数値設 定のある事業については、実施実績が当初想定数値の80%未満の場合に限る。
× 未実施	実施実績なし。

[基本的課題 ①] たくましく豊かに生きる力をはぐくむ教育の推進 乳幼児期は心身の成長、発達が極めて盛んであり、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる最も大切な時期です。この時期に子どもたちの人格や個性を尊重し、心豊かな人間性をはぐくむことは一人ひとりの人権感覚や道徳性の芽生えの助長につながります。このため、乳幼児期から学校までの成長段階に応じた教育活動 を通して、次代を担う子どもたちに対して、生き生きと生活できる環境の中で一人ひとりが他人の存在に気づき、相手を思いやる心を育てる人権教育・啓発活動を推進することが重要です。

(施策の分類 1) 就学前における人権教育の推進

(配来の万類 I) 队子則における人権教育の推進 次代を担う子どもたちは未来の財産であり人格を持った一人の人間として捉え、心身ともに健やかな成長が遂げられなければなりません。中でも、乳幼児期は心身の成長、発達が極めて盛んで人間形成の基礎が培われる大切な時期であり、心豊かな人間性がはぐくまれることが必要です。 また、幼稚園、保育所等では、子ども同士の集団生活の中で物事に対する興味や関心等を養いながら基本的な生活習慣を身につけることが重要です。 こうしたことから、乳幼児期から就学前までの成長時期にかかわる職員等は、子どもたちに対して、生き生きと生活できる環境の中で一人ひとりが他人の存在に気づき、相手を思いやる心を育てられるよう努めることが求められます。 そのために、環境(施設)の充実、人格を尊重した教育の実施、家庭・地域との連進時との選集時は大きな事業を実施しました。

そのために、環境	賃(施設)の充実、	人格を尊重した教育の実施、	家庭・地域との連携強化の各方向から事業を実施しました。
----------	-----------	---------------	-----------------------------

		実施計画掲載内容							
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①環境の充実	1 健康教育の充実	出産前教室、育児学級	各区保健センター	出産前教室	各区保健センター 母子保健課	母親学級:初めて出産する妊婦に対し、妊娠・出産・育児等に関する講義・実習等を行い、母体の健康保持増進を図る。 両親学級:初めて出産する妊婦とその夫等に対して妊娠・出産・育児に関する講義や実習を行い、妊婦とその夫等が協力して育児に取り組めるようにする。	母親学級:母体の健康保持増進を図るため、初めて出産する妊婦に対し、妊娠・出産・育児等に関する講義・実習等を行った。 両親学級:妊婦とその夫等が協力して育児に取り組めるように、初めて出産する妊婦とその夫等に対して妊娠・出産・育児に関する講義や実習を行った。 (実施場所) 10区保健センター (実施人数) 母親学級 1,204人 両親学級 4,304人 (実施効果) 保健指導を実施することで、妊娠・出産・育児に関する理解を深め、妊婦とその夫	0	概ね予定どおり行ったため。
①環境の充実	1 健康教育の充実	出產前教室、育児学級	各区保健センター	育児学級	各区保健センター 母子保健課	おおむね2~3か月の乳児とその保護者を対象に、育児について学習し、ふれあいができる親子遊びや、育児についての悩みを話し合う親同士の交流の場をつくる。	おおむね2~3か月の乳児とその保護者を対象に、育児に関する情報提供と親子での ふれあい遊び、親同士で悩みを話し合える座談会を実施した。 (実施場所) 10区保健センター (実施人数) 4,031人 (実施効果) 保護者の育児不安の軽減と育児の孤立化を防ぐことができた。	0	概ね予定どおり行ったため。
①環境の充実	2 健康相談の充実	育児相談	各区保健センター	育児相談	各区保健センター 母子保健課	乳幼児とその保護者を対象に、子育てなどに関しての不安の解消や子どもの健全な 発育・発達を促す。	乳幼児とその保護者を対象に、子育てなどに関しての不安の解消や子どもの健全な発育・発達を促した。 (実施場所) 10区保健センター 公民館等 (実施人数) 4,872人 (実施効果) 保護者の不安が軽減できた。	0	概ね予定どおり行ったため。
①環境の充実	3 乳幼児健康診査の充実	乳幼児健康診査	各区保健センター、地域保健支援課	乳幼児健康診査	各区保健センター 母子保健課	4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児を対象に身体発育等の総合的な健康診査を 実施する。	4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児を対象に身体発育等の総合的な健康診査を実施する。 (実施場所) 委託医療機関 (実施人数) 4か月児 (一般) 9, 134人 (精密検査) 298人 10か月児 (一般) 9, 293人 (精密検査) 180人 1歳6か月児 (一般) 9, 774人 (歯科) 8, 632人 (精密検査) 254人 3歳児 (一般) 9, 861人 (歯科) 8, 689人 (精密検査) 1, 261人 (歯科) 8, 689人 (精密検査) 1, 261人 (歯科) 8, 689人 (精密検査) 1, 261人	0	概ね予定どおり行ったため。
①環境の充実	4 訪問指導の充実	妊産婦訪問指導、新生児 訪問指導、母子訪問指導	各区保健センター、地域保健支援課	妊産婦・新生児訪問指導	各区保健センター 母子保健課	妊産婦、新生児に対し、助産師・保健師が家庭を訪問し、母性及び児の健全な育成 を図る。	母性及び児の健全な育成を図るため、妊産婦、新生児に対し、助産師・保健師が家庭を訪問した。 (実施場所) 各家庭 (訪問人数) 15,835人 (実施効果) 母性及び児の心身の健全な育成が図られた。	0	概ね予定どおり行ったため。
①環境の充実	4 訪問指導の充実	妊産婦訪問指導、新生児 訪問指導、母子訪問指導	各区保健センター、地域保健支援課	母子訪問指導	各区保健センター 母子保健課	乳幼児とその保護者の健康増進と育児不安の解消を図り、児の健全な発育発達を促すため家庭訪問を実施する。また、子育て不安等の家庭に「子ども家庭支援員」を 派遣し、子育ての相談支援を行う。	乳幼児とその保護者の健康増進と育児不安の解消を図り、児の健全な発育発達を促すため家庭訪問を実施した。また、子育て不安等の家庭に「子ども家庭支援員」を派遣し、子育ての相談支援を行った。 (実施場所) 各家庭 (訪問人数) 母子(延べ)12,171人 (再) 未熟児(延べ)523人 (実施効果) 乳幼児とその保護者の健康増進と育児不安の解消が図られ、虐待防止にも寄与した。	0	概ね予定どおり行ったため。
①環境の充実	5 育成支援の充実	育成支援事業	保育課	育成支援の充実	保育課	障害者手帳等を持つ子どもだけでなく、心身の発達に遅れ等のある子どもの健全な成長及び発達に寄与するため、「さいたま市公立保育所育成支援制度」をもとに、 保育所生活における育成支援を実施する。	障害者手帳等を持つ子どもだけでなく、心身の発達に遅れ等のある子どもの健全な成長及び発達に寄与するため、「さいたま市公立保育所育成支援制度」をもとに、 保育所生活における育成支援を実施した。対象児: 249名	0	育成支援適用対象児童に対し、巡回保育相談を行い保育所生活における育成支援を行ったため。
②人格を尊重した 教育	1 幼児教育内容の充実	公開保育研修会·保育士 研修	幼児政策課・保育課	幼児教育内容の 充実	保育課	園内研修を行い、専門性や実践力の向上を図る。各保育施設が取り組んでいる実践 内容を学び合い、共有するため第16回さいたま市保育研究大会を開催予定。	園内研修を行い、専門性や実践力の向上を図った。各保育施設が取り組んでいる実践内容を学び合い、共有するため第16回さいたま市保育研究大会を開催した。 (1,043名参加)	0	市内の保育施設職員が集い、各園の実践を学び合うことができたため。
	2 保育士・幼稚園教諭等の研修の充実	保育者資質向上研修	幼児政策課・保育課	保育士・幼稚園教諭等の 研修の充実	保育課	保育士の資質向上を図るため、公私立保育施設(認可外保育施設含む)の保育士等を対象に研修を実施する。	保育士の資質向上を図るため、公私立保育施設(認可外保育施設含む)の保育士等 を対象に研修を実施した。(528施設参加)	0	予定通り研修を実施し、保育の質 の向上を図ったため。
	2 保育士・幼稚園教諭等 の研修の充実	保育者資質向上研修	幼児政策課・保育課	保育士・幼稚園教諭等の研修の充実	幼児政策課	めるための研修を実施し、幼児教育・保育の質の向上を図る。自然体験、食物アレ	幼児教育・保育の質の向上を図ることを目的として、認定こども園・幼稚園・保育所・療育施設等の教諭・保育士等を対象に、自然体験、食物アレルギー対応、インクルーシブ、不適切な保育の予防、特別支援教育などの教育・保育の専門性を高めるための研修会を25回実施した。 (1,695名参加)	0	研修参加者の経年増加。計画通り の実施。参加保育者のアンケート 結果では、「目的を達成した」と 概ね肯定的に回答している。
③家庭・地域等と の連携	1 地域及び施設子育て支 援の整備	子育て支援センター事業	子育で支援政策課・保育課	子育て支援センター事業	子育て支援課 保育施設支援課 保育課		令和6年度は、単独型10か所、民間保育所併設54か所、公立保育所併設2か所、の計66か所の子育で支援センター事業を実施した。 子育で支援センターでは、子育でサロンや各種講習会等の開催、面接相談、電話相談、講演会などを通じて、育児不安等についての相談指導や情報提供を行うとともに、子育でサークル等の養成・支援を行った。	0	概ね予定どおりに取組を実施し、 想定どおりの一定の効果があった と考えられるため。

施策の方向	具 体 的 施 策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
③家庭・地域等 と の連携	1 地域及び施設子育で支援の整備	子育て支援センター事業		地域及び施設 子育て支援の整備	保育課 保育施設支援課	る。子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導や、子育て家庭の交流の場を設置、子育て支援に関する講習等、地域の子育て家庭に対する育児支援を実施する予定。 また、地域の子育てサークルの活動に対して、出張講師事業や、備品の貸し出しを行うなど、地域の子育て活動者等との連携や、活動者等を支援することにより、地	公立保育所併設2か所、民間保育所併設54か所で子育て支援センター事業を実施した。子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導や、子育て家庭の交流の場を設置、子育て支援に関する講習等、地域の子育て家庭に対する育児支援を実施した。また、地域の子育でサークルの活動に対して、出張講師事業や、備品の貸し出しを行うなど、地域の子育で活動者等との連携や、活動者等を支援することにより、地域の子育で力を高める取り組みを行った。(費用(見込) 270,417千円)	0	計画通りに事業を実施したため。
③家庭・地域等と の連携	1 地域及び施設子育で支援の整備	児童センター事業	青少年育成課	児童センター管理運営事 業	#⊞		児童が健全な遊びを通じて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、18か所で児童センター事業を実施し、児童福祉にかかる住民の各種のニーズに対応して、地域の児童健全育成の拠点としての役割を担った。 (延べ利用者数) 428,300人 (費用) 委託料 614,607千円	0	地域の児童健全育成の拠点として、家庭・地域等との連携に寄与したため。
③家庭・地域等と の連携	2 地域活動のネットワークの整備	親子教室	各区保健センター	親子教室			発達や情緒に遅れのある幼児と保護者に、集団指導及び状況に応じた個別支援や交流できる場を提供し、不安の解消・軽減を図った。 (実施場所) 10区保健センター (教室開催数) 216回 (参加者実人数) 247人 (児) 291人(保護者等) (実施効果) 保護者の育児不安の軽減及び子どもの発達を促すことができた。	0	概ね予定どおり行ったため。 教室開催数は、計画数217回に対 し216回実施し、99.5%の実施率 であった。
③家庭・地域等と の連携	2 地域活動のネットワークの整備	テレホン相談	各区保健センター	テレホン相談	各区保健センター 母子保健課	健康に関する相談を気軽に受けられることにより、健康の保持・増進を図る。	健康に関する相談を気軽に受けられることにより、健康の保持・増進を図った。 (実施場所) 10区保健センター (相談回数) 土・日祝祭日及び夜間を除く毎日実施 (概 要) 通常業務時間内で対応 (実施効果) 気軽に健康に関する相談ができることにより、健康増進に寄与し、利 便性も図られた。	0	概ね予定どおり行ったため。

(施策の分類 2) 学校における人権教育の推進 学校においては、教職員共通理解のもと全教育活動を通して人権を尊重する教育の徹底を図り、様々な人権問題の解決を目指していくことのできる児童・生徒の育成に取り組むことが重要です。近年、いじめや不登校など子どもたちの人権に関わる課題が多く存在していることを踏まえ、児童・生徒の発達の過程や生活環境などを把握しながら、児童、生徒一人ひとりが人権課題に対し、自ら考え、行動する力を培うような学習指導法の工夫、改善が求められています。 そのため、基本的人権の尊重に徹する教育の推進、学習指導法の工夫・改善、正義感・思いやりを行き渡らせる教育の推進、さまざまな体験活動・ボランティア活動の場や機会の充実、教育相談の充実の各方向から事業を実施しました。

		実施計画掲載内容				令和6:	年度実施		
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	人権の花運動	人権教育推進室・人権政策・男女共同参 画課	人権の花運動	人権教育推進室 人権政策・男女共同 参画課	市立小学校の児童を対象に、花を育てることにより思いやりの心をはぐくむとともに、生命の尊さを体得させる。 34校想定	市立小学校の児童を対象に、花を育てることにより思いやりの心をはぐくむとともに、生命の尊さを体得させた。 34校(中央区3校・桜区3校、西区3校・北区3校・大宮区3校、見沼区3校・浦和区3校・南区5校・緑区4校、岩槻区4校)	0	予定どおり事業を実施したため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	人権標語、人権作文の取 組	人権教育推進室	人権標語・人権作文の充 実	人権教育推進室	児童生徒の人権意識の高揚を図るため、市立小・中・中等教育学校の児童生徒から 人権標語、人権作文の募集を行い、最優秀作品については、表彰式を実施して表彰 する。	児童生徒の人権意識の高揚を図るため、市立小・中・中等教育・特別支援学校の児童生徒から人権標語、人権作文の募集を行い、最優秀作品については、表彰式を実施して表彰した(11月17日)。また、人権標語は標語入りクリアファイル、短冊を作成し全市立学校に配布し、人権作文は人権文集第「じんけん」24集にまとめ、全市立小・中・中等教育・特別支援に学校分と学級数分を配布した。。・人権標語 (応募校157 校 93,479作品) (クリアファイル 108,000部 費用2,045千円)(短冊 小5,100部 中1,350部 費用66千円)・人権作文 (応募校154校 70,778作品)(文集 4,100部 費用 668千円)	0	人権標語・作文の募集の広報を進め、各学校において人権教育に向かう場を提供することとともに、 変容料を予定数、作成・配布を 行い、啓発の成果を得られたため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	さいたま市平和図画・ポ スターコンクール	総務課	平和図画・ポスターコン クール	総務部総務課	次代を担う子どもたちの平和への関心を高めるため、また、平和教育に資するため、市立小・中学校等の児童・生徒を対象に平和をテーマとした作品を募集する。	市立小・中学校等の児童・生徒を対象に平和をテーマとした作品を募集し、啓発を図った。 1,909作品の応募があり、応募作品の中から、最優秀賞3点、優秀賞15点、奨励賞75点を選出し、表彰状及び記念品を贈呈した。(費用403千円)	©	応募者数が増加し、昨年度以上の 啓発効果が得られたと考えられる ため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	社会科教育の充実	指導 1 課	社会科教育の充実	教育課程指導課	「さいたま市の学校教育 推進の指針・指導の努力点」の人権教育のねらいは、学校の教育活動全体を通じて、人権意識の高揚を図り、人権の意義・内容や重要性について理解を深め、同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決していこうとする児童生徒を育成することである。社会科の授業等で各学校等において、人権尊重を徹底し、人権尊重の精神がみなぎっている教育・学習環境づくりに努め、意図的、計画的、継続的に人権教育を推進する。	「さいたま市の学校教育 推進の指針・指導の努力点」では、文部科学省が示した 人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ] とその補足資料につ いて周知した。また、社会科の本年度の努力点において、「同和問題」等の人権課 題をはじめ、人権に関する学習を取り上げることを示すとともに、指導訪問等で知 的理解だけではなく、協力的・参加的・体験的な学習などを通して、人権感覚が高 まるよう指導方法の工夫改善を図った。	0	人権課題および人権教育啓発資料 の活用を周知できたため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	特別支援教育の推進	特別支援教育室	教育・就学相談の充実	総合教育相談室 特別支援教育室	市内に在住・在学する幼児から高校生及びその保護者を対象として、学校生活にかかわる様々な相談を受けるとともに、学習面や生活面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援方法を教職員に助言するなどして、児童生徒の健全育成を目指す。	市内に在住・在学する幼児から高校生及びその保護者を対象として、学校生活にかかわる様々な相談を受けるとともに、学習面や生活面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援方法を教職員に助言するなどして、児童生徒の健全育成を目指し実施した。	0	市内に在住・在学する幼児から高校生及びその保護者を対象として、学校生活にかかわる様々な相談を受け、対応したため
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	交流及び共同学習の推進	特別支援教育室	交流及び共同学習の推進	特別支援教育室	障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が、共に尊重し合いながら協働して生活 していく態度を育むように交流及び共同学習を推進する。	障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が、共に尊重し合いながら協働して生活 していく態度を育むように交流及び共同学習を推進した。	0	希望する全ての児童生徒が交流及 び交流学習を実施したため
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	いじめ撲滅に向けた取組	指導2課	いじめ撲滅強化月間	生徒指導課	今年度は、市立全小・中・高等・中等教育・特別支援学校において、6月を「いじめ 撲滅強化月間」とし、いじめが起きない集団や学校を作ろうとする意識を高め、児 童生徒の豊かな人間性や社会性をはぐくむ取組の充実を図るなど、いじめの未然防 止に向けた取組を推進する。	市立全小・中・高等・中等教育・特別支援学校において、6月を「いじめ撲滅強化月間」とし、いじめが起きない集団や学校をつくろうとする気運を高め、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む取組の充実を図るなど、いじめの未然防止に向けた取組の推進を図った。	0	市立全小・中・中等教育・高等学校において、概ね想定通り一定の効果があったと判断したため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	国際教育の推進	指導 1 課	国際教育の推進	教育課程指導課	国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指し、広い視野をもち、異文化を理解し尊重する態度の育成、日本人としてまた個人としての自己の確立、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成をねらいとして、国際教育主任研修会の開催や姉妹校等交流事業の支援を行う。	国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指し、広い視野をもち、異文化を理解し尊重する態度の育成、日本人としてまた個人としての自己の確立、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成をねらいとして、国際教育主任研修会・国際教育主任研修会・姉妹校等交流事業の支援 (小学校3校、中学校1校、中等教育学校1校、決算額60千円)	0	国際教育主任研修会の開催や姉妹 校等交流事業の支援を行ったた め。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	指導内容、指導方法のエ 夫改善	人権教育推進室	教員研修の充実	人権教育推進室	研修会や学校訪問等を通じて、基本的人権の尊重に徹する教育の推進を図り、人権 教育の指導方法の周知と同和問題や障害者等個別の人権課題解決のための教育実践 を支援する。 ・管理職人権教育研修会(全市立学校長対象) ・学校人権教育研修会の実施 (3回) ・子ども虐待防止フォーラム (1回) ・デートDV防止研修会	研修会や学校訪問等を通して、基本的人権の尊重に徹する教育の推進に努めた。また、人権教育についての指導方法の周知と、同和問題や障害者等の個別の人権課題解決のための教育実践を支援した。 ・管理職人権教育研修会(全市立学校長対象。全市立学校副校長・教頭対象)・学校人権教育研修会(各学校で実施のうち、講師謝金 36校34回 費用 342千5百円) ・人権教育主任研修会の実施(3回) (5月15日・8月2日・11月1日) ・子ども虐待防止フォーラム(1回) (11月6日実施) ・デートDV防止研修会の実施(1回・6月28日実施・21名参加)	0	研修の内容や方法等を熟考し実施 することで、啓発の成果を得られ たため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	講演会・研修会	人権教育推進室	教員研修の充実	人権教育推進室	研修会や学校訪問等を通じて、基本的人権の尊重に徹する教育の推進を図り、人権 教育の指導方法の周知と同和問題や障害者等個別の人権課題解決のための教育実践 を支援する。 ・管理職人権教育研修会(全市立学校長対象) ・学校人権教育研修会 ・人権教育主任研修会の実施 (3回) ・子ども虐待防止フォーラム (1回) ・デートDV防止研修会	研修会や学校訪問等を通して、基本的人権の尊重に徹する教育の推進に努めた。また、人権教育についての指導方法の周知と、同和問題や障害者等の個別の人権課題解決のための教育実践を支援した。 ・管理職人権教育研修会(全市立学校長対象。全市立学校副校長・教頭対象)・学校人権教育研修会(各学校で実施のうち、講師謝金 36校34回 費用 342千5百円)・人権教育主任研修会の実施(3回) (5月15日・8月2日・11月1日)・子ども虐待防止フォーラム(1回) (11月6日実施)・デートDV防止研修会の実施(1回・6月28日実施・21名参加)	0	研修の内容や方法等を熟考し実施 することで、啓発の成果を得られ たため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	ーーー 子ども虐待防止フォーラ ム	子ども家庭総合センター総務課・人権教 育推進室	子ども虐待防止フォーラム	子ども家庭支援課 人権教育推進室	深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対処するために、幼稚園、保育園、 小・中・中等教育・特別支援学校等の子育て支援関係者が、児童虐待の早期発見・ 早期対応等の適切な支援方法を学ぶ場として、フォーラムを実施する。	深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対処するために、児童虐待の第一発 見者となりうる幼稚園、保育園、小・中・中等教育・特別支援学校等の子育て支援 関係者が、児童虐待の早期発見・早期対応等の適切な支援方法を学ぶ場として、 フォーラムを実施した。	0	子ども虐待防止フォーラム参加者 のうち「参考になった」と回答し た人の割合が98.1%となり一定の 効果が得られたため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	デートDV防止研修会	人権教育推進室・高校教育課	教員研修の充実	人権教育推進室	社会問題となっているデートDVに的確に対応するため、デートDVの発見者や相 談対応者となりうる中・中等教育・高等学校教職員等を対象に、その防止及び対応 方法等への研修を行う。	研修会では、デートDVへの理解・支援・予防について、有識者を招聘して講演を 実施し、その理解を深めた。 ・デートDV防止研修会の実施(1回・6月28日実施・21名参加)	0	研修の内容や方法等を熟考し実施 することで、啓発の成果を得られ たため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	出前講座の実施(デート DV防止・なんでもジェ ンダー平等・性の多様 性)	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	デートDV防止 出前講座	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]		デートDV防止出前講座 若年層におけるデートDVの防止・啓発のため、埼玉大学全学生対象に講座をオンラインで実施した。 ・実施回数 2回 ・講師謝礼 25千円	0	受講者アンケートでの理解度が 99%となり、想定どおりの啓発が できたため。

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	携帯・インターネット安 全教室	教育研究所	スマホ・タブレット安全 教室	教育研究所	児童生徒が安全にスマートフォンやインターネットを利用するために、企業・警察などの協力を得て、全ての市立小・中・高等・中等教育・特別支援学校において「スマホ・タブレット安全教室」を実施する。児童生徒がスマートフォンやインターネットを適切に利用する力を高めるものである。	事業者及び埼玉県警などの協力を得て、全ての市立小・中・高等・中等教育・特別 支援学校において「スマホ・タブレット安全教室」を実施することができた。実施 後の児童生徒に対するアンケートでは、「事件やトラブルにあわない方法を知るこ とができたか」という質問に対して、約99%の肯定的な回答が得られた。令和6年度 は市内全168校で47,618人の児童生徒と4,136人の保護者を対象に実施した。	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	メディアリテラシー出前 講座	教育研究所	メディアリテラシー出前 講座	教育研究所	実施する学校や地域の実態を踏まえて、子どもたちがスマートフォンやインター ネットを適切に利用できるように、保護者をはじめとする子どもを取り巻く大人た ちが、スマートフォン等に関する現状や課題を理解し、子どもたちに指導できるよ うにするための出前講座を行う。	実施する学校や地域の実態を踏まえて、子どもたちがスマートフォンやインターネットを適切に利用できるように、保護者をはじめとする子どもを取り巻く大人たちが、スマートフォン等に関する現状や課題を理解し、子どもたちに指導できるようにするための出前講座を行った。 ・実施回数10回 ・実施対象1,372名	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	ノーマライゼーション条 例の簡明版冊子の配布	障害政策課	ノーマライゼーション条 例の簡明版の配布	障害政策課	総合的な学習の時間等を活用し、児童の障害に対する理解を深めるため、条例の理念をわかりやすく示したノーマライゼーション条例リーフレットを作成し、市内の全小学校へ配布予定。	総合的な学習の時間等を活用し、児童の障害に対する理解を深めるため、条例の理念をわかりやすく示したノーマライゼーション条例リーフレットを作成し、市内の全小学校6年生へ配布した。 - 12,440部 ※ノーマライゼーション条例リーフレットとは、従来のノーマライゼーション条例の簡明版冊子を、より子どもが分かりやすいよう作成したもので、市内小学校6年生へは、令和5年度から配布を開始している。	0	予定通り実施することができたた め。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	1 一人ひとりの人権意識 を高める教育の推進	赤ちゃん・幼児触れ合い 体験	指導1課	全市立中学校・中等教育 学校における「赤ちゃ ん・幼児触れ合い体験」 の実施	教育課程指導課	「赤ちゃん・幼児触れ合い体験」は、平成24年度より、生命尊重教育の一貫として、全ての市立中学校が技術・家庭科の授業の中で実施している。中学生が、授業の中で、赤ちゃんや幼児と触れ合う体験をしたり、親が愛情をもって子どもに接する姿に触れたりすることを通して、赤ちゃんや幼児との関わり方や生命の大切さなどを学ぶ。 毎年、全市立中・中等教育学校に「『令和5年度赤ちゃん・幼児触れ合い体験』指導の手引き」を配布し、各学校の実施の参考となるようにしている。 【令和5年度の実施予定】・幼稚園、保育所へ訪問:32校・園児招待:16校 ・ボランティア親子招待:11校 【事業費(保険料)】120千円	全ての市立中学校が技術・家庭科の授業の中で実施している。中学生が、授業の中で、赤ちゃんや幼児と触れ合う体験をしたり、親が愛情をもって子どもに接する姿に触れたりすることを通して、赤ちゃんや幼児との関わり方や生命の大切さなどを学んだ。 【令和6年度の実施状況等】 ・幼稚園、保育所へ訪問:33校 ・園児招待:19校 ・ポランティア親子招待。8校 【訪問、招待、ボランティア親子招待の実施形態の内訳】 ・対面での交流(園児等と直接交流):59校 ・間接的な交流(手作り絵本の贈呈等):1校 ・オンライン交流:0校 ・その他0校 【事業費(保険料)】120千円	0	「自分や周りの人に命を大切にしようとする思いが高まった」などの成果に関する数値が昨年度よりも上昇しているため。
①基本的人権の尊 重に徹する教育の 推進	2 進路指導の充実	進路指導キャリア教育研 究協議会	指導 1 課	進路指導・キャリア教育 研究協議会の実施	教育課程指導課	指導・キャリア教育を行うこと、「さいたま市キャリア・パスポート(小・中学校	児童生徒が自己の個性を理解し、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てること、小・中学校9年間を見通した計画的、組織的、継続的な生き方指導としての進路指導・キャリア教育を行うこと、「さいたま市キャリア・パスポート(小・中学校版)SCS」等の資料を有効活用することを、「さいたま市の学校教育 推進の指針・指導の努力点」に示し、進路教育・キャリア教育の充実に努めた。	0	「推進の指針・指導の努力点」に よって進路教育・キャリア教育の 充実に努めることができたため。
②学習指導法のエ 夫・改善	1 個に応じた学習指導の 充実	指導内容、方法の工夫改 善	指導1課・指導2課・教職員人事課	指導内容、方法の工夫改 善	教育課程指導課 教職員人事課	一人ひとりの子どもたちの意欲を大切にし、理解や習熟の程度に応じた学習を行うなど、基礎学力の向上と個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。また、国の指導方法の工夫・改善(少人数指導)加配教員の活用に加えて、さいたま市独自のスクールアシスタント配置事業を実施する。具体的には、スクールアシスタントを小学校104校、中学校58校、中等教育学校1校、特別支援学校2校の合計165校(さいたま市全小・中・中等教育学校・特別支援学校)に配置して、きめ細かな指導の充実に努める。	一人ひとりの子どもたちの意欲を大切にし、理解や習熟の程度に応じた学習を行うなど、基礎学力の向上と個に応じたきめ細かな指導の充実を図った。また、国の指導方法の工夫・改善(少人数指導)加配教員の活用に加えて、さいたま市独自のスクールアシスタント配置事業を実施した。具体的には、スクールアシスタントを小学校104校、中学校58校、中等教育学校1校、特別支援学校2校の合計165校(さいたま市全小・中・中等教育学校・特別支援学校)に配置して、きめ細かな指導の充実に努めた。	0	概ね予定通りにスクールアシスタントを配置し、きめ細かな指導の 充実に努めることができたため
②学習指導法のエ 夫・改善	2 生きる力をはぐくむ授 業の推進	学習指導資料の作成・配 布	指導 1 課・教育研究所	学習指導資料の作成・配 布	教育課程指導課	学校教育の水準を高め、各教科等の授業を中心とした教育活動が円滑に行われるよう、学習指導資料を作成し、きめ細かな指導の支援に努める。 ・環境教育資料 5,400部 費用 1,200千円	理科や総合的な学習の時間の授業等で活用することのできる資料として、さいたま市の環境保全、環境データなどを掲載した環境教育資料「けやき」の改訂を行い、市立中・中等教育学校へ配布した。 〈作成資料〉 中学校環境教育資料「けやき」 〈配布部数〉 市立全中・中等教育学校59校 各50冊	0	当初の計画通り資料を作成し、配 布することができた。 学習に生かせる、さいたま市の環 境保全の最新データを掲載するこ とができた。
	2 生きる力をはぐくむ授 業の推進	いじめ防止指導事例集の 活用	指導2課	「児童生徒の心のサポート手引き いじめに係る 対応」の活用	生徒指導課	市立全小・中・高等・中等教育・特別支援学校において、各学校において制定している「いじめ防止基本方針」及び「児童生徒心のサポート 手引き いじめに係る対応」を活用した対応をするように、校長会や生徒指導主任研修会等で周知を図る。	・生徒指導に関する諸課題の複雑化に対応できるよう、「児童生徒心のサポート手引き いじめに係る対応」及び「児童生徒心のサポート手引き 緊急対応」の改訂を行った。 ・市立小・中・中等教育・特別支援学校において、各校が制定している「いじめ防止基本方針」及び「児童生徒心のサポート手引き」に基づいて対応をするように、校長会や生徒指導訪問、生徒指導主任研修会等で周知を図った。	0	校長会、生徒指導訪問、生徒指導 主任研修会において周知を図り、 各校において一定の効果があった と判断したため。
	2 生きる力をはぐくむ授 業の推進	改良縦笛・拡大写本の貸与	特別支援教育室	改良縦笛・拡大写本の貸 与	特別支援教育室	必要に応じて希望する児童生徒に、縦笛の改造品又は補装器具の貸与と拡大教科書 の供給を実施する。	必要に応じて希望する児童生徒に、縦笛の改造品又は補装器具の貸与と拡大教科書 の供給を実施した。	0	希望する児童生徒に縦笛の改造品 又は補装器具の貸与や拡大教科書 の供給をしたため
	3 個別課題に応じた指導 方法の充実	指導内容、指導方法のエ 夫改善	人権教育推進室	指導内容、方法の工夫改 善	人権教育推進室	各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を 行い、各学校での利活用を促す。 また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料として、今年度は 個別的な人権課題である「インターネットによる人権侵害」と「北朝鮮当局による 拉致問題等」を扱った学習指導案と人権教育研究指定校の実践例を盛り込んだ「ほ ほえみ〜新人権教育実践事例集〜第6集」を発行する。	各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を 行い、各学校での利活用を促した。 また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料「ほほえみ〜新人 権教育実践事例集〜第7集」を発行し、個別的な人権課題である「外国人の人権」 と「性的マイノリティに関する人権」を扱った学習指導案と人権教育研究指定校の 実践例を掲載した。	0	指導内容や方法の工夫、改善につ いて啓発することができたため。
②学習指導法のエ 夫・改善	3 個別課題に応じた指導 方法の充実	年間指導計画の作成支援	人権教育推進室	指導内容、方法の工夫改 善	人権教育推進室	各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を行い、各学校での利活用を促す。 また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料として、今年度は個別的な人権課題である「インターネットによる人権侵害」と「北朝鮮当局による拉致問題等」を扱った学習指導案と人権教育研究指定校の実践例を盛り込んだ「ほほえみ〜新人権教育実践事例集〜第6集」を発行する。	各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を 行い、各学校での利活用を促した。 また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料「ほほえみ〜新人 権教育実践事例集〜第7集」を発行し、個別的な人権課題である「外国人の人権」 と「性的マイノリティに関する人権」を扱った学習指導案と人権教育研究指定校の 実践例を掲載した。	0	指導内容や方法の工夫、改善につ いて啓発することができたため。
③正義感・思いや りを行き渡らせる 教育の推進	1 道徳教育の充実	指導内容、指導方法のエ 夫改善	指導 1 課・教育研究所	【教育課程指導課】 道徳教育研究協議会の実施 【教育研究所】 道徳教育の充実 指導内容、方法の工夫改善	教育課程指導課	一人ひとりの教員が、道徳教育の今日的課題や指導方法等について研修し、指導力の向上を図ることができるよう、道徳教育研究協議会を開催する。道徳教育研究協議会には保護者の参加も求め、学校、家庭、地域社会が連携して、道徳教育の一層の推進を図れるようにする。 〈全体研修〉道徳教育を中心的に推進している教員及び保護者対象の悉皆研修 〈会場校研修〉沼影小、浦和大里小で、公開授業に基づく研究協議会	一人ひとりの教員が、道徳教育の今日的課題や指導方法等について研修し、指導力の向上を図ることができるよう、道徳教育研究協議会を開催した。道徳教育研究協議会には保護者の参加も求め、学校、家庭、地域社会が連携して、道徳教育の一層の推進を図れるようにした。 〈全体研修〉 令和6年11月15日(金)実施 〈会場校研修〉 沼影小会場…令和6年11月21日(木)実施 浦和大里小会場…令和6年11月7日(木)実施	0	当初の計画通り研修会を実施することができた。 研修会のねらいである指導力の向上につながる協議が行われた。

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
③正義感・思いや りを行き渡らせる 教育の推進	2 特別活動の充実	指導内容、指導方法のエ 夫改善	指導 1 課・教育研究所	特別活動の充実 指導内容、方法の工夫改 善	教育課程指導課 教育研究所	小・中学校の教員の指導力向上を図るため、特別活動指導上の諸問題について研究 協議を行う特別活動研究協議会を開催し、各学校の特別活動の充実を図る。 ・大原中学校、柏崎小学校で研究発表及び研究協議会を開催	 小・中学校の教員の指導力向上を図るため、特別活動指導上の諸問題について研究協議を行う特別活動研究協議会を開催し、各学校の特別活動の充実を図った。 ・全体研修:令和6年6月4日(火) 市立小・中・中等教育学校の特別活動主任を対象に研修を開催 ・会場校研修:令和6年11月6日(水)・令和7年2月4日(火)研究指定校の日進中学校・岸町小学校で公開授業及び研究協議会を開催小・中学校における特別活動の指導の充実を図ることを目的として、特別活動指導用リーフレット(デジタル版)を作成した。 	0	計画通り研修会を実施することができた。 人間関係形成に焦点を当てたリーフレットを作成できた。
③正義感・思いや りを行き渡らせる 教育の推進	3 生徒指導の充実	子ども輝きプラン	指導2課	生徒指導の充実 第3次生徒指導総合計画 「子ども輝きプラン」	生徒指導課	各校における生徒指導の充実のため、第3次生徒指導総合計画「子ども輝きプラン」の周知を図る。	・各校における生徒指導の充実のために、校長会や生徒指導訪問、生徒指導主任研修会、教育課程説明会等において、生徒指導提要に基づく生徒指導観の転換の必要性や、「人間関係プログラム」の調査結果の活用の仕方等について周知を図った。・生徒指導観の転換に関する研修資料や、「人間関係プログラム」実施に係る動画資料を作成及び格納することを通して、各校における研修推進の一助となるようにした。	0	校長会、生徒指導訪問、生徒指導 主任研修会、教育課程説明会等に おいて周知を図り、各校において 一定の効果があったと判断したた め。
④様々な体験活動 ボランティア活動 の場や機会の充実	1 外国語の学習	外国人指導助手の配置	指導 1 課	外国人ボランティア 活用事業	教育課程指導課		すべての市立小・中・特別支援学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、「グローバル・スタディ」の推進を図ることができた。ALT以外の外国人ボランティアの募集・活用は行わなかった。	0	すべての市立小・中・特別支援学校に外国語指導助手 (ALT)を配置し、「グローバル・スタディ」の推進を図ることができたため。
④様々な体験活動 ボランティア活動 の場や機会の充実	2 スポーツ・文化・国際 5流の推進	姉妹・友好都市交流事業	観光国際課・指導 1 課	姉妹都市交流事業 姉妹・友好都市交流事業	観光国際課 教育課程指導課	スポーツ少年団は派遣・受入を隔年で実施している。令和6年度は、メキシコ・トルーカ市及びアメリカ・リッチモンド市に市内のスポーツ少年団を受入予定である。	スポーツ少年団は派遣・受入を隔年で実施している。令和6年度は、メキシコ・トルーカ市のスポーツ少年団・代表団(サッカー)、アメリカ・リッチモンド市のスポーツ少年団(野球)の受入を行った。 〇メキシコ・トルーカ市メキシコ・トルーカ市のスポーツ少年団・代表団受入(サッカー)受入人数:23人(選手15人+役員3人+代表団5人) ○アメリカ・リッチモンド市のスポーツ少年団受入(野球)受入人数:36人(選手15人+役員3人+代表団5人) 下記の海外都市訪問団の受入を行った。 ○中国・鄭州市 鄭州市訪問団/政府代表団・園林代表団受入 受入人数:11人(政府代表団6人+園林代表団5人) ○メキシコ・トルーカ市トルーカ市の市民訪問団受入受入人数:12人 ○韓国・水原市サッカー訪問団受入受入人数:27人(選手15人+水原市体育会3人+水原市サッカー協会9人)	0	スポーツ少年団及び海外都市訪問 団の受入を予定通り行い、交流を 深めることができたため。
④様々な体験活動 ボランティア活動 の場や機会の充実	2 スポーツ・文化・国際 流の推進	スポーツ少年団派遣・受入事業	観光国際課	姉妹都市交流事業	観光国際課	ルーカ市及びアメリカ・リッチモンド市のスポーツ少年団を受入予定である。	スポーツ少年団は派遣・受入を隔年で実施している。令和6年度は、メキシコ・トルーカ市のスポーツ少年団・代表団(サッカー)、アメリカ・リッチモンド市のスポーツ少年団(野球)の受入を行った。 〇メキシコ・トルーカ市 メキシコ・トルーカ市のスポーツ少年団・代表団受入(サッカー) 受入人数:23人(選手15人+役員3人+代表団5人) 〇アメリカ・リッチモンド市 アメリカ・リッチモンド市のスポーツ少年団受入(野球) 受入人数:36人(選手15人+役員3人+代表団5人)	0	スポーツ少年団の受入を予定通り行い、交流を深めることができたため。
④様々な体験活動 ボランティア活動 の場や機会の充実	3 体験活動の充実	総合的な学習の時間の研 究	指導 1 課	総合的な学習の時間の研 究	教育課程指導課	市立小・中学校への指導訪問において、総合的な学習の時間における体験活動の大切さやその指導方法などを、教員に対して指導主事が直接指導する。	市立小・中学校への指導訪問において、総合的な学習の時間における体験活動の大切さやその指導方法などを、教員に対して指導主事が直接指導した。	0	指導訪問における直接指導ができ たため。
④様々な体験活動 ボランティア活動 の場や機会の充実	4 ボランティア活動の充 3	特別活動における取組の 推進	指導 1 課	特別活動における取組の 推進	教育課程指導課	図り、自発的な参加への意欲を高める。また、生徒が自ら地域社会の一員であることを自覚し、地域社会や地域の人々のために役立っていると実感し、自己有用感を	市立小・中学校が各学校の実態に合わせてボランティア活動の機会を創出できるよう、募金活動等の実施について周知した。また、市立小・中学校への指導訪問において、特別活動における体験活動の大切さやその指導方法などを、教員に対して指導主事が直接指導した。	0	指導訪問における直接指導ができ たため。
⑤教育相談の充実 実	1 学校教育相談体制の充 E	スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワー カー・さわやか相談員の 充実		学校における教育相談体 制の充実	総合教育相談室	全ての市立中学校・中等教育学校に「さわやか相談員」を配置するとともに、全ての市立学校において、「スクールカウンセラー」と「スクールソーシャルワーカー」を配置・派遣し、各学校の教育相談主任を中心とした相談体制の充実を図る。また、市立各教育相談室と学校との連携を密にして、児童生徒の個に応じた支援を行うとともに、組織的な支援の充実に努める。	全ての市立中学校・中等教育学校に「さわやか相談員」を配置するとともに、全ての市立学校において、「スクールカウンセラー」と「スクールソーシャルワーカー」を配置・派遣し、各学校の教育相談主任を中心とした相談体制の充実を図った。また、市立各教育相談室と学校との連携を密にして、児童生徒の個に応じた支援を行うとともに、組織的な支援の充実に努めた。	0	全ての市立学校に「スクールカウンセラー」や「スクールソーシャルワーカー」を配置・派遣することにより児童生徒の相談件数が増えたため。
⑤教育相談の充実	1 学校教育相談体制の充 3	就学・発達相談	特別支援教育室	教育・就学相談の充実	総合教育相談室 特別支援教育室	市内に在住・在学する幼児から高校生及びその保護者を対象として、学校生活にかかわる様々な相談を受けるとともに、学習面や生活面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援方法を教職員に助言するなどして、児童生徒の健全育成を目指す。	市内に在住・在学する幼児から高校生及びその保護者を対象として、学校生活にかかわる様々な相談を受けるとともに、学習面や生活面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援方法を教職員に助言するなどして、児童生徒の健全育成を目指し実施した。	0	市内に在住・在学する幼児から高 校生及びその保護者を対象とし て、学校生活にかかわる様々な相 談を受けるとともに、支援方法を 教職員に助言したため
⑤教育相談の充実	2 教育支援体制の充実	日本語指導員派遣事業	指導 1 課	日本語指導員派遣事業	教育課程指導課	日本語の活用、または生活習慣において困難が伴うおそれのある帰国・外国人児童 生徒等に対し、日本語運用能力の向上と学校生活の安定化を図るため、学校からの 申請に基づき、対象となる児童生徒の在籍する市立小・中学校へ日本語指導員を派 遣する。	日本語の活用、または生活習慣において困難が伴うおそれのある帰国・外国人児童 生徒等に対し、日本語運用能力の向上と学校生活の安定化を図るため、学校からの 申請に基づき、対象となる児童生徒の在籍する市立小・中学校へ日本語指導員を派 遣した。 ・派遣指導員数 のべ125名 ・派遣実績 102校298名 (小学校75校242名、中学校27校56名)	0	日本語指導員を派遣することにより、日本語指導員を派遣することにより、日本語指導が必要な児童生徒に対する教育支援体制を整えることができたため。

(施策の分類 3) 教職員の研修
児童とはの人権教育を推進するためには、教職員の果たす役割はきわめて大きく、校長をはじめ全ての教職員自らが人権意識を高めるため、日々の自己研鑽を図る必要があります。また、豊かな人権感覚を身に付けることはもとより、豊かな人間性や専門的知識・技能・幅広い教養等を基盤とする実践的な指導力や資質向上を目指した研修が求められています。
このため、児童生徒一人ひとりの人格の発達などの実態を踏まえ教職員自らの職責を自覚するとともに、各学校における教育課題を明確にし、児童、生徒一人ひとりを大切にした授業ができるように努める必要があります。さらに、教職員一人ひとりの指導に関する技術、技能及び実践力の向上をさらに高められるよう、人権教育に配慮しながら教職員の幅広いニーズに対応した多様な研修の充実に努める必要があります。

		実施計画掲載内容		令和6年度実施						
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由	
①職能等に応じた研修	1 管理職研修の充実	管理職人権教育研修会 (校長対象)	人権教育推進室	教職員研修の充実	人権教育推進室	学校における人権教育を推進し、管理職としての役割について理解を深めるために 管理職研修会を実施する。 ・管理職人権教育研修会実施(全市立学校校長対象)	本研修会の実施により、学校経営の中で人権教育を推進・実施するにあたり、管理職としての役割について理解を深め、資質の向上を図った。 ・管理職人権教育研修会実施(全市立学校校長対象・6月19日実施)	0	研修内容を学校経営に生かそうと する多数の意見があったため	
①職能等に応じた研修	2 教職員の分野別研修の 充実	教育相談主任研修会	総合教育相談室	教職員研修の充実	総合教育相談室	児童生徒の悩みや課題に、組織的に対応できるように教育相談主任研修会を実施する。	児童生徒の悩みや課題に、組織的に対応できるように教育相談主任研修会を実施した。	0	研修後に「組織的な対応の仕方を 学べた」との感想が多かったた め。	
①職能等に応じた 研修	2 教職員の分野別研修の 充実	学校カウンセリング応用 研修	総合教育相談室	教職員研修の充実	総合教育相談室	高度な学校カウンセリングの知識、技能、方法を習得させ、学校内及びさいたま市の教育相談の推進者として、学校カウンセリングの普及定着を進める教員の育成を図るために学校カウンセリング応用研修会を実施する。	高度な学校カウンセリングの知識、技能、方法を習得させ、学校内及びさいたま市の教育相談の推進者として、学校カウンセリングの普及定着を進める教員の育成を図るために学校カウンセリング応用研修会を実施した。	0	研修後に「多様な児童生徒に対応 するスキルを学ぶことができた」 との感想が多かったため。	
①職能等に応じた 研修	2 教職員の分野別研修の 充実	人権教育主任研修会	人権教育推進室	教職員研修の充実	人権教育推進室	人権教育主任を対象とした人権教育主任研修会を実施し、資質の向上に努める。 ・人権教育主任研修会 3回実施 ・研究指定校授業研究 (悉皆)	人権教育主任を対象とした人権教育主任研修会を実施し、資質の向上に努めた。 ・人権教育主任研修会 3回実施(5月15日・8月2日・11月1日)	0	研修の内容や方法等を熟考し実施 することで、啓発の効果を得られ たため。	
①職能等に応じた 研修	2 教職員の分野別研修の 充実	生徒指導主任研修会	指導2課	教職員の分野別研修の充 実	生徒指導課	・第1回生徒指導主任研修会 (1) 生徒指導主任の修会 (1) 生徒指導主任の年間の業務について (2) 長期欠席に係る調査について (3) いじめに係る状況調査について ・第2回生徒指導主任研修会 (1) 生徒指導基幹研修内容報告 (2) いじめに係る対応について ・第3回生徒指導主任研修会 (1) スクールロイヤーによる講義・演習「いじめ問題における留意点」について ・第4回生徒指導主任研修会 (1) スクールロイヤーによる生徒指導体制についての講義	・第1回生徒指導主任研修会 (1) 年間業務、生徒指導提要について (2) いじめの対応、いじめに係る状況報告について (3) 不登校児童生徒への対応について 参加者:小・中・高等・中等教育・特別支援学校168名 ・第2回生徒指導主任研修会 (1) いじめに係る状況報告について (2) いじめの深刻化を防ぐための早期支援・組織的対応の重要性について 参加者:小・中・高等・中等教育・特別支援学校168名 ・第3回生徒指導主任研修会 (1) 非行傾向のある児童生徒への対応について (2) 保護者対応について 参加者:小・中・等教育・特別支援学校165名 ・第4回生徒指導主任研修会 (1) 令和6年度研究委嘱校実践発表 「特活×生徒指導」 (2) 令和6年度生徒指導基幹研修報告 参加者:小・中・高等・中等教育・特別支援学校168名	0	全4回の研修会後の振り返りを通 して、研修内容理解度平均及び資 質向上平均が93%と、肯定的評価 を得ることができ、概ね研修の成 果があったと判断したため。	
①職能等に応じた研修	2 教職員の分野別研修の 充実	国際教育主任研修会	指導 1 課	国際教育主任研修会の実 施	教育課程指導課	小・中学校の国際教育主任を対象とした研修会を実施し、主任としての専門性の向 上を図ることにより、国際教育の推進に努める。	小・中学校の国際教育主任を対象とした研修会を実施し、主任としての専門性の向 上を図ることにより、国際教育の推進に努めた。	0	研修会の実施により、各校での国際教育、国際交流に関する取組の 充実を図ることができたため。	
①職能等に応じた研修	2 教職員の分野別研修の 充実	道德教育研修会	教育研究所	道徳教育研修会	教育研究所	学習指導要領「特別の教科 道徳」に対応した「道徳授業の効果的な指導方法」に ついて、外部講師による講義等を実施する。	学習指導要領「特別の教科 道徳」に対応した「道徳授業の効果的な指導方法」に ついて、外部講師による講義等を実施した。 期 日 令和6年8月2日(金) 会 場 教育研究所 参加者 71名 費 用 なし	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。	
①職能等に応じた 研修	2 教職員の分野別研修の 充実	子どもを生き生きさせる 特別活動研修会	教育研究所	子どもを生き生きさせる 特別活動研修会	教育研究所	よりよい学校生活や人間関係を築くことができる特別活動の指導方法について、大学教授による講義や分科会ごとの演習・協議を実施する。	よりよい学校生活や人間関係を築くことができる特別活動の指導方法について、大学教授による講義や分科会ごとの演習・模擬授業等を実施した。 期 日 令和6年8月23日(金) 会 場 教育研究所 参加者: 70名 費 用: 15千円	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。	
①職能等に応じた研修	2 教職員の分野別研修の 充実	基礎から学ぼう発達障害 研修会	教育研究所	基礎から学ぼう発達障害 研修会	教育研究所	※研修の見直しにより令和5年度より廃止。	_	×	研修の見直しにより令和6年度は 実施しなかったため。	
①職能等に応じた研修	2 教職員の分野別研修の 充実	教育心理・教育相談研修 会	教育研究所	教育心理・教育相談研修 会	教育研究所	通常の学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒への具体的な対応等について、外部講師による講義・演習を実施する。	通常の学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒への具体的な対応等について、外部講師による講義・演習を実施した。 期 日 令和6年8月21日 (水) 会 場 教育研究所 参加者 86名 費 用 なし	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。	
①職能等に応じた研修	2 教職員の分野別研修の 充実	いじめ問題とその対応研 修会	教育研究所	いじめ問題とその対応研 修会	教育研究所	いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処方法などについての講義を実 施する。	いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処方法などについての講義を実施した。 方 法 動画視聴 参加者 113名 費 用 なし	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。	
①職能等に応じた研修	2 教職員の分野別研修の 充実	日本語指導が必要な児童 生徒の支援方法研修会	教育研究所	日本語指導が必要な児童 生徒の支援方法研修会	教育研究所	※研修の見直しにより令和5年度より廃止。	_	×	研修の見直しにより令和6年度は 実施しなかったため。	

施策の方向	具体的施策	事業名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①職能等に応じた研修	: 2 教職員の分野別研修の 充実	子ども虐待防止フォーラム	子ども家庭総合センター総務課・人権教 育推進室	子ども虐待防止フォーラ ム	子ども家庭支援課 人権教育推進室	深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対処するために、幼稚園、保育園、 小・中・中等教育・特別支援学校等の子育て支援関係者が、児童虐待の早期発見・ 早期対応等の適切な支援方法を学ぶ場として、フォーラムを実施する。	深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対処するために、児童虐待の第一発 見者となりうる幼稚園、保育園、小・中・中等教育・特別支援学校等の子育て支援 関係者が、児童虐待の早期発見・早期対応等の適切な支援方法を学ぶ場として、 フォーラムを実施した。	0	子ども虐待防止フォーラム参加者 のうち「参考になった」と回答し た人の割合が98.1%となり一定の 効果が得られたため。
①職能等に応じた研修	3 教職員の経験年数別研修 等の充実	多 初任者研修「児童生徒理 解」	教育研究所	初任者研修「人権教育の進め方」	教育研究所	初任者研修において、日ごろの自らの言動を振り返るとともに、人権教育の基本的 な考え方についての講義を実施する。	初任者研修において、児童生徒と信頼関係を築くことの重要性について理解を深めるとともに、そのための具体的な方法について知り、児童生徒の人権を尊重しながら、積極的に信頼関係を築こうとする意欲を高める講義・演習を行った。 日 令和6年6月19日(水) 方法 リアルタイムオンライン 参加者 301名 費 用 なし	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。
①職能等に応じた研修	3 教職員の経験年数別研修 等の充実	2年経験者自主研修「学 校カウンセリング基礎研 修」	教育研究所	教職員研修の充実	総合教育相談室	面談の基礎を中心に演習を行い、現場で生かすことができる知識、技能、方法を習得させ、学校カウンセリングの普及定着を進め、多面的な児童生徒理解ができる教員の育成を図るために、学校カウンセリング基礎研修会を実施する。	面談の基礎を中心に演習を行い、現場で生かすことができる知識、技能、方法を習得させ、学校カウンセリングの普及定着を進め、多面的な児童生徒理解ができる教員の育成を図るために、学校カウンセリング基礎研修会を実施した。	0	研修後のアウンケートで「カウン セリングマインドを学ぶことがで きた」という肯定的な回答が多く 見られたため。
①職能等に応じた研修	3 教職員の経験年数別研修 等の充実	教育経営研修「学校教育 における人権教育の推 進」	教育研究所	教育経営研修「学校教育における人権教育の推進」	教育研究所	教育経営研修において、人権教育の意義と課題、今後の学校運営における人権教育 推進の視点等について、講義・演習を実施する。	教育経営研修において、人権教育の意義と課題、今後の学校運営における人権教育 推進の視点等について、講義・演習を実施した。 期 日 令和6年9月27日(金) 会 場 教育研究所 参加者 42名 費 用 なし	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。
②各教科等を通し た研修	1 授業研究会等の促進	教育研究会等との連携・ 推進	指導 1 課・教育研究所	教育研究会の活動との連携	教育課程指導課 教育研究所	教育研究会各専門部との共催による研修会の実施を通して、教職員の資質向上を図り、人権意識の高揚に努める。 〈教育研究会と共催した研修会(14専門部と共催、14講座実施)> ・書写実技研修会 ・社会科臨地研修会 ・算教、教学科 授業づくり研修会 ・理科教育臨地研修会 ・生活科・総合的な学習の時間研修会 ・これからの音楽教育を学ぶ研修会 ・ときめきアートミュージアム ・家庭科実習研修会 ・中学校技術・家庭教員のための授業づくり研修会 ・中学校技術・家庭教員のための授業づくり研修会 ・中学校グローバル・スタディ科教師のための指導カスキルアップ講座 ・道徳教育研修会 ・ロマを交替の選挙である。 ・10T×教科の授業づくり研修会 ・教育心理・教育相談研修会 ・さいたま市各区児童生徒美術展 ・さいたま市小・中学校合同音楽会	教育研究会各専門部との共催による研修会の実施を通して、教職員の資質向上を図り、人権意識の高揚に努めた。 〈教育研究会と共催した研修会(14専門部と共催、14講座実施)〉 ・書写実技研修会 ・君美大師修会 ・ 2	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。
②各教科等を通し た研修	1 授業研究会等の促進	教育研究会等との連携・ 推進	指導 1 課・教育研究所	各教科等指導法研修会	教育課程指導課 教育研究所	【教育課程指導課】 〈各教科等の研修〉 一人ひとりの子どもたちに、きめ細かな個に応じた指導を行うため各教科等研修を実施する。 ・小・中学校体育実技講習会 ・グローバル・スタディ科主任研修会 ・道徳教育研究協議会 ・道徳教育研究協議会 【教育研究所】 〈学習状況調査の活用に特化した研修会〉 ・学習状況調査研修会 教育研究所教職員研修会 教育研究所教職員研修会 教育研究所教職員研修会 ・が任者研修 ・5年経験者研修 ・中堅教論等資質向上研修 ・初めて教職に就く臨時的任用教員研修 <年次研修〉 ・全98講座 ・全98講座	【教育課程指導課】	0	概ね想定どおりの一定の効果が あったと考えられるため。
②各教科等を通し た研修	2 指導法の向上に係る教 職員研修の充実	人権教育研究指定校の研 究発表	人権教育推進室	人権教育の研究指定	人権教育推進室	各学校が自校の人権課題に基づき、学校の教育活動全体を通じて、人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育成することをねらいとし、市立小・中学校の中から指定校を選び人権教育の充実を図る。 ・研究指定校 (新開小学校)	自校の人権課題に基づき、学校の教育活動全体を通じて、人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育成することをねらいとし、授業研究会を実施した。 ・11月1日 第3回人権教育主任研修会で研究発表(費用 25千円)・参加人数は、合計131名。	0	学校と連携を図り、指導内容や指導方法の確認しながら進め、その成果を発表し、啓発することができたため。
③校内における研 修	1 講演会・研究会等の充 実	指導者派遣等	人権教育推進室	教職員研修の充実	人権教育推進室	学校における人権教育を推進するため、また教職員が人権について正しい理解を深めるために校内人権教育研修会を実施し、資質の向上に努める。 学校における研修会の充実を図るため、講師の派遣支援やビデオの貸出しを行う。 ・講師の派遣 ・指導主事等の派遣 ・啓発ビデオ/DVDの貸出し	各学校において人権教育を推進し、研修会の充実や教職員が人権について正しい理解を深めるために講師の派遣を行い、資質の向上を図った。 ・講師の派遣(34回 342千5百円) ・指導主事等の派遣(7回) ・啓発ビデオ/DVDの貸出し(26校 延べ62本)	0	指導主事等の派遣により、人権意 識の高揚が得られたため。
③校内における研修	: 1 講演会・研究会等の充 実	人権教育・啓発ビデオ/ DVDの貸出し	人権教育推進室・教育研究所	教職員研修の充実	人権教育推進室	学校における人権教育を推進するため、また教職員が人権について正しい理解を深めるために校内人権教育研修会を実施し、資質の向上に努める。 学校における研修会の充実を図るため、講師の派遣支援やビデオの貸出しを行う。 ・講師の派遣 ・啓発ビデオ/DVDの貸出し	各学校において人権教育を推進し、研修会の充実や教職員が人権について正しい理解を深めるために講師の派遣を行い、資質の向上を図った。 ・講師の派遣 (34回 342千5百円) ・指導主事等の派遣 (7回) ・啓発ビデオ/DVDの貸出し (26校 延べ62本)	0	指導主事等の派遣により、人権意 識の高揚が得られたため。

[基本的課題 ②] あらゆる場における人権教育、啓発の推進

(施策の分類 1) 隣保館、集会所、男女共同参画推進センター、公民館等公共施設における人権教育、人権啓発 人権文化を構築していく主役は一人ひとりの市民ですが、その個人のつながりが社会を作り上げています。その意味において、さまざまな人が集まり活動を行っている公民館等の公共施設で、参加する一人ひとりがお互いの人権を尊重しあう行動を取ることが、豊かな共生社会、人権文化の息づくまちの実現につながっています。 公民館、隣保館(三つ和会館)、集会所(五反田会館等)、男女共同参画推進センターなど市民がかかわる様々な場面で、人権についてお互いに考え話し合えるような環境を整備するとともに、日常生活の身近な問題からはじまり、人権課題に関する正しい知識を習得しながら豊かな人権感覚が身に付き、人権への配慮が態度やおり、関連技術となるでは、世界では、大権問題に対して自主的に取り組むところまで活動。内閣・10年の大阪では、10年 このため、学習機会を充実する、地域交流を推進する、自主的活動への支援の方向から事業を展開しました。

		実施計画掲載内容			令和6年度実施							
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由			
①学習機会の充実	1 施設主催の各種学級、 講座、セミナー等の充実	公民館における人権・同 和問題の理解を図る講座	人権教育推進室・公民館	公民館における人権・同 和問題の理解を図る講座	人権教育推進室 公民館	市民の人権意識の高揚を図るため、人権教育推進室予算で公民館主催事業として、各館が人権に関する内容で講座を開催する。 (内容:障害者・男女差別・LGBT・子どもの人権等)	市民の人権意識の高揚を図るため、人権教育推進室予算で公民館主催事業として、 各館が人権に関する内容で講座を開催した。 (内容:障害者・女性・子どもの人権等) ・生涯学習総合センター及び59館の公民館で開催(参加者1,895人 費用600千円)	0	講座の実施により、一定の効果が 得られたため。			
①学習機会の充実	1 施設主催の各種学級、 講座、セミナー等の充実	日本語教室	公民館	日本語教室	公民館	浦和区の南箇公民館において、地域の日本語ボランティアグループの協力により、 外国人を対象とする日本語教室を実施する。	浦和区の南箇公民館において、地域の日本語ボランティアグループの協力により、 外国人を対象とする日本語教室を実施し、外国人が地域と交流する機会の提供に努 めた。(年間44回 費用36千円)	0	ボランティアグルーブと協力し、 予定していた回数を実施したた め。			
①学習機会の充実	1 施設主催の各種学級、 講座、セミナー等の充実	子育て支援センター事業	子育て支援政策課・保育課	子育て支援センター事業	保育施設支援課	令和6年度は、単独型10か所、民間保育所併設54か所、公立保育所併設2か所、の計66か所の子育て支援センター事業を実施する予定。 子育て支援センターでは、子育てサロンや各種講習会等の開催、面接相談、電話相談、講演会などを通じて、育児不安等についての相談指導や情報提供を行うとともに、子育てサークル等の養成・支援を行う予定。	令和6年度は、単独型10か所、民間保育所併設54か所、公立保育所併設2か所、の計66か所の子育て支援センター事業を実施した。 子育て支援センターでは、子育てサロンや各種講習会等の開催、面接相談、電話相談、講演会などを通じて、育児不安等についての相談指導や情報提供を行うとともに、子育てサークル等の養成・支援を行った。	0	概ね予定どおりに取組を実施し、 想定どおりの一定の効果があった と考えられるため。			
①学習機会の充実	2 隣保館・集会所事業の 充実	人権講演会・講座	人権政策・男女共同参画課(隣保館)・ 人権教育推進室(集会所)	人権講演会及び健康・生 活・福祉相談事業		様々な人権問題について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図ることを目的として、人権講演会を開催する。また、地域福祉と文化の向上及び地域住民の交流を促進するため、各種講座や教室を開催する。	様々な人権問題について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図ることを目的 として、人権講演会を開催した。 また、地域福祉と文化の向上及び地域住民の交流を促進するため、各種講座や教室 を開催した。 ・人権講演会 開催数 2回 ・各種講座、教室 16事業 延べ61回開催	0	人権講演会及び各種講座を開催することができたため。			
①学習機会の充実	2 隣保館・集会所事業の 充実	人権講演会における託児	人権政策・男女共同参画課(隣保館)	講演会開催における託児 の実施	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	子育て世代の方も参加できるよう、託児を実施する。	子育て世代の方も参加できるよう、託児を実施した。	0	子育て世代の方も参加できるよう、託児を実施できたため。			
①学習機会の充実	2 隣保館・集会所事業の 充実	隣保館・集会所講座(成 人、子ども教室等)	人権政策・男女共同参画課(隣保館)、 人権教育推進室(集会所)	集会所講座	人権教育推進室	成人講座、子ども講座等の主催事業を開催し、地域住民の交流を促進するとともに 住民の人権意識の高揚に努める。	成人講座、子ども講座等の主催事業を開催し、地域住民の交流を促進するとともに 住民の人権意識の高揚に努めた。 五反田会館 ・20事業 194回 3,371人 費用 854千円 鹿室南集会所 ・22事業 72回 867人 費用 561千円	0	主催事業の実施により、一定の効果が得られたため。			
①学習機会の充実	3 男女共同参画推進セン ター事業の充実	男女共同参画関連講座等 の実施	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	男女共同参画関連講座	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催する。 ・主催講座・講演会回数 63回 ・主催講座・講演会講師謝礼 1,823千円	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催した。 ・主催講座・講演会回数 52回 ・主催講座・講演会講師謝礼 1,395千円	0	予定通り講座、講演会を実施した 結果、受講者アンケートでの理解 度平均が98%を超え、男女共同参 画についての意識の向上が見受け られたため。			
①学習機会の充実	4 施設利用者対象研修会 の開催	隣保館・集会所	人権政策・男女共同参画課(隣保館)・ 人権教育推進室	人権講演会	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	様々な人権問題について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図ることを目的として、人権講演会を開催する。	様々な人権問題について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図ることを目的 として、人権講演会を開催した。 ・人権講演会 開催数 2回	0	人権講演会を開催することができ たため。			
②地域交流の促進	1 隣保館・集会所・公民 館事業の実施	高齢者・サークルの交流 促進	人権政策・男女共同参画課(隣保館)・ 人権教育推進室(集会所)	高齢者・サークル交流促 進事業	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	人権問題の解決の一環として、地域住民及び利用団体相互の交流を図るため、文化 祭を開催する。	人権問題の解決の一環として、地域住民及び利用団体相互の交流を図るため、文化 祭を開催した。	0	文化祭を開催することができたた め。			
②地域交流の促進	1 隣保館・集会所・公民 館事業の実施	隣保館文化祭	人権政策・男女共同参画課(隣保館)	高齢者・サークル交流促 進事業	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	人権問題の解決の一環として、地域住民及び利用団体相互の交流を図るため、文化 祭を開催する。	人権問題の解決の一環として、地域住民及び利用団体相互の交流を図るため、文化 祭を開催した。	0	文化祭を開催することができたため。			
②地域交流の促進	1 隣保館・集会所・公民 館事業の実施	集会所文化祭	人権教育推進室(集会所)	集会所講座	人権教育推進室	成人講座、子ども講座等の主催事業を開催し、地域住民の交流を促進するとともに 住民の人権意識の高揚に努める。	成人講座、子ども講座等の主催事業を開催し、地域住民の交流を促進するとともに 住民の人権意識の高揚に努めた。 五反田会館 ・20事業 194回 3,371人 費用 854千円 鹿室南集会所 ・22事業 72回 867人 費用 561千円	0	主催事業の実施により、一定の効果が得られたため。			

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
②地域交流の促進	2 育成支援制度の適用対 象児と健常児の交流、 世代間交流や異年齢児交流 の促進		保育課	障害児と健常児の交流、 世代間交流や異年齢児交 流の促進	保育課	やコミュニケーションの発達を促す。 ・集団交流・・保育園と施設との相互訪問を実施し交流を行う。 ・個別交流・・さくら草学園等への通所児童が、保育園の遊びに参加する。 世代間交流を実施する予定。	公立保育園と市内障害児施設との交流保育を実施した。 集団の活動などを通して、同年齢の児童との交流を図り、障害のある児童のことば やコミュニケーションの発達を促した。 ・集団交流・・保育園と施設との相互訪問を実施し交流を行った。 ・個別交流・・さくら草学園等への通所児童が、保育園の遊びに参加した。 世代間交流を実施した。(13園) 保育園の中だけでは得られない世代間のふれあいを体験した。 ※交流の経験を通し、保育園児の人に対する思いやりの心が育つようになる。	0	市内障害児施設との交流や世代間 交流を通し、保育園の中だけでは 得られないふれあいを体験するこ とができたため。
②地域交流の促進	3 施設主催事業の充実	児童センター事業	青少年育成課	児童センター管理運営事 業	子ども・青少年政策 課	(目的) 児童が健全な遊びを通じて、その健康を増進し、又は情操を豊かにする。 (事業内容) 18か所で児童センター事業を実施し、児童福祉にかかる住民の各種の ニーズに対応して、地域の児童健全育成の拠点としての役割を担う。	児童が健全な遊びを通じて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、18か 所で児童センター事業を実施し、児童福祉にかかる住民の各種のニーズに対応し て、地域の児童健全育成の拠点としての役割を担った。 (延べ利用者数) 428,300人 (費用) 委託料 614,607千円	0	地域の児童健全育成の拠点として、家庭・地域等との連携に寄与したため。
②地域交流の促進	3 施設主催事業の充実	子育て支援センター事業	子育で支援政策課・保育課	子育て支援センター事業	子育て支援課 保育施設支援課 保育課	66か所の子育て支援センター事業を実施する予定。 子育て支援センターでは、子育てサロンや各種講習会等の開催、面接相談、電話相	令和6年度は、単独型10か所、民間保育所併設54か所、公立保育所併設2か所、の計66か所の子育て支援センター事業を実施した。 子育で支援センターでは、子育でサロンや各種講習会等の開催、面接相談、電話相談、講演会などを通じて、育児不安等についての相談指導や情報提供を行うとともに、子育でサークル等の養成・支援を行った。	0	概ね予定どおりに取組を実施し、 想定どおりの一定の効果があった と考えられるため。
②地域交流の促進	3 施設主催事業の充実	知的障害者との交流促進 及び地域貢献活動事業	七里コミュニティセンター (コミュニティ推進課)	障害者アート講座	七里コミュニティセ ンター	知的障害者との交流を図るため、七里コミュニティセンター自主講座「障害者アート講座」を開催する。	知的障害者との交流を図るため、七里コミュニティセンター自主講座「障害者アート講座」を開催した。	0	参加者より好評の声があったため、次年度も開催予定となった。
③自主的活動への 支援	1 サークル活動への施設 の提供	サークルへの支援	人権政策・男女共同参画課(隣保館)人 権教育推進室(集会所)	集会施設の貸出し事業		文化の向上、健康増進及び生きがいの促進を図るため、地域住民による利用団体に施設の貸出しを行う。 (年間利用者見込み 9,000人)	文化の向上、健康増進及び生きがいの促進を図るため、地域住民による利用団体に 施設の貸出しを行った。 (年間利用者 10,989人)	0	利用団体に施設を提供することが できたため。
③自主的活動への 支援	1 サークル活動への施設 の提供	日本語教室の支援	生涯学習総合センター・公民館・観光国 際課	日本語教室の支援	センタ <i>ー</i> 公民館	生涯学習総合センター及び地区公民館9館(植竹、桜木、大宮中部、七里、春岡、土合、大久保東、岸町、南箇)において、外国人に対する日本語講座を実施する市民団体に対し、優先的に施設の貸出しをし、外国人が日本語を学習する機会の提供に努める。	合、大久保東、岸町、南箇)において、外国人に対する日本語講座を実施する市民	0	各公民館において、外国人が日本 語を学習する機会の提供を行った ため。
③自主的活動への 支援	2 男女共同参画に関する 学習グループの支援	活動場所及び情報の提供	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	活動場所及び情報の提供	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	た、男女共同参画に関する図書・行政資料・DVD等の関係情報を収集し、提供す	団体の自主活動の場として、男女共同参画推進センター会議室の貸出しを行った。 また、男女共同参画に関する図書・行政資料・DVD等の関係情報を収集し、提供 した。	0	会議室の利用人数3,916名、図書 等貸出184名があり、概ね想定ど おりの利用があったため。
	3 隣保館・集会所施設の 貸出し	各種サークルへの施設の 提供	人権政策・男女共同参画課(隣保館)・ 人権教育推進室(集会所)	集会施設の貸出し事業		文化の向上、健康増進及び生きがいの促進を図るため、地域住民による利用団体に施設の貸出しを行う。 (年間利用者見込み 9,000人)	文化の向上、健康増進及び生きがいの促進を図るため、地域住民による利用団体に 施設の貸出しを行った。 (年間利用者 10,989人)	0	利用団体に施設を提供することが できたため。
③自主的活動への 支援	4 人権学習の情報提供	人権情報誌の提供	人権政策・男女共同参画課(隣保館)・ 人権教育推進室(集会所)	人権情報誌の提供	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	地域住民に「三つ和会館だより」を配布する。 (発行回数6回、発行部数5,820部)	地域住民に「三つ和会館だより」を配布した。 (発行回数6回、発行部数5,880部)	0	「三つ和会館だより」を6回発行 することができたため。

(施策の分類 2) 社会教育関係団体における人権教育、人権啓発 社会教育活動に従事する人々や関係団体の構成員に対しては、各人の自発的な意思に基づき学習ができるよう、公民館等の社会教育施設を中心に人権講座の開設や交流活動など、多様な学習機会を提供することが求められます。また、日常生活の身近なところで人権意識に根ざした具体的な行動や実践ができるような指導者を育成することも必要です。 そのため、地域のPTA団体や青少年団体等の社会教育団体との連携を密にしつつ、指導者の人権意識の高揚、各種団体への支援システムの整備、指導者の育成の方向から事業を実施しました。

		実施計画掲載内容			令和6年度実施								
施策の方向	具 体 的 施 策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由				
①指導者の人権意 識の高揚	: 1 社会教育関係団体対象 研修会の開催	人権啓発講演会	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	人権啓発講演会	人権政策・男女共同 参画課 人権教育推進室	市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行う。 ・オンライン開催(令和6年12月~令和7年1月ごろ 講演動画配信等)	市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行った。 ・オンライン開催(令和6年12月4日~令和7年1月7日 講演動画配信等) ・講演動画視聴数476件、HP閲覧数1,136件 ・参加者の人権問題への理解度97.3%	©	人権啓発講演会を開催し、総合振 興計画実施計画に掲げる目標であ る参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したた め。				
②支援システムの整備	1 各種団体への支援事業 の充実整備	学習教材等の貸出し	人権教育推進室	啓発ビデオ等の収集・貸 出し	人権教育推進室	各種の人権問題解決に向けての啓発ビデオ/DVDを購入し、講演会・研修会等において活用するとともに、学校や会社等へ貸出しに努める。	各種の人権問題解決に向けての啓発ビデオ/DVDを購入し、講演会·研修会等において活用するとともに、学校や会社等へ貸出しに努めた。 ・貸出し数 延べ62本(学校62本)	0	一定の効果が得られたため。				
②支援システムの整備	2 団体・交流支援事業の 充実	活動場所及び情報の提供	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	活動場所及び情報の提供			団体の自主活動の場として、男女共同参画推進センター会議室の貸出しを行った。 また、男女共同参画に関する図書・行政資料・DVD等の関係情報を収集し、提供 した。	0	会議室の利用人数3,916名、図書 等貸出184名があり、概ね想定ど おりの利用があったため。				
②支援システムの整備	3 団体・サークルへの講 師派遣等の充実整備	人権教育指導者派遣	人権教育推進室	人権教育指導者派遣	人権教育推進室	各種団体が開催する研修会等に指導者を派遣することにより、地域住民の自主的な 人権学習を援助し、地域における住民の人権教育·啓発活動の支援に努める。	派遣依頼等がなかったため、実績なし。	×	派遣依頼等がなく、未実施のため。				
②支援システムの整備	4 障害者の権利擁護体制 の整備	障害者の権利の擁護に関 する委員会の運営	障害政策課	障害者の権利の擁護に関する委員会の運営	障害政策課	「障害者の権利の擁護に関する委員会の運営」 令和6年度は2回開催し、障害者差別の解消に関する課題の整理や今後の取組等の検 討を実施予定	「障害者の権利の擁護に関する委員会の運営」 6月と1月に各1回、委員会を開催し、障害者差別の解消に関する課題の整理や今後の 取組等の検討を実施した。	0	予定通り実施することができたた め。				
②支援システムの 整備) 4 障害者の権利擁護体制 の整備	高齢・障害者権利擁護センターの運営	高齢福祉課	高齢・障害者権利擁護センターの運営	高齢福祉課		高齢・障害者権利擁護センターにおいて、第三者の後見人として活動することを希望する市民に対して、後見人業務にかかる知識を身につけるための市民後見人の養成講座を実施した。	0	市民後見人養成研修(専門研修) を18名が受講し、一定の効果が得 られたと考えられるため。				
②支援システムの整備	4 障害者の権利擁護体制 の整備	地域自立支援協議会の運営	障害支援課	地域自立支援協議会の運営		令和6年度地域自立支援協議会は、本協議会及び4つの専門部会で構成され、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、地域のサービス基盤の整備、障害者の地域における自立した生活の支援に関する事項を調査審議する。また、6つの区に障害者支援地域協議会を設置し、区ごとの調査審議を実施する。 【開催数】・本協議会:3回・・・精神障害者を支える地域包括ケアシステムの構築について・障害者虐待防止部会:2回・・・障害者虐待について・障害者虐待防止部会:2回・・・障害者相談支援や制について・・子ども部会:2回・・・陸審者相談支援や制について・子ども部会:2回・・・医療的ケア児について・障害者支援地域協議会:岩槻区、中央区、南区、浦和区、桜区、北区・・・区における課題・連携強化について(費用:968千円)	令和6年度地域自立支援協議会は、本協議会及び4つの専門部会で構成され、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、地域のサービス基盤の整備、障害者の地域における自立した生活の支援に関する事項を調査審議した。また、6つの区に障害者支援地域協議会を設置し、区ごとの調査審議を実施した。【開催数】 ・本協議会:3回・・・精神障害者を支える地域包括ケアシステムの構築について・障害者虐待防止部会:2回・・・障害者虐待について・暗害者虐待防止部会:2回・・・障害者虐待について・・戸き者虐待防止部会:2回・・・陸市者協支支援体制について・子ども部会:2回・・・医療的ケア児について・戸害者支援地域協議会:西区1回、見沼区3回、岩槻区2回、中央区3回、南区1回、浦和区2回、桜区2回、北区2回・・・区における課題・連携強化について(費用:664千円)	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。				
③指導者の育成	1 指導者育成事業の実施	人権教育・啓発指導者の 育成	人権教育推進室、人権政策・男女共同参 画課	社会教育関係職員研修の 充実	人権教育推進室	社会教育における人権教育を一層推進するために、公民館職員を対象に研修会を実施し、人権教育の充実に努める。	社会教育における人権教育を一層推進するために、公民館職員を対象に研修会を実施した。	0	研修会を実施することで、人権教育の推進を図ることができたため。				

(施策の分類 3)家庭、地域における人権教育、人権啓発 人権が共存する地域社会を実現するためには、家庭においては、市民一人ひとりが人権尊重を基調とした家庭教育を充実させたり、日常生活の中で発生するさまざまな人権問題に気づくような鋭い人権感覚を身に付けたりすることが大切です。とりわけ、子どもにとって家庭は、人間形成に大きな影響を及ぼすだけでなく、基本的な生活習慣を身に付けたり、家族との交流の中から人権問題に対する正しい知識を身に付けたりする重要な場です。 一方で、地域社会においては、人間同士の交流を通して人権問題に関するさまざまな情報の中から正しい知識を習得したり、自分で考え判断して行動したりすることが必要となってきます。 そのため、家庭や地域等のあらゆる場面において自分の人権はもとより、他の人たちの人権をも尊重する精神をはぐくんだり、人権意識に根ざした具体的行動に結びついたりするような学習機会を提供していく必要があります。 そのために、社会参画の促進、教育力の向上、指導者の育成、自主的活動の支援の方向から各種の事業を実施しました。

		実施計画掲載内容				令和6年	F度実施		
施策の方向	具 体 的 施 策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
①社会参画の促進	1 高齢者社会参画事業の 充実	シニアユニバーシティの 開校	高齢福祉課	シニアユニパーシティの 開校	高齢福祉課	めることを目的にさいたま市シニアユニバーシティを開校する。	高齢者の方に生涯学習の一環として、社会変化に対応する能力と心身の健康を培い、また、積極的な社会参加と学生間の親睦と交流を図ることにより生きがいを高めることを目的にさいたま市シニアユニバーシティを開催した。令和6年度卒業者 770人 大学 北浦和校91人 浦和校105人 中央校49人 大宮校87人 北大宮校53人 岩槻校 48人 大学院 北浦和校60人 浦和校56人 中央校27人 大宮校54人 北大宮校29人 岩槻校38人 福祉専修科27人 音楽専修科29人 ICT専修科17人 【費用】 事業費総額 20,759千円	0	講座内容について「とても満足」「 満足」と回答した参加者の割合が 94%であり、総合振興計画実施計 画に掲げる目標を達成したため。 (目標:94%)
①社会参画の促進	1 高齢者社会参画事業の 充実	セカンドライフ支援事業	高齢福祉課	セカンドライフ支援セン ター (り・とらいふ) の 運営	高齢福祉課	中高年齢層の市民が継続して社会参加することを支援し、その活力の地域社会への 還元促進を目的として、ボランティア、就労、生涯学習等の情報を集約して発信す る「セカンドライフ支援センター(り・とらいふ)」を運営する。	中高年齢層の市民が継続して社会参加することを支援し、その活力の地域社会への 還元促進を目的として、ボランティア、就労、生涯学習等の情報を集約して発信する「セカンドライフ支援センター(り・とらいふ)」を運営した。 ・相談件数 1,932件	0	さいたまいきいき長寿応援プラン 2026に掲げる目標を達成すること ができなかったが、中高年齢層の 市民が継続して社会参加すること を支援したため。 令和6年度相談件数目標:2,100件
①社会参画の促進	2 男女共同参画の推進	男女共同参画関連講座等 の実施	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	男女共同参画関連講座	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催する。 ・主催講座・講演会画数 63回 ・主催講座・講演会講師謝礼 1,823千円	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催した。 ・主催講座・講演会回数 52回 ・主催講座・講演会講師謝礼 1,395千円	0	予定通り講座、講演会を実施した 結果、受講者アンケートでの理解 度平均が98%を超え、男女共同参 画についての意識の向上が見受け られたため。
①社会参画の促進	2 男女共同参画の推進	情報誌等の発行	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	情報誌等の発行	参画課 [男女共同参	の音」 年2回発行。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行	男女共同参画推進センター事業を紹介する、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」を年2回発行した。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行った。男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」と合わせて発行、市の公共施設や地域のイベントでの配布、ホームページに掲載した。 (延べ84,000部、2,145千円)	0	編集員会議を経て、予定通り広報 誌を発行、公共施設等への配布及 びホームページでの公開を実施す ることで、事業等の周知を行うこ とができたため。
①社会参画の促進	5 託児制度の実施	人権講演会における託児	人権政策・男女共同参画課(隣保館)	講演会開催における託児 の実施	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	子育て世代の方も参加できるよう、託児を実施する。	子育て世代の方も参加できるよう、託児を実施した。	0	子育て世代の方も参加できるよう、託児を実施できたため。
①社会参画の促進	4 障害者社会参画事業の 実施	障害者スポーツ教室	障害政策課	障害者スポーツ教室の開 催	障害政策課	スポーツ活動を通じて、障害者の体力増強、交流等を図り、社会参加及び障害者スポーツ振興を促進するため、障害者スポーツ教室を開催予定。	水泳 (27人) 、野球 (10人) 、パスケットボール (13人) 、車いすパスケットボール (2人) 、卓球パレー (12人) 、ボウリング (18人) 、陸上 (9人) 、サッカー (26人) 、一般卓球 (11人) 、ボッチャ (15人) 、パレーボール (4人) 、フライン グディスク (13人) 、といった12 競技のスポーツ教室を開催した。 各教室終了後、参加者アンケートを実施し、次回も参加したい、という方の割合が97%となった。	0	予定通り実施することができたた め。
①社会参画の促進	4 障害者社会参画事業の 実施	誰もが共に暮らすための 市民会議の開催	障害政策課	誰もが共に暮らすための 市民会議の開催		誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例(ノーマライゼーション条例)に基づき、障害者施策について市民が意見交換を行う「誰もが共に暮らすための市民会議」を設置している。 当会議で出た意見については、意見を取りまとめの上、障害者政策委員会に報告を行う。	障害者施策の実施状況や課題等について、市民が相互に意見交換する場として、令和6年6月、12月、令和7年2月の3回にわたり市民会議を開催した。全ての回において、会場開催と書面開催を併催して実施した。開催に当たっては、実施時間や場所を開催回ごとに変える、新たに市民の声モニターの方に参加募集の案内を送るなど様々な方に参加いただけるよう工夫した。今年度は、主に災害時の合理的配慮について意見交換を重ね、障害のある方の災害時の心配事などの課題や必要とされる合理的配慮を把握することができた。 【(参考)話し合いテーマ】 第1回: ・令和5年度障害者総合支援計画の達成状況等について・災害時の合理的配慮について第2回: ・新庁舎の整備について・選難所レイアウトについて第3回: ・避難所レイアウト図について・災害時の合理的配慮について・選難所レイアウト図について・選難所レイアウト図について・次3時の合理的配慮について・次3回:	0	予定通り実施することができたた め。
①社会参画の促進	5 手話通訳者及び要約筆 記者の派遣	手話通訳者及び要約筆記 者派遣事業	障害支援課	手話通訳者及び要約筆記 者の派遣	障害福祉課	記者を派遣し、その福祉の増進を図る。(社会福祉協議会への委託事業) 《実施内容》 ・市が主催する行事に聴覚障害者等も参加できるよう、手話通訳者及び要約筆記者 の派遣を行い、聴覚障害者等の社会参加を促進する。 ・小、中学校等に対しては、聴覚障害者等の実情を理解してもらうため、総合的学 習に手話通訳者の派遣を行い、聴覚障害者の生活及び手話通訳の必要性についての 説明等を行う。 (予算: 88,947千円)	《事業目的》 聴覚、音声又は言語機能障害者の社会参加を促進するため、手話通訳者及び要約筆記者を派遣し、その福祉の増進を図る。(社会福祉協議会への委託事業) 《実施状況》 ・市が主催する行事に聴覚障害者等も参加できるよう、手話通訳者及び要約筆記者 の派遣を行い、聴覚障害者等の社会参加を促進した。 (令和6年度手話通訳者派遣件数 46件、要約筆記者派遣件数 31件) ・小、中学校等に対しては、聴覚障害者等の実情を理解してもらうため、総合的学習に手話通訳者の派遣を行い、聴覚障害者の実情を理解してもらうため、総合的学習に手話通訳者の派遣を行い、聴覚障害者の生活及び手話通訳の必要性についての説明等を行った。(令和6年度手話通訳者派遣件数 2件)71,223千円〔手話通訳者及び要約筆記者派遣事業業務委託料〕	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①社会参画の促進	6 精神障害者の地域移 行・地域定着支援	精神障害者の地域移行・ 地域定着支援事業	障害支援課	精神障害者の地域移行・ 地域定着支援事業	障害福祉課	精神科病院に入院中の精神障害者のうち、地域での受け入れ条件が整えば退院可能な人々に対して支援を行い、自立した地域生活を可能とするために、地域移行・地域定着支援の体制を整備する。 地域自立支援協議会の精神保健福祉部会に加え、医療と福祉を繋ぐ機関連携の柱である、各関係機関の実務担当者から構成される「地域移行・地域定着支援連絡会」において、市内の病院に長期入院している精神障害者の中から重点的に地域移行・地域定着支援を行う対象者を選定し、今後の支援の方向性について検討する。また、長期入院者の現況把握のために、精神科病院への訪問調査を行う。(費用:130千円)	精神科病院に入院中の精神障害者のうち、地域での受け入れ条件が整えば退院可能な人々に対して支援を行い、自立した地域生活を可能とするために、地域移行・地域定着支援の結合を構造した。地域自立支援協議会の精神保健福祉部会に加え、医療と福祉を繋ぐ機関連携の柱である、各関係機関の実務担当者から構成される「地域移行・地域定着支援連絡会」において、市内の病院に長期入院している精神障害者の中から重点的に地域移行・地域定着支援を行う対象者を選定し、今後の支援の方向性について検討した。 第1回精神保健福祉部会・開催日:令和6年7月23日・議題:地域移行・地域定着支援連絡会議及びピアサポート事業について 等第2回精神保健福祉部会・開催日:令和7年1月9日・議題:令和6年度精神障害者訪問支援(アウトリーチ)事業実施報告について 等第1回地域移行・地域定着支援連絡会議・開催日:令和6年6月28日・議題:さいたま市地域自立支援協議会の報告 今年度の取組みついて 等第2回地域移行・地域定着支援連絡会議・開催日:令和6年10月18日・議題:とヤリング調査の報告 等第3回地域移行・地域定着支援連絡会議・開催日:令和7年2月14日・議題:地域移行・地域定着の今後の取組みについて 等(費用:70千円)	Ο	概ね予定どおりに実施することが できたため。
②教育力の向上	1 家庭・地域社会への啓 発活動の推進	公民館事業の充実	公民館	公民館事業の充実		公民館において、生きがい健康づくり教室などの各種講座を実施し、その中で人権 意識の高揚に努める。	生きがい健康づくり教室などの各種講座において人権意識の高揚に努める講座を実施した。	0	講座の実施により一定の効果が得られたと考えられるため。
②教育力の向上	2 親子ふれあいの場や機 会の充実	家庭教育学級	公民館	家庭教育学級	公民館	公民館において、家庭教育学級を実施し、その中で人権意識の高揚に努める。	家庭教育学級を実施し、講座の中で人権意識の高揚に努めた。	0	講座の実施により一定の効果が得られたと考えられるため。
②教育力の向上	3 男女共同参画に関する 意識の啓発	情報誌等の発行	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	情報誌等の発行	参画課 [男女共同参	の音」 年2回発行。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行	男女共同参画推進センター事業を紹介する、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」を年2回発行した。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行った。男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」と合わせて発行、市の公共施設や地域のイベントでの配布、ホームページに掲載した。 (延べ84,000部、2,145千円)	0	編集員会議を経て、予定通り広報 誌を発行、公共施設等への配布及 びホームページでの公開を実施す ることで、事業等の周知を行うこ とができたため。
②教育力の向上	3 男女共同参画に関する 意識の啓発	男女共同参画関連講座等 の実施	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	男女共同参画関連講座	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催する。 ・主催講座・講演会回数 63回 ・主催講座・講演会講師謝礼 1,823千円	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催した。 ・主催講座・講演会画数 52回 ・主催講座・講演会講師謝礼 1,395千円	0	予定通り講座、講演会を実施した 結果、受講者アンケートでの理解 度平均が98%を超え、男女共同参 画についての意識の向上が見受け られたため。
②教育力の向上	4 学習資料・教材の研 究・開発	学習資料・教材の作成	人権教育推進室	指導内容、方法の工夫改善	人権教育推進室	行い、各学校での利活用を促す。		0	予定数の作成・配布を行い、啓発 の成果を得られたため。
②教育力の向上	4 学習資料・教材の研 究・開発	人権啓発冊子の作成	人権政策・男女共同参画課	人権啓発冊子の作成	人権政策・男女共同 参画課	市民、事業者、職員等に対する人権啓発や人権課題に関する知識の習得に資するための冊子を作成する。 ・人権ポケットブック(2,200部) ・人権啓発冊子「私たちの人権」(2,500部)	市民、事業者、職員等に対する人権啓発や人権課題に関する知識の習得に資するための冊子を作成する。 ・人権ポケットブック(2,200部) ・人権啓発冊子「私たちの人権」(2,700部)	0	予定数以上の作成・配布を行い、 啓発の効果を得られたため。
③指導者の育成	1 地域リーダー養成の推 進(育成と支援)	人権擁護委員協議会への 支援	人権政策・男女共同参画課	人権擁護委員協議会への 支援		法務局や人権擁護委員との連携を密に取り合いながら、人権相談や人権啓発などの様々な人権擁護活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織運営が円滑に行えるよう協議会や部会に対する助成を行う。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権啓発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	法務局や人権擁護委員との連携を密に取り合いながら、人権相談や人権啓発などの様々な人権擁護活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織運営が円滑に行えるよう協議会や部会に対する助成を行った。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権啓発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	0	人権擁護活動に人的な援助を行うとともに組織運営に対する助成を 行うことで、人権相談及び人権啓 発が円滑に行われたため。
	1 各種ボランティア団体 等への協力・支援	自主的団体への支援	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	自主的運動団体への助成			部落差別解消を目指す活動をしている民間運動団体が行う啓発事業・調査研究等の 内で、行政の啓発活動に効果的であると認められたものに対して支援を行った。	0	民間運動団体が行う各種活動に支 援を行ったことで、行政の啓発活 動にも効果が認められたため。
	1 各種ボランティア団体 等への協力・支援	自主的団体への支援	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	人権擁護活動への支援		様々な人権擁護活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織	法務局や人権擁護委員との連携を密に取り合いながら、人権相談や人権啓発などの様々な人権擁護活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織運営が円滑に行えるよう協議会や部会に対する助成を行った。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権啓発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	0	人権擁護活動に人的な援助を行う とともに組織運営に対する助成を 行うことで、人権相談及び人権啓 発が円滑に行われたため。
④自主的活動への 支援	2 自主的グループ育成へ の支援の促進	子育て支援センター事業	子育で支援政策課・保育課	自主的グループ育成への 支援の促進	保育課 保育施設支援課	る。子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導や、子育て家庭の交流の場を設置、子育て支援に関する講習等、地域の子育て家庭に対する育児支援を実施する予定。 また、地域の子育てサークルの活動に対して、出張講師事業や、備品の貸し出しを	公立保育所併設2か所、民間保育所併設54か所で子育て支援センター事業を実施し、 子育で家庭に対する育児不安等についての相談指導や、子育で家庭の交流の場を設 置、子育で支援に関する講習等を実施し、地域の子育で家庭に対する育児支援に努 めた。 また、地域の子育でサークルの活動に対して、出張講師事業や、備品の貸し出しを 行うなど、地域の子育で活動者等との連携や、活動者等を支援することにより、地 域の子育で力を高める取り組みを行った。 (費用(見込) 270,417千円)	0	計画通りに事業を実施したため。

施策の方	向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
④自主的活動 支援	動への	3 学習資料・教材の提供	啓発冊子の提供	人権政策・男女共同参画課	学習資料・教材の提供			各種サークルやグループ等で人権問題研修を行う場合の支援として、啓発効果を高 めるために、人権啓発冊子「私たちの人権」の提供を行った。	0	人権啓発冊子の提供により、人権 問題に関する研修の啓発効果が高 まったため。
④自主的活動 支援	動への	4 団体・交流支援事業の 充実	男女共同参画推進市民企 画講座の実施	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	男女共同参画推進市民企 画講座の実施	参画課 [男女共同参	中氏の活動及の父流の文振事業として、様々な分野で活動している団体に、講座の 本語・実際は4288年で探察されば、1950年に、1950年によるではよって、1950年には1950年によって、1950年によってはよってはよってはよって、1950年によってはよっによってはよってはよった。1950年によった。1950年によった。1950年によったり	市民の活動及び交流の支援事業として、様々な分野で活動している団体に、講座の企画・運営を経験する機会を提供し、男女共同参画のまちづくりを推進することを目的とした、男女共同参画推進市民企画講座を実施する。 ・協働した団体数:2団体		市民活動団体等の持つ知識や経験を活かした講座等を実施することができたため。
④自主的活動 支援	動への	4 団体・交流支援事業の 行実	さいたま市男女共同参画 推進センター公募型共催 事業の実施	入権以来・ガメ共同参画は(ガメ共同参	さいたま市男女共同参画 推進センター公募型共催 事業の実施	参画課 [男女共同参	男女共同参画推進センダーと団体が励制で争乗を表施することで、地域における多 ばか理顆紀油につかげることを日めとして、さいたま市甲が共同会画推進れてター	男女共同参画推進センターと団体が協働で事業を実施することで、地域における多様な課題解決につなげることを目的として、さいたま市男女共同参画推進センター公募型共催事業を実施した。 ・協働した団体数:5団体	0	団体と協働で事業を実施すること により、多様な事業の実施を行う ことができたため。
④自主的活動 支援		5 市民・人権団体の交流・ ネットワークづくり	隣保館・集会所事業	人権政策・男女共同参画課、人権教育推 進室	集会所講座	人権教育推進室		成人講座、子ども講座等の主催事業を開催し、地域住民の交流を促進するとともに 住民の人権意識の高揚に努めた。 五反田会館 ・20事業 194回 3,371人 費用 854千円 鹿室南集会所 ・22事業 72回 867人 費用 561千円	0	主催事業の実施により、一定の効果が得られたため。

(施策の分類 4) 企業における人権教育、人権啓発
企業は、営業活動を通して、地域や市民と深い関わりがあり、市民生活に大きな影響を持っています。企業活動を展開するうえで社会との関わりも深く、基本的人権が尊重される豊かな社会づくりに貢献するという社会的責任を負っています。
すべての人々の就職機会の均等を確保するための公正な採用選考はもとより、企業内における基本的人権の尊重をはじめ、男女共同参画社会の実現、少子高齢化社会への対応、地球環境の保全等、その果たすべき役割はますます大きくなっています。また、様々な人権問題についての社内研修を計画的に実施して、それぞれの職場で社員・従業員一人ひとりの人権が尊重され、明るく働きやすい職場を実現することも求められています。
その実現のためには、公共職業安定所や埼玉労働局などと連携し「労働基準法」「男女雇用機会均等法」「高齢者雇用促進法」「障害者雇用促進法」などの法制度の周知に努めるとともに、公正採用選考人権啓発推進員を設置している企業はもとより、金融、保険業など多くの企業に参加を呼びかけ、定期的な研修を実施していく必要があります。
また、企業自らが社内の人権意識の高揚を図る企業内研修を積極的に推進できるよう、講師の派遣・紹介や研修費用の一部補助等の支援施策を実施するとともに、より効果的な研修となるように啓発冊子や資料、情報の提供も行っていく必要があります。そのため、企業研修会の推進、企業内啓発活動への支援、事業主に対する職場環境整備等の働きかけの方向から各種事業を実施しました。

		実施計画掲載内容				令和6年			
施策の方向	具体的施策	事業名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①企業研修会の推 進	1 人権問題の解決に向けだ 研修	- 企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同参画課	市内企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同 参画課	大宮・浦和公共職業安定所及びさいたま商工会議所の後援で、市内企業等を対象に 人権問題研修会を実施し、各種人権問題が企業自らの課題として定着し、職場や地 域社会の中で差別をなくすよう啓発を行う。 ・オンライン開催(令和6年8月1日~31日 講演動画配信等)	大宮・浦和公共職業安定所及びさいたま商工会議所の後援で、市内企業等を対象に 人権問題研修会を実施し、各種人権問題が企業自らの課題として定着し、職場や地 域社会の中で差別をなくすよう啓発を行った。 ・オンライン開催(令和6年8月1日~31日 講演動画配信等) ・講演動画視聴数457件、HP閲覧数1,459件 ・参加者の人権問題への理解度99.0%	0	市内企業等人権問題研修会を開催し、参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したため。
①企業研修会の推 進	1 人権問題の解決に向け <i>t</i> 研修	- 働く人の支援講座	労働政策課	働く人の支援講座の開催	労働政策課	勤労者の福祉の向上と健全な労使関係の確立を図るため、労働に関する法制度や社会情勢を踏まえた時事的な問題を扱う「働く人の支援講座」(勤労者向けコース2講座、労務担当者・管理者・経営者等向けコース2講座)を開催する。	動労者の福祉の向上と健全な労使関係の確立を図るため、労働に関する法制度や社会情勢を踏まえた時事的な問題を扱う「働く人の支援講座」を開催した。・勤労者向けコース 2 講座を開催 (11月~12月)テーマ① イザという時のための労働法~セーフティネットを確認しよう~テーマ② 選択肢と可能性を拡げるために~ワークライフバランス実現のための法制度~・労務担当者・管理者・経営者等向けコース 2 講座を開催 (12月)テーマ① リーダーの必須知識!労使トラブルを防止する就業規則・雇用契約書~おさえておきたい労働基準法~ デーマ② 令和の時代の人財定着戦略!男性も女性も育児や介護がしやすい職場環境づくりをめざして~人財定着と育児・介護休業法~ 受講者数:32人 アンケート結果:受講者満足度96.8%	0	周知に努めたものの定員に満たない中での開催となったが、受講者満足度が高い評価であったため。
①企業研修会の推 進 (2 公正採用選考に向けた研 後	T 公正採用選考人権啓発推 進員研修会	人権政策・男女共同参画課	企業トップクラス&公正 採用選考人権啓発推進員 研修会		公共職業安定所が開催する、公正な採用選考システムの確立を図るための研修について、依頼に基づき名義後援を行う。	公共職業安定所が開催する、公正な採用選考システムの確立を図るための研修について、依頼に基づき名義後援を行った。	0	予定どおり名義後援を行ったため。
②企業内啓発活動 への支援	1 企業内研修活動への支 _爰	企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同参画課	市内企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同 参画課	大宮・浦和公共職業安定所及びさいたま商工会議所の後援で、市内企業等を対象に 人権問題研修会を実施し、各種人権問題が企業自らの課題として定着し、職場や地 域社会の中で差別をなくすよう啓発を行う。 ・オンライン開催(令和6年8月1日~31日 講演動画配信等)	大宮・浦和公共職業安定所及びさいたま商工会議所の後援で、市内企業等を対象に 人権問題研修会を実施し、各種人権問題が企業自らの課題として定着し、職場や地 域社会の中で差別をなくすよう啓発を行った。 ・オンライン開催(令和6年8月1日~31日 講演動画配信等) ・講演動画視聴数457件、HP閲覧数1,459件 ・参加者の人権問題への理解度99.0%	©	市内企業等人権問題研修会を開催し、参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したため。
	2 企業内研修会への啓発 資料・情報等の支援	研修教材・啓発用品支援 事業	人権政策・男女共同参画課	啓発ビデオ等の収集・貸 出し 企業内研修講師・資料等 の支援	人権教育推進室 人権政策・男女共同 参画課	【人権教育推進室】 各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を 行い、各学校での利活用を促す。 また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料として、今年度は 個別的な人権課題である「同和問題」と「子どもの人権」を扱った学習指導案と人 権教育研究指定校の実践例を盛り込んだ「ほほえみ~新人権教育実践事例集~第5 集」を発行する。 【人権政策・男女共同参画課】 市内の企業が自主的に開催する企業内人権問題研修等の支援として、講師の紹介・ 派遣に努めたほか、同和問題啓発冊子・人権啓発パンフレット等の提供に努める。	【人権教育推進室】 各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を行い、各学校での利活用を促した。また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料「ほほえみ〜新人権教育実践事例集〜第7集」を発行し、個別的な人権課題である「外国人の人権」と「性的マイノリティに関する人権」を扱った学習指導案と人権教育研究指定校の実践例を掲載した。 【人権政策・男女共同参画課】 市内の企業が自主的に開催する企業内人権問題研修等の支援として、講師の紹介・派遣に努めたほか、同和問題啓発冊子・人権啓発パンフレット等の提供に努めた。(令和6年度は2件の講師派遣を行った)	0	資料について予定数の作成・配布 を行うなど、研修・啓発の支援を 実施できたため。
	2 企業内研修会への啓発 資料・情報等の支援	研修教材・人権教育・啓 発ビデオ/DVD等貸出 し		啓発ビデオ等の収集・貸 出し 企業内研修講師・資料等 の支援	人権教育推進室 人権政策・男女共同 参画課	【人権教育推進室】 各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を 行い、各学校での利活用を促す。 また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料として、今年度は 個別的な人権課題である「同和問題」と「子どもの人権」を扱った学習指導案と人 権教育研究指定校の実践例を盛り込んだ「ほほえみ~新人権教育実践事例集~第5 集」を発行する。 【人権政策・男女共同参画課】 市内の企業が自主的に開催する企業内人権問題研修等の支援として、講師の紹介・ 派遣に努めたほか、同和問題啓発冊子・人権啓発パンフレット等の提供に努める。	【人権教育推進室】 各種研修会において、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を用いて、研修を行い、各学校での利活用を促した。また、「第3版人権教育指導プラン〈教師用〉」を補完する資料「ほほえみ~新人権教育実践事例集~第7集」を発行し、個別的な人権課題である「外国人の人権」と「性的マイノリティに関する人権」を扱った学習指導案と人権教育研究指定校の実践例を掲載した。 【人権政策・男女共同参画課】 市内の企業が自主的に開催する企業内人権問題研修等の支援として、講師の紹介・派遣に努めたほか、同和問題啓発冊子・人権啓発パンフレット等の提供に努めた。(令和6年度は2件の講師派遣を行った)	0	資料について予定数の作成・配布 を行うなど、研修・啓発の支援を 実施できたため。
②企業内啓発活動 への支援	3 企業内研修講師の派遣	企業内研修講師派遣事業	人権政策・男女共同参画課	企業内研修会への講師派遣		企業内で行われる人権問題の研修に対して講師を派遣し、企業内部での人権問題の 啓発に努める。	企業内で行われる人権問題の研修に対して講師を派遣し、企業内部での人権問題の 啓発に努めた。 ・令和6年度の講師派遣 2件	0	企業内で行われる人権問題の研修 に対して講師を派遣し、効果が得 られたため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	1 障害者・高齢者等の雇 用の促進	障害者・高齢者の雇用促進	労働政策課・高齢福祉課・障害者総合支 援センター	高齢者・障害者等の雇用の促進	労働政策課	障害者や高年齢者の雇用促進にかかる制度等について、市ホームページで周知を行う。	障害者の法定雇用率や高年齢者雇用安定法について市ホームページに掲載するなど、周知に取り組んだ。 関連機関から送付されたリーフレットを窓口に設置するなど、啓発に取り組んだ。	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	1 障害者・高齢者等の雇 用の促進	県央障害者就職面接会	障害支援課・障害者総合支援センター	県央障害者就職面接会	障害備征課 労働政策課 障害者総合支援セン ター	ソニックシティで開催する予定である。 (実施内容) 障害のある方々の職業的自立意欲を喚起し、事業主の理解と関心を深めるために実 施しており、さいたま市も名義後援をしている。 例年、埼玉労働局からの依頼により、当日の面接会には職員を派遣しているが、新	(実施状況) さいたま市域を管轄する、大宮・浦和のハローワーク(公共職業安定所)、大宮地 区雇用対策協会、浦和与野雇用対策協会、埼玉労働局、埼玉県の共催により、10月 24日に大宮ソニックシティで開催。 (内容・費用) さいたま市も名義後援をし、障害のある方々の職業的自立意欲を喚起し、事業主の 理解と関心を深めるために実施された。 新型コロナウイルス感染症の影響で縮小開催となったため、昨年度同様、職員の派 遣は行わなかった。	0	事業は予定通り開催され、障害の ある方々の雇用創出につながった ため。

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	1 障害者・高齢者等の雇 用の促進	高齢者等の雇用の促進	高齢福祉課	シルバー人材センターの支援	高齢福祉課	高齢者の就業の促進と高齢者福祉の向上を図るとともに、高齢者の能力を活かした 地域社会をつくるため、臨時的かつ短期的な就業の機会を提供するシルバー人材セ ンターを支援する。	臨時的かつ短期的な就業の機会を提供するシルバー人材センターを支援することで、高齢者の就業の促進と高齢者福祉の向上を図るとともに、高齢者の能力を活かした地域社会づくりに努めた。 ・補助金 161,654千円 ・会員登録数 4,734人	0	シルバー人材センター中期計画目標を概ね達成したため。(目標会員数:4,850人)
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	2 男女共同参画の促進	男女雇用機会均等法の周 知徹底	労働政策課	男女雇用機会均等法の周 知徹底	労働政策課	これから社会に出る人や勤労者が最低限身に付けておくべき法令や制度の基礎知識等を掲載したガイドブック「働く人の支援ガイド」を作成する。・作成部数 7,000部・主な配布先 市内公立高校3年生、各区役所、各公民館等市ホームページへの掲載や、関連機関から送付された女性対象の就職支援セミナー等に関するリーフレットを窓口に設置するなど、就業の場における男女共同参画の普及・啓発に努める。	動労者等が最低限身に付けておくべき法令や制度の基礎知識等を掲載したガイドブック「働く人の支援ガイド」を作成し、性別による差別の禁止、女性社員の活躍推進、職場のハラスメント防止、育児・介護休業制度、働き方改革等についても掲載した。 ・作成部数 7,000部 ・主な配布先 市内公立高校3年生、各区役所、各公民館等 国(埼玉労働局)との協働により、「仕事と家庭の両立及びハラスメント対策等の職場環境改善」をテーマに企業向けセミナーを開催した。 市ホームページへの掲載や、関連機関から送付された女性対象の就職支援セミナー等に関するリーフレットを窓口に設置するなど、就業の場における男女共同参画の普及・啓発に取り組んだ。	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	2 男女共同参画の促進	セクシュアルハラスメン ト防止の啓発	労働政策課	セクシュアルハラスメン ト防止の啓発	労働政策課	これから社会に出る人や勤労者が最低限身に付けておくべき法令や制度の基礎知識等を掲載したガイドブック「働く人の支援ガイド」を作成する。 ・作成部数 7,000部 ・主な配布先 市内公立高校3年生、各区役所、各公民館等 市ホームページへの掲載や、関連機関から送付されたリーフレットを窓口に設置するなど、ハラスメント防止の啓発に努める。	勤労者等が最低限身に付けておくべき法令や制度の基礎知識等を掲載したガイドブック「働く人の支援ガイド」を作成し、性別による差別の禁止、女性社員の活躍推進、職場のハラスメント防止、育児・介護休業制度、働き方改革等についても掲載した。・作成部数 7,000部・主な配布先 市内公立高校3年生、各区役所、各公民館等国(埼玉労働局)との協働により、「仕事と家庭の両立及びハラスメント対策等の職場環境改善」をテーマに企業向けセミナーを開催した。市ホームページへの掲載や、関連機関から送付されたリーフレットを窓口に設置するなど、ハラスメント防止の啓発に取り組んだ。	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	2 男女共同参画の促進	出前講座の実施 (ワーク・ライフ・バランス)	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)・労働政策課	出前講座の実施 (ワーク・ライフ・バランス)	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画の促進の観点から、ワーク・ライフ・バランスの推進に関する出前講座を実施する。 ・実施回数 1回 ・講師謝礼 20千円	ワーク・ワイフ・バランスの推進に関する出前講座の依頼がなかったため、実施しなかった。	×	依頼がなく、未実施のため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	2 男女共同参画の促進	働く人の支援講座	労働政策課	働く人の支援講座の開催	労働政策課	勤労者の福祉の向上と健全な労使関係の確立を図るため、労働に関する法制度や社会情勢を踏まえた時事的な問題を扱う「働く人の支援講座」(勤労者向けコース 2講座、労務担当者・管理者・経営者等向けコース 2講座)を開催する。	勤労者の福祉の向上と健全な労使関係の確立を図るため、労働に関する法制度や社会情勢を踏まえた時事的な問題を扱う「働く人の支援講座」を開催した。 ・勤労者向けコース 2 講座を開催 (11月~12月) テーマ① イザという時のための労働法~セーフティネットを確認しよう~ テーマ② 選択肢と可能性を拡げるために~ワークライフバランス実現のための 法制度~ ・労務担当者・管理者・経営者等向けコース 2 講座を開催 (12月) テーマ① リーダーの必須知識!労使トラブルを防止する就業規則・雇用契約書 ~おさえておきたい労働基準法~ そこマ② 令和の時任を人財定着戦略!男性も女性も育児や介護がしやすい職場 環境づくりをめざして~人財定着と育児・介護休業法~ 受講者数:32人 アンケート結果:受講者満足度96.8%	0	周知に努めたものの定員に満たな い中での開催となったが、受講者 満足度が高い評価であったため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	2 男女共同参画の促進	育児休業等の諸制度の普 及・啓発	労働政策課	男女共同参画の促進	労働政策課	これから社会に出る人や勤労者が最低限身に付けておくべき法令や制度の基礎知識等を掲載したガイドブック「働く人の支援ガイド」を作成する。 ・作成部数 7,000部 ・主な配布先 市内公立高校3年生、各区役所、各公民館等 市ホームページへの掲載や、関連機関から送付されたリーフレットを窓口に設置するなど、育児休業等の諸制度の普及・啓発に努める。	勤労者等が最低限身に付けておくべき法令や制度の基礎知識等を掲載したガイドブック「働く人の支援ガイド」を作成し、性別による差別の禁止、女性社員の活躍推進、職場のハラスメント防止、育児・介護休業制度、働き方改革等についても掲載した。 ・作成部数 7,000部 ・主な配布先 市内公立高校3年生、各区役所、各公民館等 国(埼玉労働局)との協働により、「仕事と家庭の両立及びハラスメント対策等の職場環境改善」をテーマに企業向けセミナーを開催した。 育児・介護休業法の改正が場合で、働く人の支援講座や市ホームページへの掲載などにより、周知に取り組んだ。 市ホームページへの掲載や、関連機関から送付されたリーフレットを窓口に設置するなど、育児休業等の諸制度の普及・啓発に取り組んだ。	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	2 男女共同参画の促進	男女共同参画推進事業者表彰	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	男女共同参画推進事業者 表彰	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	第4次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランに基づき、さいたま市における 男女共同参画の推進に積極的な事業者を表彰し、その取組を広く周知する。	過去の応募状況を踏まえて、令和6年度は事業者表彰を実施しなかったが、令和5年度に引き続き、「さいたま市内企業等男女共同参画研修」を実施し、「女性のライフキャリア」をテーマとし、企業等への男女共同参画に関する意識の啓発とした。また、男女共同参画情報誌でこれまでに表彰した企業を取り上げて紹介した。	0	企業等への直接的な働きかけとなる事業を実施したため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	3 人権問題解決の啓発	啓発物品・冊子等の配布	人権政策・男女共同参画課	啓発用品作成、配布事業	人権政策・男女共同 参画課	人権啓発品を作製し、市内公共施設等で配布し、啓発に努める。 ・人権相談ダイヤル入りクリアフォルダ (3,000部)	人権啓発品を作製し、市内公共施設等で配布し、啓発に努めた。 ・人権相談ダイヤル等入りボールペン (3,000本 費用 295千円)	0	予定数の作製・配布を行い、啓発 の効果を得られたため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	3 人権問題解決の啓発	働く人の支援講座	労働政策課	働く人の支援講座の開催	労働政策課	勤労者の福祉の向上と健全な労使関係の確立を図るため、労働に関する法制度や社会情勢を踏まえた時事的な問題を扱う「働く人の支援講座」(勤労者向けコース2講座、労務担当者・管理者・経営者等向けコース2講座)を開催する。	動労者の福祉の向上と健全な労使関係の確立を図るため、労働に関する法制度や社会情勢を踏まえた時事的な問題を扱う「働く人の支援講座」を開催した。 ・勤労者向けコース 2 講座を開催(11月 - 12月) テーマ① イザという時のための労働法~セーフティネットを確認しよう~ テーマ② 選択肢と可能性を拡げるために~ワークライフバランス実現のための 法制度~ ・労務担当者・管理者・経営者等向けコース 2 講座を開催(12月) テーマ① リーダーの必須知識!労使トラブルを防止する就業規則・雇用契約書 ~おさえておきたい労働基準法~ テーマ② 令和の時代の人財定着戦略!男性も女性も育児や介護がしやすい職場 環境づくりをめざして~人財定着と育児・介護休業法~ 受講者数:32人 アンケート結果:受講者満足度96.8%	0	周知に努めたものの定員に満たない中での開催となったが、受講者 満足度が高い評価であったため。
③事業主に対する 職場環境整備等の 働きかけ	4 障害者差別及び虐待に 対する取組	ノーマライゼーション条 例及びその理念の普及啓 発		ノーマライゼーション条 例の周知・啓発	障害政策課	障害を理由とする差別の解消や虐待の禁止に関するパンフレットを作成し、関係機 関やイベント等での配布を予定している。	障害のある方に対する差別や虐待に関するパンフレットを、事業所や各種イベントの参加者に対して13,608部配布し、障害者に対する差別の解消や虐待の防止について、周知啓発を図った。	0	予定通り実施することができたた め。

		実施計画掲載内容		令和6年度実施							
施策の方向	具 体 的 施 策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由		
①職員に対する研 修の充実	1 各種人権問題に関する 研修の実施	新規採用研修	人材育成課・人権政策・男女共同参画課	各種人権問題に対する研 修の充実	人材育放課 人権政策・男女共同 参画課	職員として、人権問題についての正しい知識を習得し、理解することによって、人権問題の早期解決に寄与するために次の研修を実施する。 ・新規採用研修(4月(前期課程)、10月(前期課程)) 新規採用職員を対象に実施した研修カリキュラムの中で、「人権問題」についての研修を自己学習で実施し、人権の意味を理解し、様々な人権侵害に対する正しい認識と問題解決の考え方を学ぶことにより、人権意識の高揚を図る。	職員として、人権問題についての正しい知識を習得し、理解することによって、人権問題の早期解決に寄与するために次の研修を実施した。 ・新規採用研修(4月(前期課程)、10月(前期課程)) 新規採用職員を対象に実施した研修カリキュラムの中で、「人権問題」についての研修を、4月は集合研修で、10月は自己学習で実施し、人権の意味を理解し、様々な人権侵害に対する正しい認識と問題解決の考え方を学ぶことにより、人権意識の高揚を図った。 修了者 353名(4月・325名、10月・28名)	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。		
①職員に対する研 修の充実	1 各種人権問題に関する 研修の実施	人権問題研修	人材育成課・人権政策・男女共同参画課	各種人権問題に対する研 修の充実	人権政策・男女共同 参画課	各課(所)の所属長から推薦された職員を対象に、「様々な人権問題について」をテーマに自己学習を実施し、様々な人権問題に対する心構えや、今後の対策を学ぶことにより、人権意識の向上を図る。また、人権問題についての正しい知識を習得し、理解することによって、人権問題の早期解決に寄与する。 受講者(想定) 475名	各課 (所) の所属長から推薦された職員を主な対象に、「様々な人権問題について」をテーマに自己学習を実施し、様々な人権問題に対する心構えや、今後の対策を学ぶことにより、人権意識の向上を図った。また、人権問題についての正しい知識の習得、理解を促すことによって、人権問題の早期解決に寄与した。 受講者 775名 費用 0千円	©	受講者数が、想定していた庁内課 (所)数を大幅に超えるととも に、受講後アンケートで人権問題 への理解度が99.6%となり、職員 に対して大きな人権啓発効果が あったため。		
①職員に対する研 修の充実	1 各種人権問題に関する 研修の実施	手話研修	人材育成課・障害支援課(現:障害福祉 課)	聴覚障害の理解と手話技 術の習得	阵音 以	・手話研修 名局等において選出された職員を対象に、市聴覚障害者協会及び市手話通訳問題研究会の講師による実技研修・講演会を通して、手話を学習するとともに、聴覚障害者への理解と人権意識の向上を図る。全4回(実技指導3回・講演会1回)を予定。その他、実技指導と実技指導の間の期間は、DVDの配付による自己学習を実施する予定。	各局等において選出された職員を対象に、市聴覚障害者協会及び市手話通訳問題研究会の講師による講義・講演会を通して、手話を学習するとともに、聴覚障害者への理解と人権意識の向上を図った。実技研修3回・特別講演1回を実施。実技指導分については、DVDによる自己学習もできるようにした。 (手話研修受講者:46人、特別講演受講者:63人)	0	予定通り実施することができたた め。		
①職員に対する研 修の充実	2 職種別に必要な研修の 充実	福祉事務所職員等研修	福祉総務課	職種別に必要な研修の充 実	福祉総務課	・福祉事務所職員等研修 経験の浅い福祉事務所の職員等を対象に、福祉業務を行うための基礎知識や相談援助、ケースカンファレンスなどの初任者向けの研修を実施する。 ① 福祉業務基礎研修 【実施期間】令和6年4月 ② 社会福祉関係機関について 【実施期間】令和6年5月 ③ ソーシャルワーク (相談援助) について 【実施期間】令和6年8月 (費用[報償費] 240千円)	・福祉事務所職員等研修 経験の浅い福祉事務所の職員等を対象に、福祉業務を行うための基礎知識や相談援助、ケースカンファレンスなどの初任者向けの研修を実施した。 ① 福祉業務基礎研修 ② 社会福祉関係機関について ③ ソーシャルワーク (相談援助) について 【実施方法】動画配信システムによるオンライン研修 【受講期間】令和7年1月6日 (月) ~令和7年3月14日 (金) 【受講者数】80名 (費用[報償費] 60千円)	0	研修後のアンケート結果から、研 修を通じ福祉行政に携わる職員の 能力向上を図ることができたと考 えられるため。		
①職員に対する研 修の充実	2 職種別に必要な研修の 充実	生活保護等ケースワーカー研修	生活福祉課(区・福祉課)	職種別に必要な研修の充 実	生活福祉課	生活保護の相談に訪れる方への対応や生活保護受給者に対して指導援助を行なうに当たり、生活保護法の基礎知識の習得に併せ、生活保護受給者等への態度、接し方等について研修を実施する。また、生活困窮者からの相談への対応に当たり、生活困窮者自立支援法の基礎知識の習得に併せ、相談者への態度、接し方等について研修を実施する。・新任現業員研修会(前期)・医療・介護事務担当者研修会・生活困窮者相談支援員研修(福祉まるごと相談支援員等研修会)・新任現業員研修会(後期)いずれの研修会も費用の発生なし。	生活保護の相談に訪れる方への対応や生活保護受給者に対して指導援助を行なうに当たり、生活保護法の基礎知識の習得に併せ、生活保護受給者等への態度、接し方等について研修を実施した。また、生活困窮者からの相談への対応に当たり、生活困窮者自立支援法の基礎知識の習得に併せ、相談者への態度、接し方等について研修を実施した。 ・新任現業員研修会(前期:参加者61名) ・福祉まるごと相談支援員等研修会(参加者23名) ・新任現業員研修会(後期:参加者47名) いずれの研修会も費用の発生なし。	0	新任現業員、医療介護事務担当 者、生活困窮者相談支援員に対し 研修を実施し、一定の効果が得ら れたと考えられるため。		
	2 職種別に必要な研修の充実	生活保護査察指導員研修	生活福祉課(区・福祉課)	職種別に必要な研修の充 実		生活保護の相談に訪れる方への対応や生活保護受給者に対して指導援助を行なうに 当たり、生活保護法の基礎知識の習得に併せ、生活保護受給者等への態度、接し方 等について研修を実施する。 また、生活困窮者からの相談への対応に当たり、生活困窮者自立支援法の基礎知識 の習得に併せ、相談者への態度、接し方等について研修を実施する。 ・新任査察指導員研修会 研修会の費用の発生なし。	生活保護の相談に訪れる方への対応や生活保護受給者に対して指導援助を行なうに 当たり、生活保護法の基礎知識の習得に併せ、生活保護受給者等への態度、接し方 等について研修を実施した。 また、生活困窮者からの相談への対応に当たり、生活困窮者自立支援法の基礎知識 の習得に併せ、相談者への態度、接し方等について研修を実施した。 ・新任査察指導員研修会(参加者8名) 研修会の費用の発生なし。	0	新任査察指導員7名に対し研修を 実施し、一定の効果が得られたと 考えられるため。		
①職員に対する研修の充実	2 職種別に必要な研修の充実	生活困窮者相談支援員研修	生活福祉課	職種別に必要な研修の充実	生活福祉課	生活困窮者等からの相談への対応に当たり、生活困窮者自立支援法の基礎知識の習得に併せ、相談者への態度、接し方等について研修を実施する。 ・生活困窮者相談支援員研修(福祉まるごと相談支援員等研修会) 研修会の費用の発生なし。	生活困窮者等からの相談への対応に当たり、生活困窮者自立支援法の基礎知識の習得に併せ、相談者への態度、接し方等について研修を実施した。 ・福祉まるごと相談支援員等研修会(参加者23名) 研修会の費用の発生なし。	0	福祉まるごと相談支援員及び生活 保護担当職員に対し研修を実施 し、一定の効果は得られたと考え られるため。		
①職員に対する研 修の充実	3 男女共同参画に関する 意識の啓発	男女共同参画職員研修	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	男女共同参画職員研修	参画課 [男女共同参	男女共同参画のまちづくりに向けた課題に対する理解と認識を一層深めることを目的として、全庁の各所属の職員を対象とした職員研修を実施する。 (パワーポイント資料等による講義)	男女共同参画のまちづくりに向けた課題に対する理解と認識を一層深めることを目的として、全庁の各所属の職員を対象とした職員研修を実施した。(動画形式による講義)・受講者:418名・「男女共同参画についての理解度」100%	0	予定通り実施し、男女共同参画についての理解を深めることができたと考えるため。		
①職員に対する研 修の充実	3 男女共同参画に関する 意識の啓発	男女共同参画職員ハンド ブックによる啓発	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	男女共同参画職員ハンド ブックによる啓発	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画社会の実現に向け、市職員が正しい理解のもと業務に取り組むことができるよう、市職員向けの「男女共同参画職員ハンドブック」を作成する。 新規採用職員に配布するとともに、全職員が常時閲覧できるよう、職員用情報システムにハンドブックのデータを保存し、全庁掲示板により周知を行う。	男女共同参画社会の実現に向け、市職員が正しい理解のもと業務に取り組むことができるよう、市職員向けの「男女共同参画職員ハンドブック」を作成した。 新規採用職員向けの研修に使用するとともに、全職員が常時閲覧できるよう、職員 用情報システムにハンドブックのデータを保存し、全庁掲示板により周知を行った。	0	予定通り実施し、職員への男女共 同参画に関する基礎知識の啓発と することができたと考えるため。		
②職員派遣研修の 充実	1 各種研修会・講演会等への職員の参加	人権啓発講演会	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	人権啓発講演会	人権政策・男女共同 参画課 人権教育推進室	市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行う。 ・オンライン開催(令和6年12月~令和7年1月ごろ 講演動画配信等)	市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行った。・オンライン開催(令和6年12月4日~令和7年1月7日 講演動画配信等)・講演動画視聴数476件、HP閲覧数1,136件・参加者の人権問題への理解度97.3%	©	人権啓発講演会を開催し、総合振 興計画実施計画に掲げる目標であ る参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したた め。		

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
②職員派遣研修の 充実	1 各種研修会・講演会等 への職員の参加	企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同参画課	市内企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同	大宮・浦和公共職業安定所及びさいたま商工会議所の後援で、市内企業等を対象に	大宮・浦和公共職業安定所及びさいたま商工会議所の後援で、市内企業等を対象に 人権問題研修会を実施し、各種人権問題が企業自らの課題として定着し、職場や地 域社会の中で差別をなくすよう啓発を行った。 ・オンライン開催(令和6年8月1日~31日 講演動画配信等) ・講演動画視聴数457件、HP閲覧数1,459件 ・参加者の人権問題への理解度99.0%	<u></u>	市内企業等人権問題研修会を開催し、参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したため。
②職員派遣研修の 充実	1 各種研修会・講演会等への職員の参加	関係団体等による研修会	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	各種研修会・講演会等へ の職員の参加	参画課	的な実践で適切な対応ができるよう、資質向上を目指して各種研修会や研究集会に	様々な人権教育・啓発推進に携わる関係職員が、確かな人権感覚を身に付け、具体的な実践で適切な対応ができるよう、資質向上を目指して各種研修会や研究集会に関係職員を派遣し、人材の育成に努めた。		各種研修会や研究集会への参加を 通して、資質の向上、人材の育成 に努めることができた。
③所管課職員の育 成	1 各種研究集会・指導者 養成講座等への派遣	人権教育・啓発リーダー 研修	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	各種研究集会・指導者養 成講座等への職員の派遣	参画課	的な実践で適切な対応ができるよう、資質向上を目指して各種研修会や研究集会に	様々な人権教育・啓発推進に携わる関係職員が、確かな人権感覚を身に付け、具体的な実践で適切な対応ができるよう、資質向上を目指して各種研修会や研究集会に関係職員を派遣し、人材の育成に努めた。		各種研修会や研究集会への参加を 通して、資質の向上、人材の育成 に努めることができた。
③所管課職員の育 成	2 専門分野毎の指導者と の交流の促進	専門指導者との交流促進	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	各種人権問題に対する研 修の充実	人権政策・男女共同 参画課	し、理解することによって、人権問題の早期解決に寄与する。 受講者(想定) 475名	各課(所)の所属長から推薦された職員を主な対象に、「様々な人権問題について」をテーマに自己学習を実施し、様々な人権問題に対する心構えや、今後の対策を学ぶことにより、人権意識の向上を図った。また、人権問題についての正しい知識の習得、理解を促すことによって、人権問題の早期解決に寄与した。 受講者 775名 費用 0千円	0	所属長の推薦だけでなく庁内所属 1名以上として対象を広げたこと により受講者数が大幅に増加し、 さらに、受講後アンケートにおい て人権尊重意識が高まったとする 割合が99.61%となったため。

(施策の分類 2) 学校教育関係者
2 1 世紀を担う子どもたちの人権尊重の心を育成する人権教育の推進を図るためには、教育活動に携わるすべての人がそれぞれの学校などで児童・生徒の現状や課題を理解し、様々な教育実践を人権尊重の視点から総合的に見直していくことが求められています。そのために、自らの人権意識を高めるため自己研鑽はもとより、各種研修会等に参加することで、自らの資質の向上に努める必要があります。
そこで市では、教職員一人ひとりが指導方法の改善や充実が図られるよう、人権教育を視点に置いた内容、方法等を具体的かつ明確にするなど創意工夫した校内研修等を推進し、児童・生徒の教育実践に生かせるよう、指導主事等に対する研修の充実、教職員派遣研修の充実の方向から各種事業を実施しました。

		実施計画掲載内容		令和6年度実施								
施策の方向	具 体 的 施 策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由			
①指導主事等に対 する研修の充実		各種研修会・研究会への参加	人権教育推進室・教育研究所・教職員人 事課	各種研修会、研究会の充 実	人権教育推進室	各学校における人権教育を一層推進するために、人権教育主任等が各種研修会・研究会などに参加して資質の向上に努める。	各学校における人権教育を一層推進するために、人権教育主任等が各種研修会・研究会などに参加して資質の向上に努めた。	0	各種研修会・研究会の充実を図る ため、担当者が参加して資質の向 上に努めた。			
①指導主事等に対する研修の充実		人権教育担当者研修会へ の参加	人権教育推進室・教職員人事課	各種研修会への教職員参加	人権教育推進室	各学校における人権教育を一層推進するために、人権教育主任等が各種研修会・研 究会などに参加して資質の向上に努める。	各学校における人権教育を一層推進するために、人権教育主任等が各種研修会・研究会などに参加して資質の向上に努めた。	0	各種研修会・研究会の充実を図る ため、担当者が参加して資質の向 上に努めた。			
①指導主事等に対 する研修の充実		子ども虐待防止フォーラ ム	子ども家庭総合センター総務課・人権教 育推進室	子ども虐待防止フォーラ ム	子ども家庭支援課 人権教育推進室	深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対処するために、幼稚園、保育園、 小・中・中等教育・特別支援学校等の子育て支援関係者が、児童虐待の早期発見・ 早期対応等の適切な支援方法を学ぶ場として、フォーラムを実施する。	深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対処するために、児童虐待の第一発 見者となりうる幼稚園、保育園、小・中・中等教育・特別支援学校等の子育て支援 関係者が、児童虐待の早期発見・早期対応等の適切な支援方法を学ぶ場として、 フォーラムを実施した。	0	子ども虐待防止フォーラム参加者 のうち「参考になった」と回答し た人の割合が98.1%となり一定の 効果が得られたため。			
②教職員派遣研修 の充実	1 各種研修会等への教職 員の参加	キャリアに応じた研修会	人権教育推進室	人権教育担当者研修会へ の参加	人権教育推進室	人権教育を一層推進するために、キャリア段階に応じた各種研修会・研究会等を実施し、人権教育の充実に努める。	人権教育を一層推進するために、キャリア段階に応じた研修会を実施した。 ・推薦研修(教育経営研修)	0	各研修会への参加を通して、資質 の向上に努めることができた。			

(施策の分類 3) 社会教育関係者 人権尊重意識にあふれた地域社会を築くためには、市民一人ひとりが人権問題を自分の問題として捉え、常に人権感覚を持って行動する必要があります。そのため、公民館などにおいて、同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する研修の助言、指導に当たる社会教育主事をはじめとした社会教育関係者には、確かな 人権感覚や人権意識に根ざした具体な行動ができる資質が求められます。 また、地域を基盤に活動している社会教育団体にも、人権が尊重される地域社会づくりに対する役割が求められます。 これらの実現のために、人権に関する理解や認識をより一層深め、人権教育の指導者としての研鑽が積めるよう、社会教育関係職員に対する研修の充実、職員派遣研修の充実の方向から各種事業を実施しました。

実施調	布計画掲載内容		令和6年度実施							
施策の方向 具体的施策	事 業 名	関 係 各 課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由		
①社会教育関係職 員に対する研修の 充実 1 各種人権啓発研修の実 施	霍教育指導者養成講座	人権教育推進室	社会教育関係職員研修の 充実	人権教育推進室	社会教育における人権教育を一層推進するために、公民館職員を対象に研修会を実施し、人権教育の充実に努める。	社会教育における人権教育を一層推進するために、公民館職員を対象に研修会を実施した。	0	研修会において、近年の人権に関する法整備等について、情報提供することができたため。		
①社会教育関係職 員に対する研修の 充実 2 学習プログラムの研 投会教 修資業	会教育関係職員用の研 資料の作成	人権教育推進室	社会教育関係職員研修の 充実		社会教育における人権教育を一層推進するために、公民館職員を対象に研修会を実施し、人権教育の充実に努める。	社会教育における人権教育を一層推進するために、公民館職員を対象に研修会を実施した。	0	研修会において、人権教育の推進 を図ることができたため。		
①社会教育関係職 員に対する研修の 充実 2 学習プログラムの研 究・開発		人権政策・男女共同参画課	人権問題研修	人権政策・男女共同 参画課	テーマに自己学習を実施し、様々な人権問題に対する心構えや、今後の対策を学ぶことにより、人権意識の向上を図る。また、人権問題についての正しい知識を習得し、理解することによって、人権問題の早期解決に寄与する。	各課(所)の所属長から推薦された職員を主な対象に、「様々な人権問題について」をテーマに自己学習を実施し、様々な人権問題に対する心構えや、今後の対策を学ぶことにより、人権意識の向上を図った。また、人権問題についての正しい知識の習得、理解を促すことによって、人権問題の早期解決に寄与した。受講者 775名 費用 0千円	0	所属長の推薦だけでなく庁内所属 1名以上として対象を広げたこと により受講者数が大幅に増加し、 さらに、受講後アンケートにおい て人権尊重意識が高まったとする 割合が99.61%となったため。		
①社会教育関係職 員に対する研修の 充実 公民館職員研修の充実 公民館	R.館職員研修	生涯学習総合センター	公民館職員研修	生涯学省総合	公民館新任職員基礎研修にて、人権講座の実施方法について学ぶ『公民館における 人権教育推進事業「人権・同和問題の理解を図る講座」の実施について』を実施し ます。	公民館新任職員基礎研修にて、公民館における人権教育推進事業「人権・同和問題 の理解を図る講座」の実施要領について学んだ。	0	研修により新任公民館職員の意識 啓発及び向上につながったと考え られるため。		
②職員派遣研修の 充実 1 指導者の養成研修会等 への参加 の参加		人権教育推進室	各種研究集会・指導者養 成講座等への職員の派遣	参画課		様々な人権教育・啓発推進に携わる関係職員が、確かな人権感覚を身に付け、具体 的な実践で適切な対応ができるよう、資質向上を目指して各種研修会や研究集会に 関係職員を派遣し、人材の育成に努めた。	0	各種研修会や研究集会への参加を 通して、資質の向上、人材の育成 に努めることができた。		
②職員派遣研修の 充実 1 指導者の養成研修会等 への参加	重教育指導者養成講座	人権教育推進室	各種研究集会・指導者養 成講座等への職員の派遣	参画課	的な実践で適切な対応ができるよう、資質向上を目指して各種研修会や研究集会に	様々な人権教育・啓発推進に携わる関係職員が、確かな人権感覚を身に付け、具体 的な実践で適切な対応ができるよう、資質向上を目指して各種研修会や研究集会に 関係職員を派遣し、人材の育成に努めた。	0	各種講演会・研修会・研究会等に 職員を派遣して資質の向上に努め たため。		
②職員派遣研修の 充実 の参加 関係材 修	系機関・団体による研	人権教育推進室	各種研修会等への社会教 育関係職員参加	人権教育推進室	人権教育・啓発を一層推進するため、各種講演会·研修会·研究会等へ社会教育関係 職員を派遣して資質の向上に努める。	人権教育・啓発を一層推進するため、各種講演会·研修会·研究会等へ社会教育関係 職員を派遣して資質の向上に努めた。	0	各種講演会・研修会・研究会等に 職員を派遣して資質の向上に努め たため。		
②職員派遣研修の 充実 2 各種人権啓発研修会へ の参加	重啓発講演会・研修会	人権教育推進室	人権啓発講演会	4 声		市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行った。・オンライン開催(令和6年12月4日~令和7年1月7日 講演動画配信等)・講演動画視聴数476件、HP閲覧数1,136件・参加者の人権問題への理解度97.3%		人権啓発講演会を開催し、総合振 興計画実施計画に掲げる目標であ る参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したた め。		

(施策の分類 4) 福祉関係者

③施設利用者の

③施設利用者の人 2 施設利用の子ども向け 子どもの人権についての 権に配慮した関わ に子どもの人権教育の啓発 プログラム実施 子ども家庭支援課

市では、これら福祉関係者に対する人権教育を充実させるとともに、研修会への取り組みを働きかけるため、民生・児童委員等の研修の充実、社会福祉主事等に対する研修の充実などの方向から各種事業を実施しました。 宝施計画掲載内容 令和6年度実施 令和6年度具体的事業 施策の方向 具 体 的 施 策 事 業 名 関係各課 所管課 令和6年度実施内容 令和6年度実施結果 評価理由 民生委員法第18条に基づき、本市が民生委員・児童委員全員を対象に、経験年数等 による計画的な研修を実施する。 民生委員法第18条に基づき、本市が民生委員・児童委員全員を対象に、経験年数等 ① 民生委員・児童委員、主任児童委員研修 I による計画的な研修を実施する。 【テーマ】「個人情報の利用と保護~民生委員・児童委員活動のための基礎と実践 ① 民生委員・児童委員、主任児童委員研修 I 【テーマ】「個人情報の利用と保護〜民生委員・児童委員活動のための基礎と実践 【実施日】令和6年8月23日(金) 【参加者】96名 ② 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修Ⅱ 【実施期間】令和6年8月~11月 【テーマ】「児童委員が紡ぐ令和の児童家庭福祉活動」 ② 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修 I 【テーマ】「児童委員が紡ぐ令和の児童家庭福祉活動」 【参加者】188名 【多加有】100石 ③ 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修Ⅲ 【テーマ】「"共育と協働"の大切さを知ろう!」 ③ 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修皿 【テーマ】「"共育と協働"の大切さを知ろう!」 ①民生委員・児童 委員等の研修の充 修の充実 【実施日】令和6年11月27日(水) 民生委員・児童委員研修 【実施期間】令和6年8月~11月 0 民生委員・児童委員研修 福祉総務課 福祉総務課 【参加者】174名 修を通じて資質の向上を図ること 主任児童委員研修 主任児童委員研修 べできたと考えられるため。 3 エロの主要を制制 【テーマ】「見守りについて考える~関係機関との連携と家族への関わり方~」 【実施日】令和6年8月27日(火) 【参加者】77名 【テーマ】「見守りについて考える〜関係機関との連携と家族への関わり方〜」 【実施期間】令和6年8月〜11月 民生委員児童委員協議会会長・副会長研修 【テーマ】「地区民児協運営の役割と課題」 民生委員児童委員協議会会長・副会長研修 【実施期間】令和7年1月~3月 【テーマ】「地区民児協運営の役割と課題」 【実施日】令和7年2月21日(金) 新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修 【参加者】111名 ⑥ 新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修 【テーマ】「民生委員·児童委員、主任児童委員の役割や活動の意義と支援の基本を 【実施期間】令和7年1月~3月 【テーマ】「民生委員・児童委員、主任児童委員の役割や活動の意義と支援の基本を 学ぶ」 【実施日】令和7年1月29日(水) 【参加者】40名 ① から⑥の委託費【814千円】 ① から⑥の委託費【814千円】 市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人 権啓発講演会を開催し、総合振 市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募 権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行った。 興計画実施計画に掲げる目標であ 人権政策・男女共同 人権啓発講演会 人権啓発講演会 0 人権政策・男女共同参画課 参画課 る参加者の人権問題への理解度 ・オンライン開催(令和6年12月4日~令和7年1月7日 講演動画配信等)・講演動画視聴数476件、HP閲覧数1,136件 集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行う。 人権教育推進室 0%を大きく超えて達成したた オンライン開催(令和6年12月~令和7年1月ごろ 講演動画配信等) 参加者の人権問題への理解度97.3% 民生委員法第18条に基づき、本市が民生委員・児童委員全員を対象に、経験年数等 による計画的な研修を実施する。 民生委員法第18条に基づき、本市が民生委員・児童委員全員を対象に、経験年数等 ① 民生委員·児童委員、主任児童委員研修 I 【テーマ】「個人情報の利用と保護~民生委員・児童委員活動のための基礎と実践 こよる計画的な研修を実施する。 1) 民生委員・児童委員、主任児童委員研修 [【実施日】令和6年8月23日(金) 【テーマ】「個人情報の利用と保護~民生委員・児童委員活動のための基礎と実践 【受加有】30-0 ② 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修Ⅱ 【テーマ】「児童委員が紡ぐ令和の児童家庭福祉活動」 【実施日】令和6年10月29日(火) 【実施期間】令和6年8月~11月 ② 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修 I 【テーマ】「児童委員が紡ぐ令和の児童家庭福祉活動」 ③ 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修Ⅲ 【テーマ】「"共育と協働"の大切さを知ろう!」 【実施期間】 令和6年8月~11月 【天池州町】 P和10年5月・11月 3 民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修工 【テーマ】「"共育と協働"の大切さを知ろう!」 【実施期間】令和6年8月~11月 リウス主安員・児軍 委員等の研修の充 の充実 ①民生委員・児童 【実施日】令和6年11月27日(水) 研修後のアンケート結果から、研 民生委員・児童委員プラ イバシー保護配慮の充実 民生委員・児童委員研修 【参加者】174名 福祉総務課(区・福祉課) 福祉総務課 0 修を通じて資質の向上を図ること の充実 主任児童委員研修 ができたと考えられるため。 【テーマ】「見守りについて考える~関係機関との連携と家族への関わり方~」 【実施日】 令和6年8月27日(火) 【参加者】77名 【多加名】 // 石 5) 民生委員児童委員協議会会長・副会長研修 【テーマ】「地区民児協運営の役割と課題」 『テーマ】「地区民児協運営の役割と課題」 【実施期間】令和7年1月~3月 新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修 【実施日】令和7年2月21日(金) 【テーマ】「民生委員・児童委員、主任児童委員の役割や活動の意義と支援の基本を 【参加者】111名 新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修 【テーマ】「民生委員・児童委員、主任児童委員の役割や活動の意義と支援の基本を 【実施期間】令和7年1月~3月 字ふ」 【実施日】令和7年1月29日(水) ① から⑥の委託費【814千円】 ① から⑥の委託費【814千円】 社会福祉法等の学習を通じ、人権意識を醸成し、社会福祉事業に精通した職員を育 社会福祉法等の学習を通じ、人権意識を醸成し、社会福祉事業に精通した職員を育 学習を通じたプライバシー保護配 ②社会福祉主事等 1 プライバシー保護配慮 社会福祉主事等プライバ 福祉総務課 ②付去幅位ユチラ| 1 ノラ に対する研修の充 の充実 プライバシー保護 成するため、社会福祉主事資格認定通信課程研修を本市福祉事務所の職員が受講す 成するため、社会福祉主事資格認定通信課程研修を本市福祉事務所の職員11名が受 福祉総務課 慮の充実及び出席数ともに概ね予 一保護の充実 配慮の充実 定どおりの成果があったため。 (費用[負担金] 1,053千円) (費用 [負担金] 932千円) ③施設利用者の 子どもの人権に関する研子ども家庭支援課 1 施設職員向けに子ども 施設職員向けに子どもの 施設利用者の人権を尊重し各々の特性に配慮した支援を実施するため、子どもケア ホームに従事する職員を対象に課内研修を実施し知識の向上に努める。 施設利用者の人権を尊重し各々の特性に配慮した支援を実施するため、子どもケアホームに従事する職員を対象に課内研修を実施し知識の向上に努めた。 研修を実施し、職員の知識の向上 権に配慮した関わ 子ども家庭支援課 人権教育の充実 の人権教育の充実 が図られたため。

施設利用の子ども向けに

子どもの人権教育の啓発

子ども家庭支援課

ムを実施する。

子どもケアホーム利用児童を対象に、自己と他者を尊重し、安心安全に生活するこ とができるように「境界線の種類」や「パーソナルスペース」等についてプログラ

子どもケアホーム利用児童を対象に、自己と他者を尊重し、安心安全に生活することができるように「境界線の種類」や「パーソナルスペース」等についてプログラ

ムを実施した。

プログラムの実施に伴い. 利用児

童から啓発の効果が得られたた

(施策の分類 5)保健、医療関係者 病院や診療所などにおいて医療業務に携わる医師、看護師、医療技術者等や、市民の健康に関する相談や訪問指導などを行う保健師などの医療関係者は、市民の健康と生命を守ることを使命とし、その業務を通じて個人の生活に深く関わっているため、個人としての尊厳を尊重することはもとより、病歴や相談内容の個人情報やプライバシーの保護に努めるなど、人権に対してきめ細かい配慮が必要です。 このため、保健、医療に携わるすべての関係者が、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の一層の向上が図れるよう、保健、医療関係者等の人権意識の高揚という方向から各種事業を実施しました。

					実施計画掲載内容			令和 6 年度実施								
施策の方向		具 体	的 施	策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由				
①保健、医療関 者等の人権意識 高揚		自主的	研修活動 <i>0</i>	充実	看護師の倫理研修会	市立病院看護部	学習会―看護における倫 理の理解―		(目標) 1) 臨床事例の検討を通して「倫理的感性」を高めることができる 2) 倫理綱領について自身の看護実践と結びつけることができる 【実施内容】・(自己学習Eラーニング視聴) 11月中<倫理コース>・立ち止まる臨床倫理のススメ~臨床倫理入門~(32分) 看護職のための臨床倫理~倫理的感受性を育む (30分) <倫理編>認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題 (27分)・第1回12月7日(水) 17:30~18:30~看護倫理>「事例を用いて「看護職の倫理綱領」の理解を深める。講義、事例検討グループワーク	医療現場において看護職員が直面する倫理の問題や、患者のプライバシー保護、患者の権利について理解し、「よりよい看護のあり方」を目指す。 (目的)看護倫理への感受性を高め、日々の看護実践につなげることができる(目標)1)臨床事例の検討を通して「倫理的感性」を高めることができる 2)倫理綱領について自身の看護実践と結びつけることができる【実施内容】・第1回(自己学習Eラーニング視聴)9月までに<倫理コース>臨床倫理入門~ともに執得できる意思決定のために~(29分)・第2回9月19日(木)17:30~18:30<看護倫理>「事例を用いて「看護職の倫理綱領」の理解を深める。講義、グループワーク・第3回2月14日(金)17:30~18:30<香部署ごとに医療現場において倫理的ジレンマが生じた事例について看護倫理の観点から考える。グループディスカッション【会場】市立病院	0	参加者アンケート6点満点中5.4点 であり、目標は達成できた。				
①保健、医療関 者等の人権意識 高揚	関係 _戦 の の デ	: プライ 充実	バシー保証	配慮	プライバシー保護の配	慮病院総務課	患者情報取り扱いについ ての注意喚起	病院総務課	新規採用の医療従事者に対して患者情報の取り扱いについての注意喚起を実施す る。	新規採用の医療従事者に対して患者情報の取り扱いについての注意喚起を実施した。	0	予定通り新規採用の医療従事者に 対し、注意喚起を実施したため。				
②施設の整備		施設等 及び整備	の実態把扱	の推	施設内実態把握の推進 整備	・ 病院施設管理課	施設内実態把握の推進・ 整備	病院施設管理課	担当者が施設内巡回の際に、実態把握を努めるとともに、週1回実施する院長・看護 部長・経営部長での院内ラウンドや年1回実施される患者や職員に対する満足度調査 の意見も参考に、整備を図っていく。		0	予定通り実施したため。				

(施策の分類 6) マスメディア関係者 情報化社会の進展が著しい中、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットからの情報は、市民生活を送るうえで必要不可欠な部分が多く、人々の意識の形成に大きな影響力を持っています。このため、マスメディアに従事する関係者は、人権尊重の社会を形成するうえで重要な役割を担っており、人権感覚に視点を置いた取 材活動や情報の提供、管理が求められています。

-						A Co. o. brothers								
			実施計画掲載内容				● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	年度実施						
	施策の方向	具 体 的 施 策	事 業 名	関係 各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由				
	①人権尊重意識に 現点を置いた教育 の支援	1 人権教育・啓発の理解 と認識への支援	人権教育・啓発推進本部 の基本計画等の周知	人権政策・男女共同参画課	人権教育・啓発の理解と 認識への支援		人権問題にかかわる情報の提供などにより、人権問題に対するより一層の理解が図られるよう努める。	人権問題にかかわる情報の提供などにより、人権問題に対するより一層の理解が図られるよう努めた。	0	市ホームページや啓発冊子などを 通じた情報提供を行ったため。				
	①人権尊重意識に 見点を置いた教育 D支援	1 人権教育・啓発の理解 と認識への支援	企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同参画課	企業等人権問題研修会	人権政策・男女共同		大宮・浦和公共職業安定所及びさいたま商工会議所の後援で、市内企業等を対象に 人権問題研修会を実施し、各種人権問題が企業自らの課題として定着し、職場や地域社会の中で差別をなくすよう啓発を行った。 ・オンライン開催(令和6年8月1日~31日 講演動画配信等) ・講演動画視聴数457件、HP閲覧数1,459件 ・参加者の人権問題への理解度99,0%	0	市内企業等人権問題研修会を開催し、参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したため。				
	①人権尊重意識に 見点を置いた教育 D支援		情報誌等の発行	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	情報誌・広報誌による啓 発	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参	男女共同参画推進センター事業を紹介する、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」 年2回発行。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行う。男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」と合わせて発行、市の公共施設等配布、ホームページに掲載する。 (延べ84,000部、2,337千円)	男女共同参画推進センター事業を紹介する、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」を年2回発行した。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行った。男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」と合わせて発行、市の公共施設等配布、ホームページに掲載した。(延べ84,000部、2,126千円)	0	編集員会議を経て、予定通り広報 誌を発行、公共施設等への配布及 びホームページでの公開を実施す ることで、事業等の周知を行うこ とができたため。				

[基本的課題 ④] 地域に密着したきめ細かい啓発活動の推進 市民一人ひとりが啓発活動の内容を十分認識し、その意義を理解することによって啓発効果はより大きな期待がもてることから、幼児期から高齢者に至る幅広い市民を対象にそれぞれのライフサイクルに応じ、総合的に捉えて効果的に推進する必要があります。 このため、日常生活のなかで人権との関わりを自覚できるよう身近な具体例を取り上げたり、表現や内容をわかりやすくしたり、参加者同士が自由に意見交換できるように、それぞれの地域に密着したきめ細かい啓発活動を推進していく必要があります。

(施策の分類 1) 学習環境の整備

ハ他東の万規 1) 子盲様児の登幅
人権教育を生涯学習(自発的意思に基づき様々な学習機会を捉えて自由に取り組みながら自己の成長を図るもの)の中に位置づけて進めることが望ましいと考えられます。
そのための身近な施設として、公民館や図書館、隣保館などが生涯学習の拠点として大きな役割を担って活動を展開していますが、全市民がいつでも、どこでも学べるよう、学習環境の整備をさらに進める必要があるため、各種学習施設の環境整備、人権学習センターの整備、人権教育推進組織の整備充実の各方向から各種事業を実施しました。

		実施計画掲載内容				令和6年	F度実施		
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
①各種学習施設の 環境整備	1 各種学習及び施設の環境 整備(学習機会の推進)	公民館管理運営事業	公民館	公民館管理運営事業	公民館	市内の全59公民館において、人権・同和問題に関する講座を実施する。	市立公民館全59館において人権・同和問題に関する講座を実施し、人権について学ぶ機会を提供した。	0	講座の実施により市民が人権について学ぶ機会を提供したため。
①各種学習施設の 環境整備	2 男女共同参画施設の充実	男女共同参画推進セン ター等管理運営事業	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	男女共同参画推進セン ター等管理運営事業	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	さいたま市における男女共同参画社会の実現に向けた具体的施策を推進していく拠点施設として設置されており、下記の事業を行う。 ①企画推進事業 ②相談事業 ③情報収集・提供事業 ④学習・研修事業 ⑤団体活動・交流支援事業 ⑥調査・研究事業	さいたま市における男女共同参画社会の実現に向けた具体的施策を推進していく拠点施設として設置されており、拠点施設として下記の事業を行った。 ①企画推進事業 ②相談事業 ③情報収集・提供事業 ④学習・研修事業 ⑤団体活動・交流支援事業 ⑥調査・研究事業	0	①~⑥の事業を予定通り実施し、 概ね予想どおりの効果が得られた ため。
①各種学習施設の 環境整備	3 隣保館、集会所の整備	隣保館、集会所管理運営 事業	・ 人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	隣保館・集会所の整備	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館] 人権教育推進室	住民の福祉の向上や人権教育・啓発のための地域住民交流の拠点となっている隣保館 及び集会所が利用しやすいように、施設等の整備に努める。	住民の福祉の向上や人権教育・啓発のための地域住民交流の拠点となっている隣保館 及び集会所が利用しやすいように、施設等の整備に努めた。	0	施設等の整備に努め、一定の効果が得られたため。
②人権学習セン ターの整備	1 地域の人権学習の拠点施 設の整備	隣保館、集会所管理運営 事業	・ 人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	人権学習の拠点施設の整 備	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館] 人権教育推進室	住民の福祉の向上や人権教育・啓発のための地域住民交流の拠点となっている隣保館 及び集会所が、人権問題の学習施設として効果的かつ有効に利用されるよう、館内外 の環境整備の充実に努める。	住民の福祉の向上や人権教育・啓発のための地域住民交流の拠点となっている隣保館 及び集会所が、人権問題の学習施設として効果的かつ有効に利用されるよう、館内外 の環境整備の充実に努めた。	0	環境整備の充実に努め、一定の効果が得られたため。
③人権教育推進組 織の整備充実	1 人権教育推進組織の充実		; 人権教育推進室	人権教育推進組織の整備 充実		人権・同和教育の振興・充実を図り、同和問題をはじめとする人権問題を解決するために、「さいたま市人権教育推進協議会」を設置し、行政・教育・民間団体から選出された委員と共に、人権教育の推進に努める。また、同和教育のより一層の推進に努める。 ・定例会議(人権教育推進協議会 2 回開催 1回は現地研修)・ ・啓発品(クリアファイル)の作成、配布を行う。	人権・同和教育の振興・充実を図り、同和問題をはじめとする人権問題を解決するために、「さいたま市人権教育推進協議会」を設置し、行政・教育・民間団体から選出された委員と共に、人権教育の推進に努めた。また、同和教育に関する専門的な調査、研究を図るために、同和教育部会を設置して、人権・同和教育のより一層の推進に努めた。・定例会議(人権教育推進協議会2回開催、うち1回は草加市にて皮革工場を見学、体験実習、同市職員等から人権に関する講義受ける現地研修を実施。)・啓発品(クリアファイル)の作成、配布を行った。	0	定例会議を開催し、啓発品の作成、配布を行い、一定の成果が得られたため。
③人権教育推進組 織の整備充実	1 人権教育推進組織の充実	- 同和教育推進校連絡協議 会の充実	人権教育推進室	同和教育推進校連絡協議 会の充実	人権教育推進室	さいたま市における同和教育の推進・充実を図り、同和問題の完全解消を期するため、さいたま市同和教育推進校連絡協議会を開催する。	さいたま市における同和教育の推進・充実に向けて、3回の連絡協議会を実施した。	0	協議会を開催し、一定の効果が得られたため。

(施策の分類 2) 効果的な啓発方法の研究、開発 効果的な啓発を推進するには、学校や地域、職場を通じた取り組みの中で積み上げられた内容を踏まえながら、市民が主体的に啓発に取り組めるよう、発達段階に応じた啓発手法や、感性に訴える手法等を開発することが重要です。 具体的には、日常生活の中で人権との関わりを自覚できるよう身近にある具体例を取り上げたり、参加者同士の自由な意見交換や討議や参加体験型の学習形態にするなど、知識伝達型から市民自らが主体的に行動できるよう工夫しました。この他、市民ニーズの把握、学習プログラムの開発、事業内容の調整、学習形態の 工夫改善などにより効果的な啓発手法の研究、開発に努めました。

		実施計画掲載内容			令和6年度実施								
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由				
①市民ニーズの把握	1 市民意識調査・実態調 査の実施	人権意識調査	人権政策・男女共同参画課	人権意識調査	人権政策・男女共同 参画課		市内企業等を対象に実施した市内企業等人権問題研修会及び市民を対象とした人権 啓発講演会において、参加者にアンケートを実施し市民(企業)ニーズの把握を 行った。また、「人権が尊重されていると感じる」かの現状について、総合振興計 画の進行管理等にかかる市民アンケート調査を通じて、把握を行った。(令和6年度 実績72.4%)	0	予定どおり、講演会等で扱う人権 課題に関わるニーズ及び人権意識 の現状について把握できたため。				
①市民ニーズの把握	2 アンケートの実施	講座・講演会等における アンケート調査	人権政策・男女共同参画課	アンケートの実施	人権政策・男女共同 参画課		市内企業等を対象に実施した市内企業等人権問題研修会及び市民を対象とした人権 啓発講演会において、参加者にアンケートを実施し市民(企業)ニーズの把握に努 めた。	0	予定どおり、講演会等で扱う人権 課題に関わるニーズの把握を行っ たため。				
②学習プログラ <i>L</i> の開発	1 生涯学習プログラムの 開発	学習資料・教材の作成	人権教育推進室	人権教育学習プログラム の研究・開発	人権教育推進室	人権教育集会所において人権講演会を実施するにあたり、最近の人権課題の動向 や、効果的な啓発資料を作成するため研究を行う。	県内の市町からの要請もあり、人権教育集会所において人権教育講演会を実施する ことができた。	0	効果的な啓発資料を作成するため の研究を行ったため。				
②学習プログラ <i>↓</i> の開発	1 生涯学習プログラムの開発	人権啓発講演会の実施	人権政策・男女共同参画課	人権啓発講演会の実施		市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行う。 ・オンライン開催(令和6年12月~令和7年1月ごろ 講演動画配信等)	市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行った。 ・オンライン開催(令和6年12月4日~令和7年1月7日 講演動画配信等) ・講演動画視聴数476件、HP閲覧数1,136件 ・参加者の人権問題への理解度97.3%	©	人権啓発講演会を開催し、総合振 興計画実施計画に掲げる目標であ る参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したた め。				
②学習プログラ <i>L</i> の開発	1 生涯学習プログラムの 開発	出前講座(人権問題)の 実施	人権政策・男女共同参画課	出前講座 (人権問題) の 実施		企業、学校、グループやサークル等の希望に応じ、人権問題や人権啓発に関する出 前講座を実施し、人権尊重意識の啓発に努める。	企業や団体の希望に応じ、人権問題に関する出前講座を実施し、人権尊重意識の啓 発に努めた。(令和6年度は2件の出前講座を行った)	0	企業に対し出前講座を実施することができ、人権尊重意識の啓発に 努めたため。				
③事業内容の調整	1 事業内容の点検と見直し	人権教育・啓発推進本部	人権政策・男女共同参画課	人権教育・啓発推進事業 内容の点検・調整	人権政策・男女共同 参画課	各種人権問題解決に向けた「人権教育・啓発推進本部」の事務局において、各所管で行った様々な啓発事業等の見直しを行うとともに、今後の啓発が効果的に推進できるよう調整に努める。	各種人権問題解決に向けた「人権教育・啓発推進本部」の事務局において、各所管で行った様々な啓発事業等の見直しを行うとともに、今後の啓発が効果的に推進できるよう調整に努めた。	0	推進状況において、事業課に対し 実施予定事業を確認し、調整を 行ったため。				
③事業内容の調整	1 事業内容の点検と見直し	男女共同参画推進本部	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	男女共同参画推進本部	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、男女共同参画推進 本部会議において、男女共同参画に関する施策の連絡調整等を行う。	男女共同参画に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、男女共同参画推進本部会議において、男女共同参画に関する施策の連絡調整等を行った。 ・開催回数:2回	0	部局横断的に実施が必要な施策に ついて、必要な連絡調整等を実施 することができたため。				
③事業内容の調整	2 関係各課所との調整	人権教育・啓発推進本部	人権政策・男女共同参画課	人権教育・啓発推進事業 内容の点検・調整	人権政策・男女共同 参画課	各種人権問題解決に向けた「人権教育・啓発推進本部」の事務局において、各所管で行った様々な啓発事業等の見直しを行うとともに、今後の啓発が効果的に推進できるよう調整に努める。	各種人権問題解決に向けた「人権教育・啓発推進本部」の事務局において、各所管で行った様々な啓発事業等の見直しを行うとともに、今後の啓発が効果的に推進できるよう調整に努めた。	0	推進状況において、事業課に対し 実施予定事業を確認し、調整を 行ったため。				
③事業内容の調整	2 関係各課所との調整	男女共同参画推進本部	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	男女共同参画推進本部	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、男女共同参画推進 本部会議において、男女共同参画に関する施策の連絡調整等を行う。	男女共同参画に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、男女共同参画推進本部会議において、男女共同参画に関する施策の連絡調整等を行った。 ・開催回数:2回	0	部局横断的に実施が必要な施策に ついて、必要な連絡調整等を実施 することができたため。				
④学習形態の工夫 改善	1 市民相互の交流の促進	地域住民相互の交流の促進	人権教育推進室・人権政策・男女共同参 画課 (隣保館)	市民相互の交流の促進	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	各種講座や教室、文化祭、人権講演会を開催するなど、様々な機会を通じて地域住 民及び利用団体相互の交流を図る。	各種講座や教室、文化祭、人権講演会を開催するなど、様々な機会を通じて地域住 民及び利用団体相互の交流を図った。 (主催事業参加者 1,430人)	0	種講座や教室、文化祭、人権講演会を開催し、利用団体相互の交流を図ることができたため。				

(施策の分類 3) 啓発資料の作成、活用 人権教育・啓発を推進する上で学習教材は重要な役割を担っています。例えば、幼児期にあっては様々な遊びや生活を通じて人権尊重の精神の芽生えを生むような教材が、学校においては児童生徒の関心や意欲を引き出せるように身近なことを題材とした教材が、また、地域社会や職場においてはより身近で日常生活に関わり深い内容の教材が、それぞれの発達段階に応じ学習活動を効果的に高めると考えられます。 このようなことから、学習に関する市民の多様な学習ニーズを把握しつつ、啓発冊子の作成、リーフレットの作成、情報誌の作成、啓発用品の作成配布などを行いました。

	実施計画掲載内容					令和64	令和6年度実施		
施策の方向	具体的施策	事業名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①啓発冊子の作成	1 各種人権問題パンフ レットの作成	人権啓発冊子の作成	人権政策・男女共同参画課	同和問題啓発冊子の作成	人権政策・男女共同 参画課	同和問題の正しい理解と認識を深めるための啓発冊子を作成し、各種研修会・講演会等において参加者に配布して啓発に努める。 また、企業やグループ等で研修を行う場合に無償提供する。 ・人権啓発冊子「私たちの人権」	同和問題の正しい理解と認識を深めるための啓発冊子を作成し、各種研修会・講演会等において参加者に配布して啓発に努めた。 また、企業や団体等で研修を行う場合に無償提供した。(2件) ・人権啓発冊子「私たちの人権」(2,700部 費用 274千円)	0	予定数の作成を行い配布を行うと ともに、企業等の研修に冊子を提 供したため。
①啓発冊子の作成	2 人権文集等の作成	人権標語・作文の取組	人権教育推進室	人権標語・人権作文の充 実	人権教育推進室	児童生徒の人権意識の高揚を図るため、市立小・中・中等教育学校の児童生徒から 人権標語、人権作文の募集を行い、最優秀作品については、表彰式を実施して表彰 する。 市立小・中学校児童生徒から募集した作文と標語の優秀作品を掲載した人権文集 「じんけん」を発行し、学校に配布する。	児童生徒の人権意識の高揚を図るため、市立小・中・中等教育・特別支援学校の児童生徒から人権標語、人権作文の募集を行い、最優秀作品については、表彰式を実施して表彰した。また、人権標語は標語入りクリアファイル、短冊を作成し配布し、人権作文は人権文集にまとめた。・人権標語 (応募校157校 93,479作品)・人権作文 (応募校154校 70,778作品)	0	90%を超える市立学校から作文・標語の募集があり、児童生徒の人権意識の高揚を図ることができた。
①啓発冊子の作成	2 人権文集等の作成	人権標語・作文の取組	人権教育推進室	人権作文·人権標語最優秀 作品集の作成事業	人権教育推進室	児童生徒の人権意識の高揚を図るため、市立小・中・中等教育学校の児童生徒から 人権標語、人権作文の募集を行い、最優秀作品については、表彰式を実施して表彰 する。 市立小・中学校児童生徒から募集した作文と標語の優秀作品を掲載した人権文集 「じんけん」を発行し、学校に配布する。	児童生徒の人権意識の高揚を図るため、市立小・中・中等教育学校の児童生徒から 人権標語、人権作文の募集を行い、最優秀作品については、表彰式を実施して表彰 した。 ・人権標語応募数 93,479 ・人権作文応募数 70,778 市立小・中学校児童生徒から募集した作文と標語の優秀作品を掲載した人権文集 「じんけん」を発行し、学校に配布した。 (4,100部 費用 668千円)	0	人権標語・作文の募集の広報を進 め、各学校において人権教育に向 かう場を提供することとともに、 啓発資料を予定数、作成・配布を 行い、啓発の成果を得られたた め。
①啓発冊子の作成	3 ノーマライゼーション 条例の簡明版冊子の作成	ノーマライゼーション条 例及びその理念の普及啓 発		ノーマライゼーション条 例の周知・啓発	障害政策課	総合的な学習の時間を活用し、児童の障害に対する理解を深めるため、条例の理念をわかりやすく示したノーマライゼーション条例リーフレットを作成し、市内の全小学校へ配布予定。	総合的な学習の時間等を活用し、児童の障害に対する理解を深めるため、条例の理念をわかりやすく示したノーマライゼーション条例リーフレットを作成し、市内の全小学校6年生へ配布した。 ・12,440部 ※ノーマライゼーション条例リーフレットとは、従来のノーマライゼーション条例の簡明版冊子を、より子どもが分かりやすいよう作成したもので、市内小学校6年生へは、令和5年度から配布を開始している。	0	予定通り実施することができたた め。
②リーフレットの 作成	1 各分野に関わるリーフ レットの作成・配布	人権啓発リーフレット作 成	人権政策・男女共同参画課	人権啓発パンフレットの 作成	人権政策・男女共同 参画課	同和問題をはじめとした様々な人権問題の解決のための啓発冊子を作成し、各種研修会・講演会等において参加者に配布して啓発に努める。 また、企業やグルーブ等で研修を行う場合に無償提供する。 ・人権ポケットブック	同和問題をはじめとした様々な人権問題の解決のための啓発冊子を作成し、市内各公共施設に配架して啓発を行った。 ・人権ポケットブック 「インターネットと人権」 (2,200部 費用 295千円)	0	予定数の作成・配布を行い、啓発 の効果を得られたため。
②リーフレットの 作成	1 各分野に関わるリーフ レットの作成・配布	相談事業案内リーフレッ ト作成	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	相談事業リーフレット作 成	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画相談室]	相談事業案内リーフレットを作成し、公共施設に配架する。	相談事業案内リーフレットを作成し、公共施設に配架した。	0	予定通り、相談事業案内リーフ レットを公共施設に配架したた め。
②リーフレットの 作成	1 各分野に関わるリーフ レットの作成・配布	DV防止啓発リーフレット 作成	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	DV防止啓発リーフレット 作成	参画課 [男女共同参	DV相談センターカードを公共施設に配置する。 「さいたま市相談窓口案内」を作成し、市内高等学校へ3年生を対象に配布を依頼する。	DV相談センターカードを公共施設に配置した。 市内の5つの高等学校の全3年生に「相談案内チラシ」を配布した。「相談案内チラシ」には、男女共同参画相談室で実施している相談窓口をはじめ、関連する相談窓口を記載するとともに「支配のチェックリスト」や身近な性暴力の事案とその相談窓口を記載した。	0	予定通り、DV相談センターカードを公共施設に配置し、「さいたま市相談窓口案内」を市内高等学校の3年生を対象に配布したため。
②リーフレットの 作成	1 各分野に関わるリーフ レットの作成・配布	DV防止啓発リーフレット 作成	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	デートDVに関わるリー フレットの作成	人権教育推進室	中学校第2学年と高等学校第2学年に配布をしていた交際相手からの暴力(デートDV)防止啓発リーフレットの改訂に向けて検討・作成する。	中・高校生への啓発のため、若年層における交際相手からの暴力(デートDV)防止啓発リーフレットの改訂に向けて検討することができた。	0	予定数の作成・配布を行い、啓発 の成果を得られたため。
②リーフレットの 作成	1 各分野に関わるリーフ レットの作成・配布	ノーマライゼーション条 例及びその理念の普及啓 発リーフレットの配布		ノーマライゼーション条 例の周知・啓発	障害政策課	障害を理由とする差別の解消や虐待の禁止に関するパンフレットを、関係機関やイベント等での配布を予定している。	障害のある方に対する差別や虐待に関するパンフレットを、事業所や各種イベントの参加者に対して13,608部配布し、障害者に対する差別の解消や虐待の防止について、周知啓発を図った。	0	予定通り実施することができたた め。
③情報誌の発行	1 各分野に関わる情報誌 の発行・配布	情報誌等の発行	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画推進センター)	情報誌等の発行	参画課 [男女共同参	男女共同参画推進センター事業を紹介する、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」 年2回発行。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行う。男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」と合わせて発行、市の公共施設等配布、ホームページに掲載する。 (延べ84,000部、2,337千円)	男女共同参画推進センター事業を紹介する、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」を年2回発行した。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行った。男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」と合わせて発行、市の公共施設等配布、ホームページに掲載した。 (延べ84,000部、2,126千円)	0	編集員会議を経て、予定通り広報 誌を発行、公共施設等への配布及 びホームページでの公開を実施す ることで、事業等の周知を行うこ とができたため。
③情報誌の発行	1 各分野に関わる情報誌 の発行・配布	多言語による生活情報誌 配布	観光国際課	多言語による生活情報誌 配布	観光国際課	さいたま市で生活する外国人に向けた情報誌を配布する。 ・市内にあるボランティア日本語教室や時勢に合った話題など、問い合わせが多い 内容をテーマとした多言語生活情報誌を、5言語(日、英、中、韓、西)で4回発行 する。(さいたま観光国際協会補助事業)	さいたま市で生活する外国人に向けた情報誌を配布した。 ・市内にあるボランティア日本語教室や時勢に合った話題など、問い合わせが多い 内容をテーマとした多言語生活情報誌を、5言語 (日、英、中、韓、西)で4回発行 した。(さいたま観光国際協会補助事業) 91号(6月発行) 「さいたま市内にある日本語ボランティア教室」 92号(8月発行) 「大きな災害に備えて(6)」 93号(11月発行) 「かんたんにスキャンしてさいたま市のホームページへ」 94号(3月発行) 「地球っ子グループ」	0	予定通り、外国人に向けた情報誌を5言語で4回発行することができたため。
③情報誌の発行	1 各分野に関わる情報誌 の発行・配布	人権教育ニュースの発行	人権教育推進室	人権教育ニュースの発行	人権教育推進室	人権教育に関する各種情報を掲載した人権教育ニュースを発行し、教職員の資質向上に努める。 (2回 2,000部×2=4,000部 費用76千円)	人権教育に関する各種情報を掲載した人権教育ニュースを発行し、教職員の資質向上に努めた。 (2回 2,000部×2=4,000部 費用76千円)	0	各学校等に電子データを提供、啓 発の成果が得られたため。
④啓発用品の作 成、配布	1 各種啓発用品作成・配 布	人権標語入り啓発用品の 作成・配布	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	啓発用品作成、配布事業	人権政策・男女共同 参画課	人権啓発品を作製し、市内公共施設等で配布し、啓発に努める。 ・人権相談ダイヤル入りボールペン	人権啓発品を作製し、市内公共施設等で配布し、啓発に努めた。 ・人権相談ダイヤル等入りボールペン(3,000本 費用 295千円)	0	予定数の作製・配布を行い、啓発 の効果を得られたため。
④啓発用品の作 成、配布	1 各種啓発用品作成・配 布	人権標語入り啓発用品の 作成・配布	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	啓発用品作成、配布事業	人権教育推進室	市立小・中・中等教育学校児童生徒から募集した人権標語の中から最優秀作品を啓 発用品に印刷して作成・配布し、人権啓発に努める。	市立小・中・中等教育学校児童生徒から募集した人権標語の中から最優秀作品を啓発用品に印刷して作成・配布して、人権啓発に努めた。 (クリアファイル 108,000部 費用 2,103千円) (短冊 小 5,100部 中 1,350部 費用 66千円)	0	予定数の作成・配布を行い、啓発 の効果を得られたため。
④啓発用品の作 成、配布	2 ノーマライゼーション 啓発用品の作成・配布	ノーマライゼーション条 例及びその理念の普及啓 発		ノーマライゼーション条 例啓発品の作製・配布	障害政策課	誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例 (ノーマライゼーション条例) の周知啓発を目的として、条例啓発グッズを作成する。 また、外見からは分からなくても支援を必要としていることを周りの人に示すためのマークであるヘルブマークを配布する予定。	外見からは分からなくても支援を必要としていることを周りの人に示すためのマークであるヘルプマークを5,685個配布した。また、各種イベントでヘルプマーク缶バッジの作成・配布を行った。	0	予定通り実施することができたた め。

(**施策の分類 4) 視聴覚教材等の整備** 多くの人々が集まる講演会・研修会・セミナーなどにおいては、同じ情報を同時に多数の人が共有できる啓発ビデオや啓発映画フィルムなどの視聴覚教材を活用することは、感性に訴える大変効果的な手段の一つです。 このようなことから、視聴覚教材等の体系的な整備、啓発機材、図書等の充実のため各種事業を実施しました。

		実施計画掲載内容			令和6年度実施							
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由			
①視聴覚教材等の 体系的な整備	1 啓発機器・ビデオ等の 充実	人権教育・啓発ビデオ/ DVD等の充実・貸出し	人惟以東・男女共问奓幽誄・人惟叙肖推	啓発ビデオ等の収集 (人権政策・男女共同参画 課)	人権政策・男女共同 参画課	各種人権問題の啓発ビデオ等を収集し、講演会・研修会等で活用する。	オンライン開催とした講演会及び研修会において、HP上の資料掲示及び動画内の 資料掲示等を行ったため、ビデオ等の活用は実施せず。	×	オンライン開催とした講演会及び 研修会において、HP上の資料掲 示及び動画内の資料掲示等によ り、ビデオによる啓発効果と同等 の効果が得られたと考えている。			
①視聴覚教材等の 体系的な整備	1 啓発機器・ビデオ等の 充実	人権教育・啓発ビデオ/ DVD等の充実・貸出し	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	啓発ビデオ等の収集・貸 出し	人権教育推進室	各種の人権問題解決に向けての啓発ビデオ/DVDを購入し、講演会・研修会等において活用するとともに、学校や会社等へ貸出しに努める。	各種の人権問題解決に向けての啓発ビデオ/DVDを購入し、講演会·研修会等において活用するとともに、学校や会社等へ貸出しに努めた。 ・貸出し数 延べ62本(学校62本)	0	一定の効果が得られたため。			
②啓発機材、図書 等の充実	1 各種啓発図書等の充 実・貸出し		人権政策・男女共同参画課・中央図書館 資料サービス課・教育研究所	啓発図書の収集 (人権政策・男女共同参画 課)	人権政策・男女共同 参画課	様々な人権問題に関する啓発図書を収集し、その活用に努める。	様々な人権問題に関する啓発図書を収集し、その活用を行った。	0	啓発図書を収集し、活用できたた め。			
③啓発機材、図書 等の充実	1 各種啓発図書等の充 実・貸出し	啓発図書等の充実・貸出 し	人権政策・男女共同参画課・中央図書館 資料サービス課・教育研究所	啓発図書等の収集・貸出 し		市内25図書館において、人権問題に関する各種図書・雑誌を収集し、貸出し・閲覧 サービスを行う。	市内25図書館において、人権問題に関する各種図書・雑誌を収集し、貸出し・閲覧 サービスを行った。	0	啓発図書等の新規購入・受入を し、貸出をすることができたた め。			

(**施策の分類 5) 情報の提供** 人は様々な情報の中で暮らしていますが、身近な地域社会に関する情報は必ずしも十分とはいえない状況です。市民にとって関心のある学習機会の情報については、いつでもどこでも簡単に得られるようにすることで、効果的な学習活動の推進に資する必要があります。 そのため、多様な広報媒体による啓発活動の充実、情報機能の充実の方向で積極的に事業を実施しました。

		実施計画掲載内容				令和6年	F度実施		
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
①多様な広報媒体 による啓発活動の 充実	1 「市報さいたま」への 啓発記事掲載	人権啓発記事の掲載	主管課(広報課)	「市報さいたま」への啓 発記事掲載	広報課	「市報さいたま」に啓発記事を掲載する。また、毎月英語ページを掲載し、外国人への情報提供をするほか、視覚障害者などへの情報提供のため点字版広報及びデイジー・テープ版広報を作成する。 (令和6年度予算 市報さいたま企画編集業務費	人権啓発に関する情報を全ての市民に浸透させるため、全戸配布している広報紙 「市報さいたま」に啓発記事を掲載した。また、毎月英語ページを掲載し、外国人 への情報提供をしたほか、視覚障害者などへの情報提供のため点字版広報及びデイ ジー・テーブ版広報を作成した。 (市報さいたま企画編集業務費用 23,430千 円、点字及びデイジー・テープ版費用 6,797千円)	0	適切に実施した。
①多様な広報媒体 による啓発活動の 充実	2 インターネットの活用	広報活動	主管課(広報課)	各種広報活動の充実		ジの外国語(英・中・韓国語)自動翻訳機能により、多言語での情報発信を行う。	市テレビ広報番組で情報を提供する際に手話通訳を実施した。また、市ホームページの外国語(英・中・韓国語)自動翻訳機能により、多言語での情報発信を行った。(自動翻訳機能費用 1,320千円)	0	適切に実施した。
①多様な広報媒体 による啓発活動の 充実	3 テレビ広報番組の活用 (テレビ埼玉)	広報活動	主管課(広報課)	各種広報活動の充実		ジの外国語(英・中・韓国語)自動翻訳機能により、多言語での情報発信を行う。	市テレビ広報番組で情報を提供する際に手話通訳を実施した。また、市ホームページの外国語(英・中・韓国語)自動翻訳機能により、多言語での情報発信を行った。(自動翻訳機能費用 1,320千円)	0	適切に実施した。
①多様な広報媒体 による啓発活動の 充実	4 多様な広報媒体の活用	各種広報媒体における人 権啓発		各種広報媒体における人 権啓発			市報やHPでの人権啓発記事の掲載に加え、人権啓発講演会や企業等人権問題研修 会等をオンラインで開催するなど、各種媒体を活用し広く人権啓発を行った。		様々な媒体を活用し広く人権啓発を行ったため。
②情報機能の充実	1 図書資料等の充実・提 共	啓発図書等の充実・貸出 し	中央図書館資料サービス課	啓発図書等の収集・貸出 し		市内25図書館において、人権問題に関する各種図書・雑誌を収集し、貸出し・閲覧 サービスを行う。	市内25図書館において、人権問題に関する各種図書・雑誌を収集し、貸出し・閲覧 サービスを行った。	0	啓発図書等の新規購入・受入を し、貸出をすることができたた め。

(施策の分類 6) 人材の育成 人権思想を広く市民の間に普及させ人権尊重の社会を実現するには、日常生活において市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題として捉える人権意識を根付かせることができるよう、人権に関する体系的な研修の実施が必要です。そのような研修の企画・立案・実施を可能にするには、専門知識を持った指導者の育成が必要です。 が必要です。 そのために、人材の育成、市民参画促進に向けた事業を実施しました。

		実施計画掲載内容				令和6年	F度実施		
施策の方向	具 体 的 施 策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
①人材の育成	1 各種人権問題指導者養 成講座等の充実	公民館における人権・同 和問題の理解を図る講座	人権教育推進室	公民館における人権・同 和問題の理解を図る講座	人権教育推進室	市民の人権意識の高揚を図るため、人権教育推進室予算で公民館主催事業として、 各館が人権に関する内容で講座を開催する。 (内容:障害者・男女差別・LGBT・子どもの人権等)	市民の人権意識の高揚を図るため、人権教育推進室予算で公民館主催事業として、 各館が人権に関する内容で講座を開催した。 (内容:障害者・女性・子どもの人権等) ・生涯学習総合センター及び59館の公民館で開催(参加者1,895人 費用600千円)	0	講座の実施により、一定の効果が 得られたため。
①人材の育成	2 各分野の専門指導者と の交流の促進	専門指導者との交流の充 実	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	各種人権問題に対する研 修の充実	人権政策・男女共同 参画課 人権教育推進室	テーマに自己学習を実施し、様々な人権問題に対する心構えや、今後の対策を学ぶことにより、人権意識の向上を図る。また、人権問題についての正しい知識を習得し、理解することによって、人権問題の早期解決に寄与する。	各課(所)の所属長から推薦された職員を主な対象に、「様々な人権問題について」をテーマに自己学習を実施し、様々な人権問題に対する心構えや、今後の対策を学ぶことにより、人権意識の向上を図った。また、人権問題についての正しい知識の習得、理解を促すことによって、人権問題の早期解決に寄与した。受講者 775名 費用 0千円 さらに、人権擁護委員を対象とした研修会を実施し、講師との交流を図った。	0	人権問題に関する専門指導者との 交流を充実させることができたた め。
①人材の育成	3 認知症サポーター養成 講座の開催	認知症サポーター養成事業	いきいき長寿推進課	認知症サポーター養成事業	いきいき長寿推進課	認知症サポーター養成講座の開催 認知症の人とその家族が地域の中でその人らしく安心して暮らせるよう、地域住民 の認知症の理解促進による地域での支えあいの活性化を目的に認知症サポーター養 成講座を実施する。	認知症サポーター養成講座の開催 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるため、認知症を正しく理解 し、認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」の養成を行う認知症サポー ター養成講座を実施した。 令和6年度養成数 認知症サポーター:6,805人	Δ	新型コロナウィルスの5類移行後 も、講座の実施主体である企業・ 団体の講座開催控えが続いてお り、認知症サポーター養成数が当 初の予定を下回ったため。
②市民参画促進	1 市民との連携の推進	事業検討会議の開催	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	事業検討会議の開催	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	男女共同参画推進センター事業充実を図るため、事業検討会議委員を利用者等各方面から募り、事業検討会議をオンライン・書面で開催する。 ・実施回数2回 ・事業検討会議委員数 7人	男女共同参画推進センター事業充実を図るため、事業検討会議委員を利用者等各方面から募り、事業検討会議をオンライン・書面で開催した。 ・実施回数2回 ・事業検討会議委員数10人	0	予定通り会議を実施し、市民参画 により事業内容の検討をすること ができたため。
②市民参画促進	1 市民との連携の推進	男女共同参画推進セン ター広報誌の発行	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画推進センター)	男女共同参画推進センター広報誌の発行	参画課 [男女共同参	の音」 年2回発行。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行	男女共同参画推進センター事業を紹介する、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」を年2回発行した。作成にあたり、公募による編集員で構成された編集員会議を行った。男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」と合わせて発行、市の公共施設等配布、ホームページに掲載した。(延べ84,000部、2,126千円)	0	編集員会議を経て、予定通り広報 誌を発行、公共施設等への配布及 びホームページでの公開を実施す ることで、事業等の周知を行うこ とができたため。
②市民参画促進	2 市民と直接意見交換を 行う場の設置	誰もが共に暮らすための 市民会議の開催	障害政策課	誰もが共に暮らすための 市民会議の開催	障害政策課	誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例(ノーマライゼーション条例)に基づき、障害者施策について市民が意見交換を行う「誰もが共に暮らすための市民会議」を設置している。令和5年度は、会場開催と書面開催を併用する形で3回実施する予定。当会議で出た意見については、意見を取りまとめの上、障害者政策委員会に報告を行う。	障害者施策の実施状況や課題等について、市民が相互に意見交換する場として、令和6年6月、12月、令和7年2月の3回にわたり市民会議を開催した。全ての回において、会場開催と書面開催を併催して実施した。開催に当たっては、実施時間や場所を開催回ごとに変える、新たに市民の声モニターの方に参加募集の案内を送るなど様々な方に参加いただけるよう工夫した。今年度は、主に災害時の合理的配慮について意見交換を重ね、障害のある方の災害時の心配事などの課題や必要とされる合理的配慮を把握することができた。 【(参考)話し合いテーマ】 第1回: ・令和5年度障害者総合支援計画の達成状況等について・災害時の合理的配慮について第2回: ・新庁舎の整備について・遊難所レイアウトについて第3回: ・遊難所レイアウト図について・災害時の合理的配慮について・災害時の合理的配慮について・災害時の合理的配慮について・災害時の合理的配慮について・次期障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査(案)について	0	予定通り実施することができたた め。

(施策の分類 7) イベントの開催 人権文化を構築していくには人権意識に根ざした学習を継続的・体系的に進めるとともに、具体的な啓発活動として欠かすことのできない研修会・セミナー・講演会・パネル展等の各種イベントを開催するなど、一人ひとりが様々な人権問題についての理解を深めていくことが大切です。また、各種人権問題を考えていく上では多くの人々との交流を深めながら、相互理解を図ってお互いの人権を尊重する意識を醸成することが大切です。 このようなことから、人権問題の研修会・講演会等を開催するほか、交流・ふれあいを深めて意見交換ができる場であるパートナーシップさいたまフェスタやふれあいスポーツ大会の開催に努めました。

		実施計画掲載内容		令和6年度実施					
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
①多様なイベントの開催	1 講演会、パネルディス カッション、シンポジウム 等の開催	人権啓発講演会	人権政策・男女共同参画課	人権啓発講演会及び人権 作文・標語表彰式	人権政策・男女共同 参画課 人権教育推進室	市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行う。 ・オンライン開催(令和6年12月~令和7年1月ごろ 講演動画配信等)	市、市教育委員会及び市PTA協議会の共催により、人権啓発講演会を開催し、人権問題の理解や人権意識の高揚を図るための講演と学校教育活動で児童生徒から募集する人権標語・人権作文の最優秀作品の紹介を行った。 ・オンライン開催(令和6年12月4日~令和7年1月7日 講演動画配信等) ・講演動画視聴数476件、HP閲覧数1,136件 ・参加者の人権問題への理解度97.3%	0	人権啓発講演会を開催し、総合振 興計画実施計画に掲げる目標であ る参加者の人権問題への理解度 90%を大きく超えて達成したた め。
①多様なイベントの開催	1 講演会、パネルディス カッション、シンポジウム 等の開催	パートナーシップさいた まフェスタの開催	人権政策・男女共同参画課(男女共同参画推進センター)	パートナーシップさいた まフェスタの開催	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画推進センター]	市と市民・団体・事業者等との有機的ネットワーク醸成の場として、「第3回パートナーシップさいたまフェスタ」をオンライン開催する。その中で、基調講演動画配信や、オンライン講座のプレイパック配信、連携団体の発表、男女共同参画施策の紹介等を実施し、市民に対し男女共同参画の啓発を行う。あわせて、各団体が情報交換等の交流を行うことにより、男女共同参画等の人権意識を醸成する。・開催日 令和6年1月17日(水)~2月16日(金)	市と市民・団体・事業者等との有機的ネットワーク醸成の場として、「第4回パートナーシップさいたまフェスタ」をオンラインと会場(男女共同参画推進センター)で開催した。その中で、基調講演動画配信や、オンライン講座のプレイバック配信、連携団体の発表、男女共同参画施策の紹介等を実施し、市民に対し男女共同参画の啓発を行った。あわせて、各団体が情報交換等の交流を行うことにより、男女共同参画等の人権意識を醸成した。 ・開催日 令和7年1月17日(金)~2月16日(日)	0	予定通り実施した結果、396名の参加があった。参加者アンケートでの「満足・概ね満足」が100%となったことから、男女共同参画等の人権意識を醸成することができたため。
①多様なイベント の開催	1 講演会、パネルディス カッション、シンポジウム 等の開催	はぁといきいきプロジェ クト	精神保健課	はぁといきいきプロジェ クト	精神保健課	【はあといきいきプロジェクト】 市民対象に精神保健福祉に対する知識の普及啓発を行う。目的は市民のメンタルへ ルスに対する関心の向上、潜在的なニーズのある市民が相談・支援につながる契機 とする。また、精神障害者が住みやすい地域づくり、自立と社会参加の促進を図る 事業を開催予定。	【はあといきいきプロジェクト】 市民対象に精神保健福祉に対する知識の普及啓発を行う。目的は市民のメンタルへルスに対する関心の向上、潜在的なニーズのある市民が相談・支援につながる契機とする。また、精神障害者が住みやすい地域づくり、自立と社会参加の促進を図る。 令和6年度は「気になる若者のこころと向き合う~関わり方のヒントを探ろう~」というテーマで講演会を開催し、青年期のこころのメカニズムと対応方法についての正しい知識の普及、理解促進を図った。また、「今日から始めるはじめてのアンガーマネジメント」と題し、怒りのセルフコントロールのためスキルを啓発するため講演会を実施した。	0	講演会参加のアンケート結果から 満足度が96%であり概ね予定通り の普及啓発効果が得られたと評価 した。
①多様なイベント の開催	2 フェスティバル・文化 祭等市民交流事業	国際友好フェア・国際 ふれあいフェア・スピーチ 大会開催	観光国際課	フェスティバル・文化祭 等市民交流事業		【国際友好フェア】(さいたま観光国際協会補助事業)地域住民と在住外国人等による各種展示、発表等を通じて、市民レベルにおける相互理解や、友好親善を図り、お互いが住みよい地域づくりを促進するため、「国際友好フェア」を見沼グリーンセンターで開催する。 【国際ふれあいフェア】(さいたま観光国際協会補助事業)浦和駅東ロ駅前という立地を活かし、商業施設、近隣商店会及び自治会等と連携し、賑わいを創出することで、異文化交流、多文化共生社会の推進及び外国人市民と地域住民の友好促進を図るため、「国際ふれあいフェア」を開催する。 【外国人による日本語スピーチ大会】(さいたま観光国際協会補助事業)市内在住、在勤、在学の外国人が日頃の生活、通学や勤務を通して感じたことや考えていることなど意見を発表する場として開催する。	【国際友好フェア】(さいたま観光国際協会補助事業)地域住民と在住外国人等による各種展示、発表等を通じて、市民レベルにおける相互理解や、友好親善を図り、お互いが住みよい地域づくりを促進するため、「国際友好フェア」を見沼グリーンセンターで開催した。参加団体39(26の国と地域)、ステージ発表団体19、来場者約50,000人であった。 【国際ふれあいフェア】(さいたま観光国際協会補助事業)浦和駅東ロ駅前という立地を活かし、商業施設、近隣商店会及び自治会等と連携し、賑わいを創出することで、異文化交流、多文化共生社会の推進及び外国人市民と地域住民の友好促進を図るため、「国際ふれあいフェア」を開催した。参加団体24(17の国と地域)、ステージ発表団体11、来場者約6,500人であった。 【外国人による日本語スピーチ大会】(さいたま観光国際協会補助事業)市内在住、在勤、在学の外国人が日頃の生活、通学や勤務を通して感じたことや考えていることなど意見を発表する場として開催した。発表者10人、来場者約200人であった。	0	全てのイベントにおいて、予定通 り開催することができたため。
①多様なイベントの開催	2 フェスティバル・文化 祭等市民交流事業	ふれあいスポーツ大会	障害政策課	ふれあいスポーツ大会	障害政策課	事業廃止	_	×	事業を廃止としたため。
①多様なイベントの開催	3 高齡者関係事業	シニアユニバーシティの 開校	高齢福祉課	シニアユニバーシティの 開校	高齢福祉課	高齢者の方に生涯学習の一環として、社会変化に対応する能力と心身の健康を培い、また、積極的な社会参加と学生間の親睦と交流を図ることにより生きがいを高めることを目的にさいたま市シニアユニバーシティを開校する。	高齢者の方に生涯学習の一環として、社会変化に対応する能力と心身の健康を培い、また、積極的な社会参加と学生間の親睦と交流を図ることにより生きがいを高めることを目的にさいたま市シニアユニパーシティを開催した。令和6年度卒業者 770人 大学 北浦和校91人 浦和校105人 中央校49人 大宮校87人 北大宮校53人 岩槻校 48人 大学院 北浦和校60人 浦和校56人 中央校27人 大宮校54人 北大宮校29人 岩槻校38人 福祉専修科27人 音楽専修科29人 ICT専修科17人 【費用】 事業費総額 20,759千円	0	講座内容について「とても満足」「満足」と回答した参加者の割合が94%であり、総合振興計画実施計画に掲げる目標を達成したため。(目標:94%)
①多様なイベントの開催	3 高齢者関係事業	介護の日フォーラム	介護保険課	高齡者関係事業	介護保険課	【「介護の日」フォーラム】 介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護を 行っている家族等を支援することを目的に、共催8団体と「介護の日」フォーラムを 開催し、パネルディスカッションによる介護の啓発を実施する。	啓発方法を見直し、介護事業者から働き甲斐についての応募を募り、「介護の仕事のいいトコロ」として市ホームページへ掲載することとしたため、「介護の日」フォーラムは開催しなかった。	×	啓発の方法の見直しにより、「介 護の日」フォーラムを開催しな かったため。
①多様なイベントの開催	4 パネル展の開催	人権パネル展	人権政策・男女共同参画課・人権教育推 進室	拉致問題パネル展	人権教育推進室	拉致問題と人権標語パネル展を開催する。	拉致問題と人権標語パネル展を開催した。 ・会場 プラザウェスト (桜区)	0	予定どおりに開催したため。
	5 ノーマライゼーション 普及啓発事業の開催	「障害者週間」市民のつどい	障害政策課	「障害者週間」市民のつ どいの開催	障害政策課	障害のある人もない人も共に生き、支え合う社会を実現していくために、市民の障害者への理解と関心を深めるとともに、障害者の社会参加の促進を図ることを目的に「障害者週間」市民のつどいを開催する。	令和6年12月7日 (土) にプラザノースおよびその周辺施設において、「『障害者週間』市民のつどい」を開催し、参加者数2、494人となった。稲川淳二氏による講演、市内の障害者団体や障害福祉サービス事業所等と連携し、障害について理解を深めるブース、ダンスや演奏などのステージ発表、パラスポーツ体験など、より多くの方に来場していただくために実施内容の充実を図った。	0	予定通り実施することができたた め。
	5 ノーマライゼーション 普及啓発事業の開催	ノーマライゼーション カップ	障害政策課	ノーマライゼーション カップの開催	障害政策課	ノーマライゼーション条例とその理念を広く周知啓発することを目的として、ブラインドサッカーの親善試合を開催予定。	ノーマライゼーションカップは、女子日本代表チームと女子インド代表チームによるブラインドサッカー国際親善試合を実施し、参加者数は1,433人となった。付随イベントとして、ブラインドサッカー体験教室や障害者スポーツ教室を実施し、障害のある人もない人も楽しく参加できるイベントとなるよう工夫した。イベント周知の際には、記者への情報提供やSNSへの掲載等を行い、マスメディアやSNSを通じた条例の普及啓発に務めた。	0	予定通り実施することができたた め。

[基本的課題 ⑤] 様々な人権問題に対する相談システムの充実 今日の社会環境の変化を反映し、人権問題はますます複雑化してきており、これらの様々な人権相談に適切に対応する必要があります。このため、各種関係機関との緊密な連携を図りながら、それぞれの分野における様々な人権相談体制を充実することが重要です。

(**施策の分類 1) 相談事業の充実** 市民生活に関する人権の相談については、社会環境の変化を反映してますます複雑・多様化する状況にありますが、適切、迅速な対応を図るとともに、相談を必要としている人々のプライバシーの保護に十分配慮したきめこまかな相談ができるよう、その体制整備を充実させる必要があります。 このようなことから、各種人権問題などの相談に携わる人権擁護委員等との連携を更に深め、人権擁護活動を効果的に支援しながら、様々な分野における相談が充実するよう、各種の人権問題に対する相談事業の充実に努めました。

	実施計画掲載内容								
施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	1 人権相談	各種人権問題に関わる相 談事業	人権政策・男女共同参画課	人権相談	人権政策・男女共同 参画課	市民の日常生活における様々な悩みや不安等の問題について本市の人権擁護委員が 定期的に相談日を定めて相談を受け、相談者の身になって適切な助言や指導等を行 い、自主的な問題解決の援助に努める。	市民の日常生活における様々な悩みや不安等の問題について本市の人権擁護委員が 定期的に相談日を定めて相談を受け、相談者の身になって適切な助言や指導等を行 い、自主的な問題解決の援助を行った。 ・令和6年度相談実績 20件	0	人権相談を通じた人権擁護活動を 円滑に実施した。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	2 生活相談	隣保館での相談	人権政策・男女共同参画課(隣保館)	生活相談	人権政策・男女共同 参画課 [三つ和会 館]	地域住民の日常における生活上の様々な相談等に対し、適切に助言を行う。	地域住民の日常における生活上の様々な相談等に対し、適切に助言を行った。	0	日常の様々な相談に適切に対応できたため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	3 法律相談・登記・税 務・行政等	市民相談	市民生活安全課(区・くらし応援室)	法律・登記・税務・行政 相談等	市民生活安全課	各区くらし応援室において、市民の様々な問題に対し、専門相談員による相談を実施し、適切な助言・回答を行う。 (相談種別) ・法律相談(民事一般) ・法律相談(多重債務) ・税務相談 ・借地・借家相談 ・司法書上登記法律相談 ・土地家屋調査士登記相談 ・工地家屋調査士登記相談 ・大政書士相続遺言等相談 ・社会保険労務士年金等相談 ・行政相談	各区くらし応援室において、市民の様々な問題に対し、専門相談員による相談を実施し、適切な助言・回答を行った。 (令和6年度 相談件数) ・法律相談(民事一般) 2,765件 ・法律相談(多重債務) 130件 ・洗律相談 167件 ・借地・借家相談 84件 ・司法書士登記法律相談 603件 ・土地家屋調査士登記相談 71件 ・行政書士相続遺言等相談 227件 ・社会保険労務士年金等相談 90件 ・行政相談 12件	0	アンケート回収数3,297件に対し、「参考になった」又は「ある 程度参考になった」と回答した割合が約98%(3,232件)であったことから、一定の効果は得られたと考えられるため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	4 女性相談・DV相談	女性相談・DV相談	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画相談室)	女性のDV相談・女性相 談	参画課 [男女共同参	女性が直面する様々な悩みに関して、専門の女性相談員が相談に応じることにより、自立に向けて支援を行う。 ① 女性の悩み相談 ② 法律相談 ③ 心の健康相談	女性が直面する様々な悩みに関して、専門の女性相談員が相談に応じることにより、自立に向けて支援を行った。 ① 女性の悩み相談 7,697件(うちDV1,451件) ② 法律相談 152件 ③ 心の健康相談 21件	0	予定通り、女性相談・DV相談を 実施したため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	5 男性相談	男性相談	人権政策・男女共同参画課(男女共同参 画相談室)	男性相談	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画相談室]	男性が直面する様々な悩みに関して、専門の男性相談員(公認心理師等)が相談に応じることにより、自己解決に向けて支援を行う。	男性が直面する様々な悩みに関して、専門の男性相談員が相談に応じることにより、自己解決に向けて支援を行った。 ・男性の悩み電話相談 99件 ・法律相談 21件	0	予定通り、男性相談を実施したた め。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	6 子どもに関する権利救 済相談	家庭児童相談室	子ども家庭総合センター総務課	家庭児童相談室	子ども家庭支援課	家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上を図るため、10区の各支援課内に家庭児童相談室を設置し、性格・生活習慣・言語・発達・学校生活・非行・児童虐待等について相談指導を行う。	家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上を図るため、10区の各支援課内に家庭児童相談室を設置し、性格・生活習慣・言語・発達・学校生活・非行・児童虐待等について相談指導を行った。	0	相談指導を実施することで家庭児 童福祉が向上したため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	6 子どもに関する権利救 済相談	児童相談	北部・南部児童相談所	児童虐待相談	北部児童相談所 南部児童相談所	18歳未満の児童を対象に、虐待が疑われる事案について、調査を行い、安全に生活することができないと認められる場合には一時保護や施設への入所を行う。	18歳未満の児童を対象に、虐待が疑われる事案について、調査を行い、安全に生活することができないと認められる場合には一時保護や施設への入所を行った。 (虐待対応件数) 2,732件 (虐待による一時保護児童数) 351件 (虐待による施設入所児童数) 24件	0	概ね想定どおりに実施することが できたため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	7 育児相談の充実	育児相談	各区保健センター	育児相談	各区保健センター 母子保健課	乳幼児とその保護者を対象に、子育てなどに関しての不安の解消や子どもの健全な 発育・発達を促す。	乳幼児とその保護者を対象に、子育てなどに関しての不安の解消や子どもの健全な 発育・発達を促した。 (実施場所) 10区保健センター 公民館等 (実施人数) 4,872人 (実施効果) 保護者の不安が軽減できた。	0	概ね予定どおり行ったため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	8 心身障害者及び高齢者 に関する相談	成年後見人制度	高齢福祉課・障害支援課	成年後見制度利用支援事 業の実施	高齢福祉課	判断能力が低下した認知症等高齢者について、身寄りがないなどの理由により申立 人となる者がいない場合に、市長による後見開始等の申し立てを行う。 また、後見等が開始されたが後見報酬等の支払えない被後見人等に対して、報酬の 助成を行う。	成年後見制度 判断能力が低下した認知症高齢者について、身寄りがいないなどで申立人となる者 がいない場合に、市長による後見開始等の申立てを行った。 また、後見等が開始されたが後見報酬等が支払えない被後見人等に対して、報酬の 助成を行った。 ・市長申立 件数 69件 費用 1,113千円 ・報酬助成 件数 191件 費用 38,352千円	0	申立て及び報酬助成により、一定 の効果が得られたと考えられるた め。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	8 心身障害者及び高齢者 に関する相談	成年後見人制度	高齢福祉課・障害支援課	成年後見制度利用支援	障害福祉課	判断能力が不十分な知的・精神障害者について、身寄りがないなどで申立人となる者がいない場合に、市長による後見開始等の申し立てを行う。 また、後見等が開始されたが後見報酬等の支払えない被後見人等に対して、報酬の助成を行う。	判断能力が不十分な知的・精神障害者について、身寄りがないなどで申立人となる者がいない場合に、市長による後見開始等の申し立てを行った。また、後見等が開始されたが後見報酬等の支払えない被後見人等に対して、報酬の助成を行った。 ・市長による審判請求 10件 ・報酬助成 85件	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	8 心身障害者及び高齢者 に関する相談	障害者生活支援センター の運営	障害支援課	障害者生活支援センター の運営	障害福祉課	活支援センターを10区15箇所に設置し、各区支援課や福祉事務所、医療機関等の関係機関と連携の上、障害福祉サービスの利用援助等障害者の生活全般にわたった支	障害者本人や家族からの様々な相談に対応できる身近な相談機関として、障害者生活支援センターを10区15箇所に設置し、各区支援課や福祉事務所、医療機関等の関係機関と連携の上、障害福祉サービスの利用援助等障害者の生活全般にわたった支援を行った。うち8箇所は市内のセンターの拠点として各センター間の連絡調整等を行う基幹相談支援センターに指定している。加えて、障害者の権利擁護に関する支援を行うため、障害者差別及び虐待事案に対応する権利擁護支援員を10区全区に配置した。(費用 357,629千円)	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	8 心身障害者及び高齢者 に関する相談	高齡者相談員制度	高齢福祉課	高齢者に関する相談	高齢福祉課	高齢者福祉に関する様々な問題に関して、高齢者相談員が高齢者本人又はその家族 等の相談に応じ、必要な指導及び助言等を行う。 (相談員10名)	高齢者福祉に関する様々な問題に関して、高齢者相談員が高齢者本人又はその家族 等の相談に応じ、必要な指導及び助言等を行った。 (相談員10名)	0	高齢者相談員が相談に応じ、助言 を行ったことから、一定の効果が 得られたと考えられるため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	8 心身障害者及び高齢者 に関する相談	介護保険相談員制度	介護保険課	心身・知的障害者及び高 齢者に関する相談	介護保険課	介護保険相談員制度 介護保険に関する様々な問題に関して、介護保険相談員が被保険者本人又はその家 族等の相談に応じ、必要な指導及び助言等を行う。 (相談員 10名)	介護保険相談員制度 介護保険に関する様々な問題に関して、介護保険相談員が被保険者本人又はその家 族等の相談に応じ、必要な指導及び助言等を行った。 (相談員 10名)	0	介護保険に関する様々な問題に関して、介護保険相談員が被保険者 本人又はその家族等の相談に応 じ、必要な指導及び助言等を行! い、一定の効果は得られたと考 えられるため。

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関 係 各 課	令和6年度具体的事業	所管課	令和6年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	9 教育相談室の充実	教育・就学相談体制の充 実	総合教育相談室・特別支援教育室	教育・就学相談の充実	総合教育相談室 特別支援教育室	かわる様々な相談を受けるとともに、学習面や生活面で特別な教育的支援を必要と	市内に在住・在学する幼児から高校生及びその保護者を対象として、学校生活にかかわる様々な相談を受けるとともに、学習面や生活面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援方法を教職員に助言するなどして、児童生徒の健全育成を目指し実施した。	0	市内に在住・在学する幼児から高校生及びその保護者を対象として、学校生活にかかわる様々な相談を受けるとともに、支援方法を教職員に助言したため
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	10 在住外国人相談	多言語生活相談・外国人 生活相談	観光国際課・市民生活安全課(大宮区く らし応援室)	在住外国人相談 「外国人相談室・ぷらっ とサロン」	観光国際課	様々なアドバイスや情報提供を行い、在住外国人の生活支援を行う。 ・中国語:毎週火曜日 9時~12時 13時~15時 ・英語:毎週水曜日 9時~12時30分 13時~15時 ・韓国・朝鮮語:毎週木曜日 9時~12時 13時~15時 また、上記のCIRによる対応のほか、テレビ電話通訳サービスを活用し、15か国語での相談対応を行う。 【日本語支援事業】(さいたま観光国際協会補助事業) 在住外国人のための日本語教室(にほんごのへや)、市民ボランティアによる行政情報や生活情報を提供しつつ、生活に役立つ日本語学習を支援する。 ・浦和教室:3コース(午前保育付、子ども、夜一般) ・大宮教室:1コース(午前保育付) 【ぶらっとサロン】 ボランティアスタッフによるメッセージボードによる情報交換、サロン内の展示案	相談対応を行った。 【日本語支援事業】 (さいたま観光国際協会補助事業) 在住外国人のための日本語教室(にほんごのへや)、市民ボランティアによる行政情報や生活情報を提供しつつ、生活に役立つ日本語学習を支援した。 ・浦和教室:3コース(午前保育付) 【ぷらっとサロン】 ボランティアスタッフによるメッセージボードによる情報交換、サロン内の展示案	0	電話通訳サービスの活用について は課題が残るが、多言語生活相 該・外国人生活相談の相談実績か ら一定の効果が得られたと考える ため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	10 在住外国人相談	多言語生活相談・外国人 生活相談	観光国際課・市民生活安全課(大宮区く らし応援室)	外国人生活相談		活動する。 ・毎週月曜日~土曜日 9時~18時	内、来訪者への簡易相談など、外国人市民と日本人市民の交流を支援する場として活動した。 ・毎週月曜日~土曜日 9時~18時 大宮区くらし応援室において、在住外国人の様々な問題に対し、専門相談員による 相談を実施した。 ・外国人生活相談 59件 (令和6年度 相談件数)	0	さいたま市国籍別人口の上位4か 国(中国・ベトナム・フィリピ ン・韓国)の言語に対応する相談 事業を実施できたため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	11 保健相談の充実	精神保健相談の充実	精神保健課・各区保健センター	精神保健相談の充実	精神保健課 各区保健センター	精神的な健康について本人の状況及び家庭環境・社会環境について把握し、精神的な健康の保持増進のため精神保健に関する専門相談・指導を訪問、面接及び電話等により実施予定。	精神的な健康について本人の状況及び家庭環境・社会環境について把握し、精神的な健康の保持増進のため精神保健に関する専門相談・指導を訪問、面接及び電話等により実施した。 ・直接援助(電話) 実人数 1,213人、延人数 4,080人 ・直接援助(面接) 実人数 328人、延人数 615人 ・直接援助(訪問) 実人数 717人、延人数 1,779人 ・間接援助 実人数 522人、延人数 1,403人 ※直接援助:本人・家族からの相談。間接援助:個別援助の一環として、関係者からの相談。	0	相談内容に応じ、電話や面接、訪問等で支援が行えていることから 概ね予定通りと評価した。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	11 保健相談の充実	夜間・休日精神科救急医 療相談	健康增進課	保健相談の充実 休日夜間精神医療相談	保健衛生総務課	埼玉県と共同で実施している埼玉県精神科救急医療体制整備事業の一環として「埼玉県精神科救急情報センター」を設置運営し、夜間・休日の精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化などにより、早急に医療を必要とする精神障害者及び家族等の相談に応じ、適切な医療等の提供に努める。	埼玉県と共同で実施している埼玉県精神科救急医療体制整備事業の一環として「埼玉県精神科救急情報センター」を設置運営し、夜間・休日の精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化などにより、早急に医療を必要とする精神障害者及び家族等の相談に応じ、適切な医療等の提供に努めた。 ・精神科救急医療体制整備事業 (令和6年度当初予算:38,527千円)・令和6年度精神科救急電話件数 994件うち医療機関紹介件数 39件	0	実施予定どおりに運営を行い、精神科医療に関する相談に応じることができた。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	11 保健相談の充実	エイズ等相談・カウンセ リング体制の整備	疾病予防対策課	エイズ等相談・カウンセ リング体制の整備	感染症対策課	ズ相談・検査)を実施予定(HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎:無料)。 会場 さいたま市保健所 受験者 550人 大宮駅前JACK大宮内宇宙劇場集会室において、HIV即日検査・相談業務を委託により実施。また同性愛者や若者等のハイリスクグループが集う商業施設において、HI佟査日程案内を含めた啓発を実施。 受検者 1,000人	新型コロナウイルス感染症の発生動向に応じて、特定感染症検査・相談事業(エイズ相談・検査)を実施。(HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎:無料)会場。さいたま市保健所実施回数 平日25回、休日2回受験者 約638人 大宮内宇宙劇場集会室において、HIV即日検査・相談業務を委託により実施。また同性愛者や若者等のハイリスクグループが集う商業施設において、HIV検査日程案内を含めた啓発を実施。受検者 905人費用 12,571千円(委託料) エイズに対する差別や偏見をなくすための普及啓発事業として、エイズ検査窓口にリーフレットを設置している。また、普及啓発のための物品を作成し、高校や大学等関係機関に配布した。・啓発用ウェットティッシュ 配布数 4,800個 配布数 300個 ・啓発用パンフレット 配布数 1,900枚 ・啓発用パンフレット 配布数 1,900枚 ・啓発用パスター 配布数 1,900枚 配布数 1,400極	0	概ね予定通り実施することが出来たため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	12 福祉相談	福祉相談体制の構築	生活福祉課	生活困窮者に関する相談	生活福祉課	・生活保護面接相談員の配置 各区福祉課に生活保護面接相談員を配置し、生活保護の面接相談に関し、迅速かつ 円滑な対応に努める。 ・福祉まるごと相談支援員の配置 各区福祉課に福祉まるごと相談支援員を配置し、住居確保給付金等の面接相談に関 し、迅速かつ円滑な対応に努める。 ・ホームレス和談員の配置 ホームレスへの自立支援を推進するにあたり、ホームレス相談員が、ホームレスの 起居場所への巡回相談を実施する事により現状を把握するとともに、具体的な対応 策の検討に努める。 ・「さいたま市第3期保健福祉総合計画(地域福祉計画)」によりホームレスに対 する自立支援を実施する。	・生活保護面接相談員の配置 各区福祉課に生活保護面接相談員を配置し、生活保護の面接相談に関し、迅速かつ 円滑な対応に努めた。 費用 面接相談事業 73,386千円 ・福祉まるごと相談支援員の配置 各区福祉課に福祉まるごと相談支援員を配置し、住居確保給付金等の面接相談に関し、迅速かつ円滑な対応に努めた。 新規相談件数 3,893件 ・ホームレス和談員の配置 ホームレスへの自立支援を推進するにあたり、ホームレス相談員が、ホームレスの起居場所への巡回相談を実施する事により現状を把握するとともに、具体的な対応策の検討に努めた。 費用 ホームレス対策事業 6,897千円 ・「さいたま市第3期保健福祉総合計画(地域福祉計画)」によりホームレスに対する自立支援を実施した。 ・巡回相談業務(全区・通年) ホームレス相談員による巡回相談及び実態把握の実施巡回延べ件数 279件 把握人数 30名	0	各相談員を適切に配置し、迅速か つ円滑な対応ができたため。

施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和6年度実施結果	自己評価	評価理由
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	13 交通事故相談	交通事故相談	市民生活安全課(大宮区くらし応援室)	交通事故相談		大宮区くらし応援室において、交通事故に遭われた方に対し、専門相談員による相談を実施し、助言・回答を行う。 ・交通事故相談	大宮区くらし応援室において、交通事故に遭われた方に対し、専門相談員による相談を実施した。 ・交通事故相談 83件 (令和6年度 相談件数)	0	令和5年度と同様に交通事故に遭われた方からの相談を受けるため、専門相談員を配置し、相談業務を継続実施することができたため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	14 子どもに関する総合相 数	総合相談事業		なんでも子ども相談窓口 なんでも若者相談窓口		相談に訪れた市民に対し適切な情報提供を行うとともに、専門相談機関をはじめと	相談に訪れた市民に対し適切な情報提供を行うとともに、専門相談機関をはじめとした関係機関へのコーディネートを行った。なんでも子ども相談窓口相談件数 4,976件、なんでも若者相談窓口相談件数 1,523件	0	予定のとおり実施し、一定の効果 があったと考えられるため。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	15 犯罪被害者相談	犯罪被害者等支援事業	市民生活安全課	犯罪被害者等支援事業			市民生活安全課において、犯罪に遭われた方に対し、相談員による相談を実施し、 助言や見舞金の支給等を行った。 ・犯罪被害者等相談 36件(令和6年度 相談件数) ・見舞金の支給 5件 ・法律相談 0件		犯罪被害にあわれた方に対し、関係機関の案内等を行うことができた。また、見舞金の申請があった方について、申請から1ヶ月以内の支給を行い、適切に給付を図ったことで、一定の効果は得られたと考える。
①各種の人権問題 に対する相談事業 の充実	16 各種人権相談窓口の周 印	各種人権相談窓口の周知	人権政策・男女共同参画課	各種人権相談窓口の周知			人権相談に関するHPに各種相談窓口についてのリンクを掲載したほか、人権啓発 冊子において相談窓口を周知した。		予定どおり各種人権相談窓口の周 知を図ったため。

(**施策の分類 2) 相談システムの充実** 市民の方々が抱えている悩み事などを気楽に相談できるよう、各種の相談に的確に対応できる人材の確保や、社会情勢の変化に対応するための様々な情報を共有できるよう、各種関係機関とのネットワーク化を図るなど、相談システムを充実させることが求められています。 その対応として、人材の確保、ネットワークの構築などにより相談システムの充実に努めました。

施策の方向	具体的施策	実施計画掲載内容 事業名	関係各課	令和6年度具体的事業		令和 6 年 令和 6 年度実施内容		自己評価	評価理由
一	一 共 14 的 施 束	争 耒 名	 	⊤和□年及共体的事業	所官誌	下和り平茂夫肥内谷	令和 6 年度実施結果	日乙評価	計1111111111111111111111111111111111111
①人材の確保	1 相談員の確保・相談体 制の充実	地域包括支援センターにおける相談	いきいき長寿推進課(区・高齢介護課)	地域包括支援センター運 営事業	いきいき長寿推進課	市内27の地域包括支援センターについて年末年始を除き毎日開所し、介護保険を含む高齢者相談の充実を図る。	市内27の地域包括支援センターについて年末年始を除き毎日開所し、介護保険を含む高齢者相談の充実に努めた。	0	予定通り開所し、高齢者相談の充 実を図れたため。
①人材の確保	1 相談員の確保・相談体 制の充実	24時間子どもSOS窓口 及びさいたま市SNSを 活用した相談窓口の設置	総合教育相談室	24時間子どもSOS窓口及 びさいたま市SNSを活 用した相談窓口の実施	総合教育相談室	悩みや不安を抱える児童生徒や保護者が、子どもに関する相談全般について、いつでも相談できるよう、夜間・休日を含めた24時間の電話相談と、市立中・高等・中等教育学校の生徒を対象に、SNSを活用した相談を実施する。	悩みや不安を抱える児童生徒や保護者が、子どもに関する相談全般について、いつでも相談できるよう、夜間・休日を含めた24時間の電話相談と、市立中・高等・中等教育学校の生徒を対象に、SNSを活用した相談を実施した。	0	24時間子どもSOS窓口及びさいた ま市SNSを活用した相談窓口を利 用している人数が増加したため。
①人材の確保	2 スクールカウンセ ラー・スクールソーシャル ワーカー・さわやか相談員 の配置	スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワー カー・さわやか相談員の 配置	総合教育相談室	「スクールカウンセ ラー」「スクールソー シャルワーカー」「さわ やか相談員」の配置	総合教育相談室	全ての市立中学校・中等教育学校に「さわやか相談員」を配置するとともに、全ての市立学校に「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」を配置、派遣する。そのことにより、学校がチームを組んでいじめの問題や不登校等の相談に応じ、支援できる体制を整え、児童生徒が楽しく充実した学校生活を送ることができるように努める。	全ての市立中学校・中等教育学校に「さわやか相談員」を配置するとともに、全ての市立学校に「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」を配置、派遣した。そのことにより、学校がチームを組んでいじめの問題や不登校等の相談に応じ、支援できる体制を整え、児童生徒が楽しく充実した学校生活を送ることができるように努めた。	0	全ての中学校に「さわやか相談 員」、小学校に「スクールソー シャルワーカー」を配置し、多様 な問題を抱える児童生徒に寄り 添った相談体制を整えることがで きたため。
①人材の確保	3 人権相談の充実	人権擁護委員の確保	人権政策・男女共同参画課	人権相談の充実	人権政策・男女共同 参画課	人権問題に関する様々な相談に適切な助言・指導を行い、市民が快適な生活を送れるようにする人権擁護委員の果たす役割は極めて大きなものがある。このため、人権擁護委員との連携を深めながら人材の確保に努める。	人権擁護委員との連携を深めながら人材の確保に努めた。 令和6年度においては、4名の委員の交代に係り、適切な候補者を推薦することができ、人権相談等に支障が出ないようにすることができた。	0	人権擁護委員の減少を防ぎ、人権 相談の充実につなげることができ た。
①人材の確保	4 外国人生活相談の充実	外国人生活相談の運営	観光国際課・市民生活安全課(大宮区くらし応援室)	外国人生活相談	市民生活安全課	大宮区くらし応援室において、在住外国人の様々な問題に対し、専門相談員による 相談を実施し、助言・回答を行う。	大宮区くらし応援室において、在住外国人の様々な問題に対し、専門相談員による相談を実施し、適切な助言・回答を行った。 ・外国人生活相談 59件 (令和6年度 相談件数)	0	さいたま市国籍別人口の上位4か 国(中国・ベトナム・フィリピン・韓国)の言語に対応する相談 員を配置することができたため。
②ネットワークの 構築	1 相談・支援ネットワークの整備	人権擁護委員協議会との 連携	人権政策・男女共同参画課	人権擁護委員活動の支援	人権政策・男女共同 参画課	法務局や人権擁護委員との連携を密に取り合いながら、人権相談や人権啓発などの 様々な人権擁護活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織 運営が円滑に行えるよう協議会や部会に対する助成を行う。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権啓発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	法務局や人権擁護委員との連携を密に取り合いながら、人権相談や人権啓発などの様々な人権擁護活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織運営が円滑に行えるよう協議会や部会に対する助成を行った。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権啓発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	0	人権擁護活動に人的な援助を行うとともに組織運営に対する助成を行うことで、人権相談及び人権啓発が円滑に行われたため。
②ネットワークの 構築	2 保護機関、NPO、ボ ランティアとの連携	民間運動団体との連携・ 協力	人権政策・男女共同参画課	自主的運動団体への助成		部落差別解消を目指す活動をしている民間運動団体が行う啓発事業・調査研究等の 内で、行政の啓発活動に効果的であると認められたものに対して支援を行う。	部落差別解消を目指す活動をしている民間運動団体が行う啓発事業・調査研究等の 内で、行政の啓発活動に効果的であると認められたものに対して支援を行った。	0	民間運動団体が行う各種活動に支援を行ったことで、行政の啓発活動にも効果が認められたため。
②ネットワークの 構築	3 高齢者・障害者・子育 て支援ネットワークの構築	高齢者の相談システムの 充実	高齢福祉課	高齢者の相談システムの 充実	高齢福祉課	各区役所において、高齢者相談員が高齢者本人又は家族等の相談に応じ、必要な指導や助言を行う。 (相談員10名)	各区役所において、高齢者相談員が高齢者本人又は家族等の相談に応じ、必要な指導や助言を行った。 (相談員10名)	0	高齢者相談員が相談に応じ、助言を行ったことから、一定の効果が得られたと考えられるため。
②ネットワークの 構築	3 高齢者・障害者・子育 て支援ネットワークの構築	障害者の相談システムの 充実	障害支援課	障害者の相談システムの 充実	障害福祉課	(施策目的) 障害者が自らサービスを選択し利用できるよう、地域で生活する障害者とその家族からの広範な相談を受け支援を行うため、各区に設置された障害者生活支援センターを中心に関係機関のネットワーク化を図りながら市内全域を視野に入れた相談システムの実現を図る。 (事業内容、費用) 障害者生活支援センター15か所の運営について、社会福祉法人等に対する委託により実施する。具体的には、全ての障害に対応できる障害者生活支援センターが7か所、知的・身体障害に対応できる障害者生活支援センターが4か所、精神障害に対応できる障害者生活支援センターが4か所、精神障害に対応できる障害者生活支援センターが4か所となっている。加えて、市内の各障害者生活支援センターの拠点となる基幹相談支援センター(6か所)の運営を委託する。費用は全体で357,634千円。	・施策目的 障害者が自らサービスを選択し利用できるよう、地域で生活する障害者とその家族 からの広範な相談を受け支援を行うため、各区に設置された障害者生活支援セン ターを中心に関係機関のネットワーク化を図りながら市内全域を視野に入れた相談 システムの実現を図る。 ・事業内容、費用 障害者生活支援センター15か所の運営について、社会福祉法人等に対する委託により実施した。具体的には、全ての障害に対応できる障害者生活支援センターが7か所、知的・身体障害に対応できる障害者生活支援センターが4か所、精神障害に対応できる障害者生活支援センターが4か所となっている。加えて、市内の各障害者生活支援センターの拠点となる基幹相談支援センター(8か所)の運営を委託した。費用は全体で357,629千円。 ・実施効果等 相談者の身近な場所で多様な相談ができ、福祉サービスの情報提供や紹介、調整等が迅速に行われている一方で、近年は権利擁護や地域移行・地域定着の支援等の新たなニーズが生まれており、各センターの相談支援機能の充実・強化が求められている。	0	概ね予定どおりに実施することが できたため。
②ネットワークの 構築	3 高齢者・障害者・子育 て支援ネットワークの構築		高齢福祉課	高齢・障害者権利擁護センターの運営	高齢福祉課	高齢・障害者権利擁護センターにおいて、高齢者や障害者に対する虐待などの権利 侵害事案のうち特に困難な事案について、関係機関に対し専門家による助言等を行う。	高齢・障害者権利擁護センターにおいて、高齢者や障害者に対する虐待などの権利 侵害事案のうち特に困難な事案について、関係機関に対し専門家による助言等を 行った。 (費用 29,122千円)	0	嘱託医及び嘱託弁護士に対し119件の相談が寄せられ、助言を行ったことから、一定の効果が得られたと考えられるため。
②ネットワークの 構築	3 高齢者・障害者・子育 て支援ネットワークの構築		子育で支援政策課	子育て支援ネットワーク の構築	子育て支援課	保健福祉関係者や機関、子育てに係る支援活動をしている市民団体等に対し、情報 共有を行う予定。	子育で支援ネットワーク会議を通じて、子育で支援の情報提供を実施した。	0	概ね予定どおりに取組を実施し、 想定どおりの一定の効果があった と考えられるため。
②ネットワークの 構築	3 高齢者・障害者・子育 て支援ネットワークの構築	要保護児童対策地域協議会	子ども家庭総合センター総務課	要保護児童対策地域協議会		児童虐待の予防から早期発見、早期対応、地域でのケアを適切に行うとともに、家族再統合が円滑に図られるよう、関係機関、関係団体、関係者がそれぞれの機能を十分に発揮し、連携しながら対応できるシステムの構築を図り、実効的な支援体制を確立するため、代表者会議及び各区において区会議、実務者会議、ケース検討会議を開催する。	児童虐待の予防から早期発見、早期対応、地域でのケアを適切に行うとともに、家族再統合が円滑に図られるよう、関係機関、関係団体、関係者がそれぞれの機能を十分に発揮し、連携しながら対応できるシステムの構築を図り、実効的な支援体制を確立するため、代表者会議及び各区において区会議、実務者会議、ケース検討会議を開催した。	0	関係機関、関係団体、関係者が連携して対応し、支援体制が構築できたため。

Ī	施策の方向	具体的施策	事 業 名	関係各課	令和6年度具体的事業	所管課	令和 6 年度実施内容	令和 6 年度実施結果	自己評価	評価理由
()		4 DV防止対策関係機関 連携	DV防止対策関係機関連 携会議の開催	人権政策・男女共同参画課 (男女共同参画相談室)	D V 防止対策関係機関連 携会議の開催	人権政策・男女共同 参画課 [男女共同参 画相談室]	民間、行政などの関係機関が密接な連携を図り、配偶者等からの暴力の予防から被害者の自立までにわたるサポート体制を、総合的に検討することにより、DVの根絶へ寄与することを目的とし、「さいたま市DV防止対策関係機関ネットワーク会	民間、行政などの関係機関が密接な連携を図り、配偶者等からの暴力の予防から被害者の自立までにわたるサポート体制を、総合的に検討することにより、DVの根絶へ寄与することを目的とし、「さいたま市DV防止対策関係機関ネットワーク会議(DV防止ネットワーク会議)」および、困難な問題を抱える女性への支援体制を総合的に検討することにより、女性が安心して暮らせる社会の実現に寄与することを目的とし、「さいたま市困難な問題を抱える女性支援関係機関ネットワーク会議(女性支援ネットワーク会議)」開催した。令和6年度 開催実績・DV防止ネットワーク会議 代表者会議 1回・女性支援ネットワーク会議 大表者会議 1回・カロトのサーク会議 実務者会議 2回・女性支援ネットワーク会議 実務者会議 2回・女性支援ネットワーク会議 実務者会議 2回		予定通り、DV防止対策関係機関 ネットワーク会議および女性支援 ネットワーク会議を実施したた め。
(②ネットワークの 青築	5 自主的活動への支援	法務局との連携・協力	人権政策・男女共同参画課	人権擁護活動への支援		法務局や人権擁護委員との連携を密に取り合いながら、人権相談や人権啓発などの様々な人権擁護活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織運営が円滑に行えるよう協議会や部会に対する助成を行う。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権容発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	法務局や人権擁護委員と密に連携しながら、人権相談などの人権擁護活動や各種人権啓発活動に対し人的な援助を積極的に行った。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権啓発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	0	人権擁護活動に人的な援助を行う とともに組織運営に対する助成を 行うことで、効果的な人権相談及 び人権啓発が行われたため。
(②ネットワークの 青築	5 自主的活動への支援	人権擁護委員協議会等へ 助成	人権政策・男女共同参画課	人権擁護活動への支援			人権擁護委員と密に連携しながら、人権相談などの人権擁護活動や各種人権啓発活動に対し人的な援助を積極的に行い、併せて人権擁護委員の組織運営が円滑に行えるよう協議会や部会に対する助成を行った。 ・市報・ホームページへ人権相談開設案内の掲載 ・人権啓発活動の支援 ・全国中学生人権作文コンテスト等の支援 ・人権相談の運営事務の支援	0	人権擁護活動に係る組織運営に対 する助成を行うことで、効果的な 人権相談及び人権啓発が行われた ため。

さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部設置要綱

(目 的)

- 第1条 「人権教育及び人権啓発」に係る施策について、関係部局相互の緊密な連携・協力を確保し、総合的かつ効果的な推進を図るため、さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部(以下「本部」という。)を設置する。(組 織)
- 第2条 本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。
- 2 本部長は、市長をもって充てる。
- 3 副本部長は、副市長及び教育長をもって充てる。
- 4 本部員は、別表第1に掲げる職にある者をもって充てる。 (本部長等の職務)
- 第3条 本部長は、本部の事務を総理する。
- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長の指 名する副本部長がその職務を代理する。

(会 議)

- 第4条 本部会議は、本部長が必要に応じて招集し、本部長が議長となる。 (幹事会)
- 第5条 本部会議の円滑な運営に資するため、本部に幹事長、副幹事長及び 幹事で組織する幹事会を置く。
- 2 幹事長、副幹事長及び幹事は、別表第2に掲げる職にある者をもって充 てる。
- 3 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときはその職務を代 理する。
- 4 幹事会は、幹事長が招集し、幹事長が議長となる。

(庶 務)

- 第6条 本部の庶務は、人権政策・男女共同参画課において処理する。 (その他)
- 第7条 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は、本 部長が定める。

附則

- この要綱は、平成13年8月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成15年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成17年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成19年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附則

- この要綱は、平成21年2月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成21年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成21年10月17日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成22年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成23年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成24年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成24年6月30日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成25年2月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成26年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成27年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成28年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成29年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成29年11月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成30年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、平成31年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、令和2年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、令和3年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、令和4年4月1日から施行する。 附 則
- この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。 附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部 本 部 員 名 簿

本 部 長市長副 本 部 長副 市 長副 本 部 長教 育 長

		+ 17	
	本	部	員
水道事業管理者			
市長公室長			
都市戦略本部長			
総務局長			
財政局長			
市民局長			
スポーツ文化局長			
保健衛生局長			
福祉局長			
子ども未来局長			
環 境 局 長			
経済局長			
都 市 局 長			
建設局長			
西区役所 区長			
北区役所 区長			
大宮区役所 区長			
見沼区役所 区長			
中央区役所 区長			
桜区役所 区長			
浦和区役所 区長			
南区役所 区長			
緑区役所 区長			
岩槻区役所 区長			
消防局長			
会 計 管 理 者			
水 道 局 長			
議会局長			
副教育長			
選挙管理委員会事務局長			
監 査 事 務 局 長			
農業委員会事務局長			

さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部 幹事名簿

幹事長 市民局 市民生活部 部長

副 幹事長 市民局 市民生活部 人権政策·男女共同参画課長

ELITISE TO THE POLICY OF THE PROPERTY OF THE P
職名
市長公室 広報課長
総務局 総務部 総務課長
総務局 人事部 人材育成課長
市民局 市民生活部 市民生活安全課長
市民局 市民生活部 コミュニティ推進課長
保健衛生局 保健部 保健衛生総務課長
保健衛生局 市立病院 病院経営部 病院総務課長
保健衛生局 保健所 保健所管理課長
福祉局 生活福祉部 福祉総務課長
福祉局 生活福祉部 地域福祉推進室長
福祉局 生活福祉部 生活福祉課長
福祉局 長寿応援部 高齢福祉課長
福祉局 長寿応援部 いきいき長寿推進課長
福祉局 長寿応援部 介護保険課長
福祉局 障害福祉部 障害政策課長
福祉局 障害福祉部 障害福祉課長
子ども未来局 子ども育成部 子ども・青少年政策課長
子ども未来局 子ども育成部 子育て支援課長
子ども未来局 子ども育成部 母子保健課長
子ども未来局 子育て未来部 幼児政策課長
子ども未来局 子育て未来部 放課後児童課長
子ども未来局 子育て未来部 保育課長
子ども未来局 子ども家庭総合センター 総務課長
子ども未来局 子ども家庭総合センター 北部児童相談所長
子ども未来局 子ども家庭総合センター 南部児童相談所長
子ども未来局 子ども家庭総合センター 子ども家庭支援課長
子ども未来局 総合療育センターひまわり学園 総務課長
経済局 商工観光部 労働政策課長
経済局 商工観光部 観光国際課長
消防局 総務部 消防総務課長
水道局 業務部 水道総務課長
教育委員会 管理部 教育総務課長
教育委員会 学校教育部 教育課程指導課長
教育委員会 学校教育部 特別支援教育室長
教育委員会 学校教育部 生徒指導課長
教育委員会 学校教育部 総合教育相談室長
教育委員会 学校教育部 健康教育課長
教育委員会 学校教育部 教育研究所長
教育委員会 生涯学習部 人権教育推進室長
教育委員会 生涯学習総合センター副館長
教育委員会 中央図書館 管理課長
人事委員会事務局 任用調査課長

人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 (平成12年12月6日法律第147号)

(目的)

第1条 この法律は、人権の尊重の緊要性に関する認識の高まり、社会的身分、 門地、人種、信条又は性別による不当な差別の発生等の人権侵害の現状その他 人権の擁護に関する内外の情勢にかんがみ、人権教育及び人権啓発に関する施 策の推進について、国、地方公共団体及び国民の責務を明らかにするとともに、 必要な措置を定め、もって人権の擁護に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において、人権教育とは、人権尊重の精神の涵養を目的とする 教育活動をいい、人権啓発とは、国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及び それに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人 権教育を除く。)をいう。

(基本理念)

第3条 国及び地方公共団体が行う人権教育及び人権啓発は、学校、地域、家庭、職域その他の様々な場を通じて、国民が、その発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、多様な機会の提供、効果的な手法の採用、国民の自主性の尊重及び実施機関の中立性の確保を旨として行われなければならない。

(国の責務)

第4条 国は、前条に定める人権教育及び人権啓発の基本理念(以下「基本理念」 という。)にのっとり、人権教育及び人権啓発に関する施策を策定し、及び実施 する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第5条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、人権教育及び人権啓発に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(国民の責務)

第6条 国民は、人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。

(基本計画の策定)

第7条 国は、人権教育及び人権啓発に関する施策の総合的かつ計画的な推進を 図るため、人権教育及び人権啓発に関する基本的な計画を策定しなければなら ない。

(年次報告)

第8条 政府は、毎年、国会に、政府が講じた人権教育及び人権啓発に関する施策についての報告を提出しなければならない。

(財政上の措置)

第9条 国は、人権教育及び人権啓発に関する施策を実施する地方公共団体に対し、当該施策に係る事業の委託その他の方法により、財政上の措置を講ずることができる。

付 則

(施行期日)

第1条 この法律は、公布の日から施行する。ただし、第8条の規定は、この法 律の施行の日の属する年度の翌年度以後に講じる人権教育及び人権啓発に関す る施策について適用する。

(見直し)

第2条 この法律は、この法律の施行の日から3年以内に、人権擁護施策推進法 (平成8年法律第120号)第3条第2項に基づく人権が侵害された場合にお ける被害者の救済に関する施策の充実に関する基本的事項についての人権擁護 推進審議会の調査審議の結果をも踏まえ、見直しを行うものとする。

人権教育及び人権啓発推進に関する さいたま市基本計画・実施計画の 令和6年度推進状況

発行 さいたま市・さいたま市教育委員会 編集 さいたま市人権教育及び人権啓発推進本部 (事務局 さいたま市市民局市民生活部 人権政策・男女共同参画課)